競争，イノベーション，生産性に関する定量的分析

－市場構造のダイナミクスとパフォーマンスに関する研究－

２００６年８月

競争政策研究センター共同研究

競争，イノベーション，生産性に関する定量的分析

－市場構造のダイナミクスとパフォーマンスに関する研究－

【執筆者】

元橋一之
東京大学大学院工学系研究科教授
（公正取引委員会競争政策研究センター客員研究員）
motohashi@tmi.t.u-tokyo.ac.jp

船越誠
公正取引委員会競争政策研究センター研究員
makoto_funakoshi@jftc.go.jp

【この研究報告書における役割分担と位置付けについて】

１　この共同研究は，元橋，船越の共同分析･執筆作業によるものである。

２　本稿の内容は筆者達が所属する組織の見解を表すものではなく，記述中のあり得べき誤りは筆者達のみの責任に帰する。

競争，イノベーション，生産性に関する定量的分析（目次）
－市場構造のダイナミクスとパフォーマンスに関する研究－

第１章　はじめに　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
１．趣旨　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
２．PLC と市場構造ダイナミクスに関する理論的バックグラウンド　・・・・・２
(1) Klepper and Graddy(1990)モデル　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
(2) Klepper(1996)モデル　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

第２章　データベースの構築とその分析　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
１．工業統計個票データの整理　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
(1) 工業統計調査及びデータの概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
(2) 今回使用したデータの内容　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
(3) 各種統一番号と各種コンバータの作成　・・・・・・・・・・・・・・・・・８
(4) 分析用データベースの作成　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９
(5) 各種指標の算出　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
２．継続型品目データベースの分析　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
(1) 業種別指標（２桁業種分類）　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
(2) SFI と HHI の分布　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１１
(3) SFI の分布　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
(4) SFI が非常に大きい（SFI＞500）品目について　・・・・・・・・・・・１３
(5) 企業数と SFI　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
(6) 市場成長によるグループ化　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１５
３．詳細型品目データベースの分析　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７
(1) PLC とは（ Utterback(1994)モデル）　・・・・・・・・・・・・・・・・１７
(2) Klepper and Graddy(1990)モデルのインプリケーション　・・・・・・１７
(3) 分析のフレームワーク　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８
(4) 新規品目の抽出と分析　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１９
(5) 継続成長品目の抽出と分析　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１

第３章　実証分析　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５
１．ＳＦＩの回帰分析モデル　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５
(1) 回帰分析のモデル　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５
(2) 分析結果　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６
２．ＳＦＩの理論値と実測値の誤差　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２６

(1) 分析結果 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２７

第４章　結論 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２９

【参考文献】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３２

参考１　データ加工方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３３
参考２　各グループの品目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３８

第１章　はじめに

１．趣旨

競争政策に関する経済分析は，産業レベルや企業レベルで見た利潤率と市場競争の状況を分析するものが中心といえる。このような企業における超過利潤率や市場独占力に関する分析は，static な市場競争状況を確保するための競争政策の在り方を検討するために重要な示唆を与えるものである。しかし，経済成長との関係など dynamic に見た経済インパクトとの関係で競争政策を考えるためには，競争と生産性やイノベーションの関係について分析することが重要である。市場競争の状況が中長期的な経済成長率（潜在成長率）に影響をあたえるか否かは TFP 成長率との関係を明らかにすることが必要であるからである。

このような問題意識に従って，平成 16 年度においては生産・出荷集中度調査(公正取引委員会)と企業活動基本調査（経済産業省）を企業レベルで接続したパネルデータを用いて市場競争と生産性やイノベーションとの関係について分析を進めてきたところである。その結果，ハーフィンダール指数などの静的な市場構造指標と生産性やイノベーションとの関係は見られたが，シェア変動指標などの市場構造の変動指標に関しては明確な結論が得られなかった。

また，静的な市場構造指標であるハーフィンダール指数については，産業組織論における理論的な基礎がしっかりしたものであり，競争政策を行う上でも参照されることが多い。その一方でシェア変動指標は，市場構造のダイナミクスという新たな側面に着目しており，競争政策指標としての活用ポテンシャリティは高いが，理論的な位置づけが不十分である。市場構造のダイナミクスとイノベーションの関係については，内生的経済成長理論のフレームワークを用いた実証分析を平成 16 年度共同研究においても行ったが，競争政策に対するインプリケーションを導出するには至っていない。

そこで，平成 17 年度の共同研究プロジェクトにおいては，市場構造のダイナミクスに焦点を当てて，競争，イノベーション，生産性の関係について引き続き分析を行った。市場構造のダイナミクスに関する理論的なフレームワークとしては，プロダクトライフサイクル（以下「PLC」という。）をベースとした理論モデルを用いている。市場構造のダイナミクスは，新たな商品が開発され，それが市場で成熟していくライフサイクルの影響を受けることが観察されている。したがって，シェア変動指標などの市場構造に関するダイナミクスに関する指標の解釈を行う際には，当該市場を構成する製品のライフサイクルを把握することが重要である。具体的には，新たな製品が登場して新規市場が形成される際には，新規参入によって市場のプレイヤーの増加が見られ，その後市場規模の伸び率が低下してくると，逆にプレイヤーの数が減少する現象が見られる。(Klepper and Graddy, 1990) したがって，市場競争が行われている状況においても，シェア変動指標はライフサイクルの初期において上昇し，その後期においては低下が観察されることになる。このような，ライフサイクルの状況を所与として，シェア変動指標に対する解釈を行うことが必要であることを示している。

本調査研究においては，まず工業統計調査の個票を用いて，1980 年代半ば～2003 年までの詳細な品目分類ベースでシェア変動指標を算出し，それぞれのライフサイクルの状況との関係について定量的な分析を行った。また，シェア変動指標の特性とその決定要因に関する分析を行い，競争政策を行う上でのシェア変動指標を活用するためのプラクティカルなインプリケーションを導出することを目的とした。

本稿の構成としては，以下のとおりである。本章においては，PLC の理論と市場構造のダイナミクスの関係についての先行研究のレビュー，理論的バックグランドの整理を行っている。第２章においては，本稿において用いたデータセットの開発に関して述べている。ここでは工業統計調査の個票を用いて，詳細品目・企業レベルのパネルデータを作成したが，そのデータの内容とシェア変動指標など各種競争指標の算出を行っている。第３章においては，PLC 理論から見たシェア変動指標の定量的分析結果を示した。PLC のステージ毎のシェア変動指標の比較や，シェア変動指標の決定要因に関する回帰分析を行っている。最後に第４章においては，今回の研究結果のまとめと政策的インプリケーションについて述べることとする。

２．PLC と市場構造ダイナミクスに関する理論的バックグラウンド

(1) Klepper and Graddy(1990)モデル

PLC については，ハーバードビジネススクールの W.Abernathy と J.Utterback がいくつかの製品に関するケーススタディを 1970 年代後半に公表しており，そのポイントは以下のとおりである。(Utterback, 1994)

① 新たな製品が生まれるタイミングにおいてはプロダクトイノベーションが盛んに行われ，製品の多様化が進む。

② マーケットの拡大とともに Dominant Design が生まれ，プロセスイノベーションによって価格の低下が見られる。その過程において市場構造は寡占化する。

ただし，本研究に対しては，Dominant Design というコンセプトがはっきりしないことや，自動車のようにプロダクトイノベーションとプロセスイノベーションが同時に行われるものもあるという批判が存在する。そのような中で，Klepper and Graddy (1990)は，PLC と市場構造ダイナミクスについて，経済学的なモデルを用いてその Stylized Facts を説明した最初の試みである。

以下，Klepper and Graddy(1990)によるモデルを簡単に紹介することとする。

モデルの設定は，以下の供給サイドに関する各種仮定をおいた簡単なものである。

なお，需要サイドについては，通常の右下がりの需要曲線を想定し，これは期間を通じて一定であると仮定している。また，完全競争市場を想定している。

- 企業の平均コスト：C がある一定の分布に従う：G(C)
- 生産関数は規模に対して収穫一定
- コスト関数のダイナミクス

- 最小平均コスト(y)は所与：したがって G(C)＝0 for all C<y
- t期に参入した企業 i （平均コスト$C_{t,i}$）の次期における平均コストは，
  - ☆ $C_{t+1,i}=y$ if $C<y(1+\delta)$
  - ☆ $C_{t+1,i}= C_{t,i}/(1+\delta)$ if $C>y(1+\delta)$

  模倣によって技術が進歩。ここでδは技術の模倣容易度
- 製品価格はP_tで，参入することによる期待収益がプラスの企業は参入，逆に$P_t<C_{t,i}$となった企業については退出，既存企業で$C_{t,i}<P_{t+1}$の場合は次期の産出キャパシティを増大させる。（参入時のキャパシティは１）

このモデルを用いることによって，製品価格，市場規模及び市場におけるプレイヤー数（企業数）に関する以下の Stylized Facts を説明することができる。

① 製品価格：ある時点まで低下→一定

（証明）

毎期コスト構造が優位である企業の模倣によって，参入企業の平均コストは低下する。したがって，製品価格が上昇（あるいは一定であると）するとすべての企業は生産能力を上昇させるが，その一方で需要が減少してマーケットクリアの要件と矛盾する。したがって，価格は低下する。ただし，$P_t=y$となった時点でこれ以上の価格低下がなくなる。

② 産業としての産出量：ある時点まで増加→一定

(証明)

価格の低下とともに需要が増加し，産出量が増加。価格が一定になった時点で産出量も一定となる。

③ 市場の存在する企業数：増加→減少→一定

（証明）

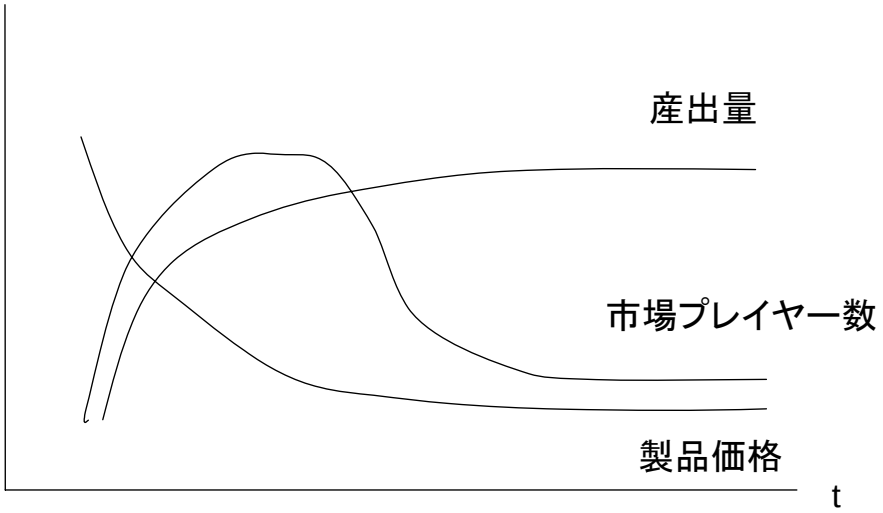
e_tを t 期における参入による期待収益がプラスである最も高い平均コストとする。（つまり，$C_{t,i}=<e_t$であるすべての企業が参入）参入にあたって必要なLump-sum（一時払い）コストが存在することから，$e_t<p_t$（for all t)。また，p_tは低下していくことから$e_t>e_{t+1}$となる。したがって，$e_1=p_{t1}$となるt=t1 が存在する。t<t1 の期間においてはすべてのincumbentは利益があり，退出は起こらない。その一方新規参入企業が存在するのでマーケットプレイヤー数は増加する。

また，$e_t<p_t$（for all t）及び$e_t>e_{t+1}$なので$p_{t2}>y=e_{t2}$となるt=t2 が存在する。これ以降は参入がなくなる（G(c)=0 for all c<y)。その一方で，過去に参入した企業は模倣による生産効率の向上は１回のみと仮定しているので，P_tの低下とともに退出する企業が出てくる。したがって，t>t2 でマーケットプレイヤーが減少するtが存在する。

最後に$P_t=y$となった時点で企業の参入，退出がなくなりマーケットプレイヤーの数は一定となる。

これらの Stylized Facts をまとめると以下のようになる。

図１：PLC と市場構造ダイナミクスに関する Stylized Facts



(2) Klepper(1996)モデル

Klepper and Graddy(1990)は，シンプルなモデルによっていくつかの PLC に関する Stylized Facts を説明しているが，市場構造のダイナミズムにおけるイノベーションの関係が明らかになっていないという問題がある。市場のダイナミクスは，需要曲線を期間中一定として，市場プレイヤーの平均的な供給曲線が右にシフトしていくことで捉えられているが，PLC の重要な側面の１つであるプロダクトイノベーションは捨象されている。Utterback (1994) や Utterback and Suarez(1993)では，PLC 初期における新規参入事業者におけるプロダクトイノベーションが需要拡大に寄与するプロセスが強調されているが，その際には需要曲線も右にシフトするはずである。

Klepper(1996)は，このような企業におけるプロダクトイノベーションとプロセスイノベーションを明示的に取り入れた拡張モデルを提唱している。Klepper(1996)のモデルにおいて，企業利益は以下のように定義される。

$$
\begin{aligned}
E(\Pi_{it}) = {} & [s_i + g(rd_{it})]G - rd_{it} - F \\
& + [Q_{it-1}(Q_t/Q_{t-1}) + \Delta q_{it}] \bullet [p_t - c + l(rc_{it})] - rc_{it} - m(\Delta q_{it})
\end{aligned}
$$

ここで１行目はプロダクトイノベーションによる期待利益，2 行目はプロセスイノベーションによる期待利益で，E(Π)はその合計となる。1 行目で rd はプロダクトイノベーション対する研究開発投資であり，ｓは企業毎のイノベーションキャパシティ，s+g(rd)は rd の研究開発投資を行ったときのプロダクトイノベーション確率を示している。プロダクトイノベーションが成功することによって，当該企業は 1 期のみ独占的利益 G を得ることができる。2 期以降は当該製品が模倣され，標準的製品の１つとして他社においても製造される

ことになるという仮定をおいている。また，F はプロダクトイノベーションを行う際に他社において行われていないものとするために他社の技術をサーベイするための固定費である。

2 行目については，標準的製品の製造から得られる期待利益であるが，まず当該製品の生産額はt-1 期の生産額（Q_{it-1}）を基準にマーケット全体の成長率（Q_t／Q_{t-1}）で決まると考える。消費者が製品の知名度をベースにストカスティックに製品を選択する（価格，品質等は同じ製品を複数社が生産している世界を想定）と仮定している。ただし，各社はそれ以上に生産するというオプションもあり，その際の増分（Δq）に対してはm(Δq)のトランザクションコスト（例えば広告宣伝費）が発生する。rcがプロセスイノベーションに対する研究開発費であり，その際に製品コストがc-l(rc)に低下するとする。したがって，製品 1 単位あたりのマークアップはp-c+l(rc)となる。

なお，ここでの需要関数は右下がりの関数を考えるが，プロダクトイノベーションによって新製品が加わるたびに当該関数が右にシフトすると考える。つまり，需要関数の形態は以下のようなものを考える。

$$Q_t = Q_t(p_t, I_t)$$

ここで It は，各社のプロダクト R&D の成果である新製品の総数である。

最後に以下のマーケットクリア条件を満たす必要がある。

$$Q_t = \sum_i \left[Q_{it-1}(Q_t / Q_{t-1}) + \Delta q_{it} \right]$$

ここで Klepper and Graddy(1990)による模倣による単位コスト低下のメカニズムはプロセスイノベーションに置き換えられており，また新たにプロダクトイノベーションというファクターが追加されている。しかしながら，モデルによる市場構造や企業パフォーマンスに関するダイナミクスについては基本的なところは変わらない。まず，Klepper and Graddy(1990)と同様，市場裁定条件によって標準製品の市場価格は低下していく。また，プロセスイノベーションによって単位コストが下がっていくためにある一定のタイミングまでは新規参入が続き市場プレイヤー数の増加が見られる。ただし，あるタイミングからイノベーション能力の低い企業の退出が始まり，最終的には新規参入がなくなる一方で退出が進んで市場プレイヤー数は減少に転じる。

ただし，モデルにおいてプロダクトイノベーションとプロセスイノベーションを明示的に取り込んだことによって，以下のような追加的なインプリケーションが導出されている。

- プロセスイノベーションの成果は企業の生産活動全体のコストを下げることになるので規模の大きい企業の方がそのメリットが大きい。したがって，比較的規模の大きい既存企業においては，新規参入企業よりもプロセスイノベーションの割合が大きくなる。
- PLC の初期においては新規参入者が多いが，次第に既存事業者が中心の市場構造となるため，産業全体としてはプロダクトイノベーションのスピードが下がり，プロセスイノベーションが中心になってくる。

- 市場に対する参入障壁は次第に高くなっていくため，遅く参入した事業所ほど企業独自のイノベーション能力が高い。その一方で企業規模が大きく，生産性が最も高いのは最初に市場に参入した企業である。
- 市場に生き残っている企業のQが拡大する一方でΔqはシステマティックに増加しないので，市場シェアの変動は次第に小さくなる。

この中で特に最後のインプリケーションは，シェア変動指標が製品の PLC によって影響を受けることを示しており重要である。これらの理論を用いた実証分析としては，米国のタイヤ産業について行われたものが代表的である。タイヤ産業は1900年ごろ産業が生まれて25年間企業数が増え続けたが，タイヤの製造方法に関する新たな技術が開発され，急激にその数が減少した。その企業数が減少する過程は上記の PLC に関するモデルと整合的な内容となっている。(Klepper and Simon,1997;2000) このように，市場構造やその変化（シェア変動指標）は，市場競争の状況によらず，PLCのステージによって大きく変化することが観察されている。これらの指標によって市場競争の状況を判断するためには，製品のPLCのステージごとに見ることが必要であることを示している。

第２章　データベースの構築とその分析

本研究では，経済産業省が実施している指定統計である工業統計の個票データを利用した分析を行っているが，実在する個票データはパネルデータとして整備されたものではなく，また，集計単位が事業所となっているため，今回の分析対象である企業単位に再集計する必要がある。このため，集計期間の全期間でパネルデータとして接続可能な分析用データベースを構築した。

本章では，まず，本分析に使用するデータベースの元となった工業統計の概要とデータベース構築の作業手順について述べる。そして，今回の分析に利用するため，分析用データベースから算出した市場競争指標について説明する。

１．工業統計個票データの整理

(1) 工業統計調査及びデータの概要

工業統計調査は，経済産業省が実施している指定統計[1]調査で，全国の製造業の事業所を調査対象として毎年行われているものである。主な調査項目は，事業所単位の従業者数，品目別の製造出荷額，原材料使用額などとなっている。昨年度調査で利用した公正取引委員会が実施している集中度調査に比べて，対象品目数が非常に多く（2002 年の集中度調査の対象品目数が 350 品目に対して，工業統計調査の対象品目数は 2420 品目），全製造業の品目を網羅しているため，長期間継続した品目データが抽出できるというメリットがある。また，品目の分類も集中度調査とほぼ同じ産業分類が詳細な６桁分類となっており，製造業における全国規模の市場に適合したものとなっている。

今回使用する工業統計個票データは，電子データとして利用可能な昭和 60 年（1985 年）から平成 15 年（2003 年）の期間における，継続可能[2]な全国の従業員４人以上の製造業における事業所（2002 年：29 万事業所）を対象に，年別，事業所別，品目別の製造出荷額（数量，金額）を調査項目としている。

(2) 今回使用したデータの内容

ア　個票データ

１９８５年から２００３年の１９年間の年ごとの，事業所番号，品目番号及び製造出荷数量と金額のデータ。ただし，出荷数量はほぼ半数のサンプルのみ存在する。

イ　事業所番号コンバータ

---

[1]政府若しくは地方公共団体が作成する統計又はその他のものに委託して作成する統計であって総務大臣が指定し，その旨を公示した統計をいう（統計法第２条）。

[2]工業統計調査は毎年調査を行っているが、西暦末尾に「０，３，５，８」が付く年は全事業所の調査、それ以外の年は従業者４人以上の事業所について調査している。

１９８６年から２００３年の対前年の事業所番号の対応表で，５年ごとの設定替え[3]及び市町村合併などに対応している。

ウ　企業名寄せコンバータ

１９９４年から２００３年の年ごとの事業所番号と企業番号の対応表で，企業番号は工業統計の対象事業所が複数存在する企業に番号を付している。1994 年～1996 年，1997 年～2003 年の２種類の企業番号があり，企業番号間のコンバータは存在しない。

エ　品目番号コンバータ

１９８５年から２００３年の間の３回の品目改定データで，うち２回分は紙ベースの対応表を電子化した。

オ　準備調査名簿[4]

１９９３年から２００３年まで存在し，企業名や住所確認に使用した。

(3) 各種統一番号と各種コンバータの作成

（データの加工方法の詳細については，参考 1(P.33)を参照）

ア　統一事業所番号コンバータの作成

各年の事業所番号が事業所番号の設定替えや市町村合併により変更されてしまう場合があるため，経年で統一した事業所番号を設定し，その統一事業所番号と各年の事業所番号との対応表を作成する。

元データ：各年事業所コンバータ，個票データ

作成方法：①2002 年事業所番号をベースに統一事業所番号を作成

②各年の事業所番号コンバータで各年と統一事業所番号対応表を作成

③各年の個票データの事業所番号から②対応表に無い番号を追加

イ　統一事業所番号－各年統一企業番号コンバータの作成

事業所単位のデータを本研究の分析単位である企業単位に変換するために，各年の事業所を統一企業番号に対応させる必要がある。そのために，企業名寄せコンバータを利用して事業所番号を企業番号に変換し，さらに，単独事業所や 2 種類の企業番号の整理を行い，統一事業所番号と各年の統一企業番号コンバータを作

---

[3] 事業所番号は，市町村ごとに通し番号が設定されているが，5 年ごとに設定をやり直しているため，設定前後の事業所番号の対応表が必要になっている。

[4]工業統計調査は，準備調査と本調査から成っており，本調査の前にその調査対象を把握するための準備調査を行っている。準備調査名簿は，準備調査により作成される名簿である。

成する。

元データ：統一事業所コンバータ，企業名寄せコンバータ

作成方法：①各年の企業名寄せコンバータにより，統一事業所コンバータの各年事業所番号を企業番号に変換

②企業名寄せコンバータが存在しない 1985 年から 1993 年について，同一事業所を 1994 年企業番号で接続

③1985 年から 1996 年と 1997 年から 2003 年のそれぞれの企業番号を 2002 年ベースの統一企業番号に変換

④同一事業所の統一企業番号を整理

⑤単独事業所番号を統一企業番号に組み込む

ウ　品目番号コンバータの作成

品目番号は１９８５年から２００３年の１９年間に３回の改定が行われている。これらの改定により品目の範囲が広がったり逆に狭まったりしているほか，産業区分が再編されている。このため,本研究の分析では各品目の継続性と品目の範囲について分析に合った方針を立てそれぞれの品目番号コンバータを作成する必要がある。本研究では，まず,PLC における長期間の傾向をつかむために，全期間の品目の継続性を重視した継続型品目番号コンバータを作成し，そして，特に PLC の立ち上がりの時期の分析を行うために，より詳細な品目範囲を重視した詳細型品目番号コンバータを作成する。

元データ：品目番号改定表（紙ベース）

作成方法：①2002 年品目番号を統一品目番号とし，品目番号改定表を接続

②継続性を重視した継続型品目番号コンバータを作成

③詳細な品目範囲を重視した詳細型品目番号コンバータを作成

(4) 分析用データベースの作成

ア　統一企業番号による接続

(3)で作成した統一事業所番号－各年統一企業番号コンバータにより，各年の個票データを企業ごとに集計し，接続する。

元データ：個票データ，統一事業所番号－各年統一企業番号コンバータ

作成方法：①各年の個票データの事業所番号を統一企業番号に変換

②個票の事業所ごとの接続

③各品目データの企業ごとの統合

イ　統一品目番号による接続

(3)で作成した２種類の品目番号コンバータにより，アで接続した統一企業番号

ごとのデータの品目番号を接続する。

元データ：統一企業番号接続後の個票データ，継続型及び詳細型品目番号コンバータ

作成方法：①継続型品目コンバータにより継続型品目データベースを作成
②詳細型品目コンバータにより詳細型品目データベースを作成

(5) 各種指標の算出

本研究の分析において利用した各種指標は以下のとおりである。

ア　市場規模

品目ごとに企業の出荷金額を合計したもの。

イ　シェア

品目ごとに各企業の出荷金額を市場規模で割った値。

エ　ハーフィンダール指数（ＨＨＩ[5]）

品目ごとの企業のシェアの二乗和に 10,000 を乗じた値。

オ　シェア変動指標（ＳＦＩ[6]）

対象期間における各企業のｔ期とｔ－１期のシェア差を二乗した値をデータベースに収載されたすべての企業について足し上げ，時点間の数で割り，10,000 を乗じた値である。値が大きいほど，シェア変動の程度が大きい。

カ　企業数

品目ごとの企業数の合計。

キ　ユニットプライス（ＵＰ）

品目ごとに各企業の出荷金額を出荷数量で割った値。

ク　ＵＰの平均

品目ごとの各企業のＵＰの平均値。

ケ　ＵＰの分散指標

ＵＰの標準偏差をＵＰの平均で割った値。

---

[5] Herfindahl-Hirschman Indexの略称

[6] Share Fluctuation Index の略称

２．継続型品目データベースの分析

(1) 業種別指標（2 桁業種分類）

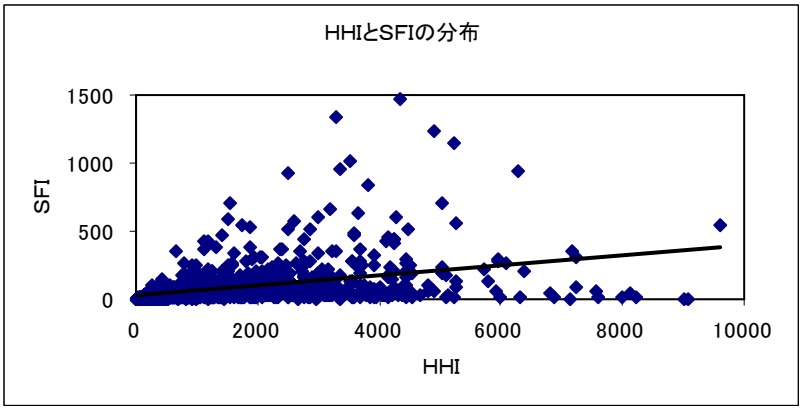
表１　業種別指標

業種名	SFI	HHI	平均企業数	品目数
家具･装備品製造業	16	400	1084	16
木材･木製品製造業	19	355	1240	29
食料品製造業	24	860	572	71
プラスチック製品製造業	29	798	449	30
飲料･たばこ･飼料製造業	29	1993	371	20
印刷･同関連業	33	692	3120	7
金属製品製造業	40	998	319	79
衣服･その他繊維製品製造業	46	600	213	55
パルプ･紙･紙加工品製造業	51	1414	183	37
電子部品･デバイス製造業	53	843	143	13
窯業･土石製品製造業	57	1686	201	82
その他の製造業	60	1521	166	66
電気機械器具製造業	65	1516	166	71
ゴム製品製造業	65	1906	102	34
精密機械器具製造業	71	1184	108	50
鉄鋼業	80	2128	87	56
化学工業	84	2328	33	159
石油製品･石炭製品製造業	89	2035	42	23
繊維工業	90	1265	71	82
一般機械器具製造業	92	1254	215	167
非鉄金属製造業	94	1907	72	41
なめし革･同製品･毛皮製造業	101	1100	115	26
情報通信機械器具製造業	146	1405	91	26
輸送用機械器具製造業	282	2383	134	62

高 SFI 業種は，革製品，情報通信，輸送用機械で，輸出産業が多い。低 SFI 業種は，食料品，木製品，家具で，企業数の多く HHI が低い品目が多く含まれ，国内向け産業が多い。

(2) SFI と HHI の分布

図２　SFI と HHI の分布



SFI と HHI は相関係数 0.40 とやや相関を持っているが，この理由としては，まず，ある品目において企業数が非常に多く HHI が小さい場合，個々の企業のシェアが非常に小さくなるため競争が活発であっても必然的に SFI は小さくなってしまうこと，そして，

ある品目においてSFIが大きくなるには，ある程度のシェアの企業が存在し互いに競争しシェアを奪い合う必要があり，こういう場合はHHIも比較的大きくなることが考えられる。

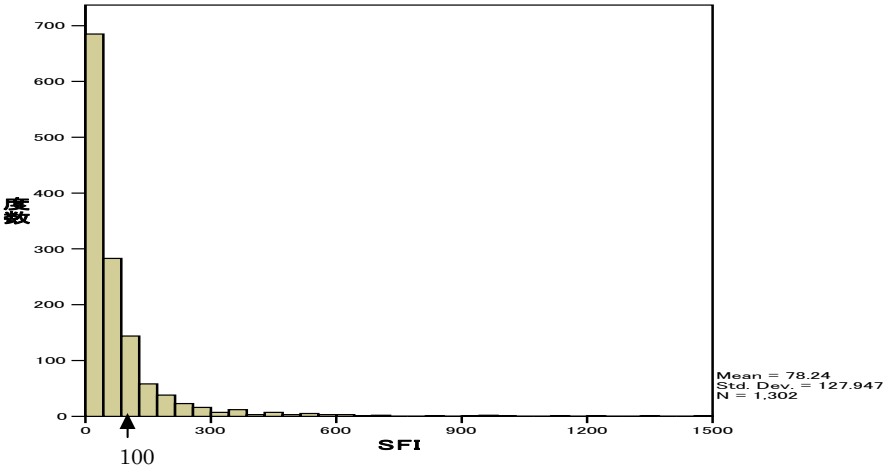
※　以下のように,SFIとHHIはともに競争指標として逆相関すると考えられる。

SFI大きい　→　競争が激しい　　SFI小さい　→　競争が激しくない

HHI小さい　→　競争が激しい　　HHI大きい　→　競争が激しくない

(3) SFIの分布

図３　SFIの分布



SFIは理論上最小値0，最大値20000の片側分布である。本分析のサンプルでは上記ヒストグラムから，100以下の品目が1302品目中1034品目となり，全体の80%近くを占めている。(平均値78.2)

(4) SFI が非常に大きい品目について

(1302 品目中 24 品目：1.8%)

表２　SFI が非常に大きい（SFI＞500）品目

品目名	SFI	シェア変動要因	HHI	企業数
蒸気タービン	513	市場規模の年変動が継続して大きい	4460	11
タービン発電機（交流）	518	市場規模の年変動が継続して大きい	2861	7
遠心圧縮機、軸流圧縮機	522	市場規模の年変動が継続して大きい	2490	6
子供車（車輪の径の呼び12～24インチの もの）	530	市場規模の年変動が継続して大きく衰退	1859	19
テープレコーダ	538	衰退して成長	1741	37
普通板ガラス	549	市場規模が周期的に増減	9605	2
航空機用エンジンの修理・オーバーホール	561	市場規模の年変動が継続して大きい	5260	5
落毛（紡績工程からでたもの）	580	衰退産業	2595	18
圧延機械、同附属装置	589	市場規模の年変動が継続して大きく衰退	1504	56
二塩化エチレン	605	市場規模が周期的に増減しながら成長	4290	4
鋼製船舶の船体	609	市場規模の年変動が継続して非常に大きい	2979	13
鋼製客船の新造（20総t以上の動力船）	638	市場規模の年変動が継続して非常に大きい	3638	8
抄紙機	655	市場規模の年変動が継続して大きく衰退	3193	11
おしろい	708	市場規模の急増急減の年がある	1561	49
毛皮（調整済で完成品ではないもの）	713	市場規模が周期的に増減しながら衰退	5043	6
内燃動車	834	市場規模の年変動が継続して非常に大きい	3815	4
ワードプロセッサ	928	成長して衰退	2490	20
二輪自動車・モータスクータ用内燃機関	943	衰退して成長	6295	4
鋼製貨客船の新造（20総t以上の動力船）	956	市場規模の年変動が継続して非常に大きい	3365	12
ブタジエン	1008	市場規模が周期的に増減	3513	5
機関車	1140	市場規模の年変動が継続して非常に大きい	5236	3
木造船舶の新造・改造・修理（20総t以上）	1240	市場規模の年変動が継続して非常に大きい	4893	48
軍艦の新造	1336	市場規模の年変動が継続して非常に大きい	3300	5
鉄道用貨車	1476	市場規模の年変動が継続して非常に大きい	4346	5

SFI の非常に大きな品目では，全ての品目で市場規模の変動が大きくなっている。これは多くの場合，１年より大きい周期で需要が変動する品目であり，特に大規模設備や輸送機関などは単価が高く需要先も限られることが要因と考えられる。また，PLC の末期に急激に衰退する品目（例えばワードプロセッサ）でも SFI が非常に大きくなる場合がある。PLC の特性上，市場の立ち上がりの初期段階でも SFI が非常に大きくなる場合が想定されるが，これは,サンプルデータが統計データであるため，そのような段階においては通常市場規模が小さいこともあり，ある程度の市場規模まで成長し，市場の囲が明確になるまで特定品目として認定されないために他の品目分類に含まれてしまうためと考えられる。

(5) 企業数と SFI

図４　企業数とＳＦＩの分布

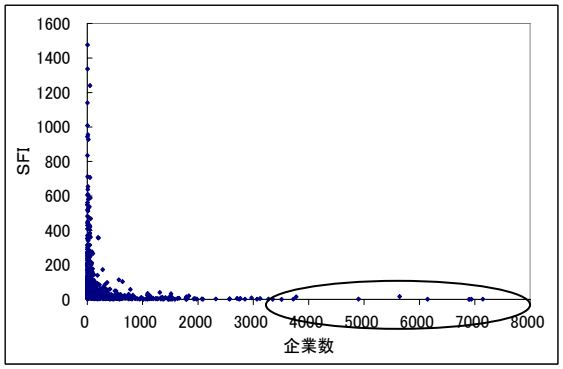
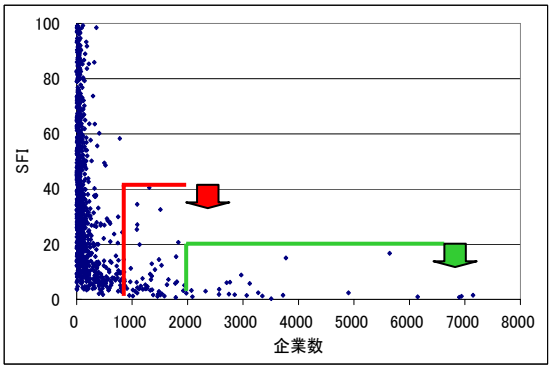


図５　企業数とＳＦＩの分布（SFI>100）



上記図４及び５から，市場（品目）への参加企業が非常に多い場合，個別企業のシェアが小さくなり SFI はほとんどの品目で非常に小さい値となる。例えば，企業数が 2000 社以上の品目では SFI が 20 以下となっており，1000 社以上では SFI がほぼ 40 以下となっている。

図６　企業数と SFI の分布（企業数<100 社）

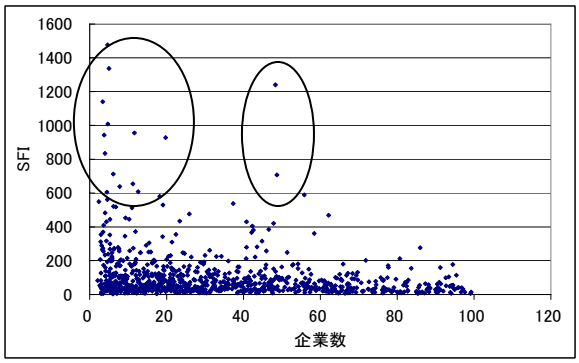
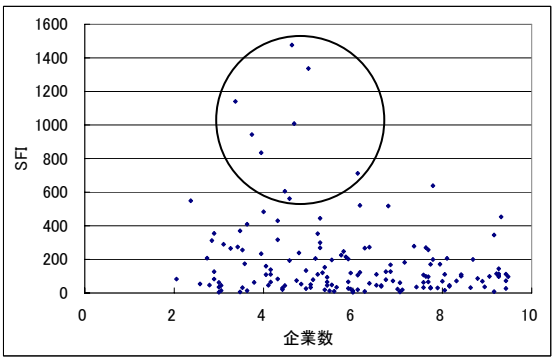


図７　企業数と SFI の分布（企業数<10 社）



上記図６及び７から，企業数が少ない場合，SFI が極端に大きくなる品目がある。
（その理由については，(4) SFI が非常に大きい（SFI＞500）品目について参照）

(6) 市場成長によるグループ化

サンプル対象期間を２分割し，1985 年から 1994 年の９年間を前期とし，1994 年から 2003 年を後期 として，それぞれの９年間の市場成長率（金額ベース）を衰退型（－30%未満），停滞型（－30%以上 30%未満），成長型（30%以上）に３分類した。そして，前期後期それぞれの３分類の組み合わせ（９グループ（＝３×３））における，SFI と HHI と品目数を以下の表３にまとめた。

表３　市場成長によるグループ分類のまとめ

1985→1994	衰退型 ～-30%	停滞型 -30%～+30%	成長型 +30%～
衰退型 ～-30%	グループ1 SFI 106 / 80 132 HHI 1701 / 1433 1964 品目数 181	グループ2 SFI 97 / 88 105 hhi 1953 / 1814 2088 品目数 108	グループ3 SFI 198 / 216 180 hhi 2096 / 2016 2202 品目数 36
停滞型 -30%～ ～+30%	グループ4 SFI 59 / 44 74 HHI 1151 / 1039 1263 品目数 285	グループ5 SFI 47 / 47 47 HHI 1311 / 1232 1387 品目数 354	グループ6 SFI 105 / 91 118 HHI 2068 / 2032 2104 品目数 36
成長型 +30%～	グループ7 SFI 138 / 133 142 HHI 1492 / 1408 1573 品目数 96	グループ8 SFI 64 / 65 63 HHI 1502 / 1457 1547 品目数 173	グループ9 SFI 113 / 133 94 HHI 2066 / 2017 2111 品目数 33

グループ○	
SFI	通期
前期	後期
HHI	通期
前期	後期
品目数	○○

前期後期ともに，衰退型及び成長型のほうが停滞型よりも SFI が大きくなる傾向がある。景気上昇期（バブル期）にほぼ重なる前期に衰退する品目は，衰退産業としての業界再編が多い為か，SFI が高く HHI も高い傾向がある。また，景気停滞期（バブル後）である後期に成長する市場は少なく，その中でも成長している市場は SFI が高く，HHI も高い傾向がある。

※日本全体の景気動向は，前期は円高不況からバブル景気を経て平成不況へと続く時期とほぼ重なり，後期は期間中景気が低迷した時期となっている。

ア　各グループの特徴

①グループ１（前期衰退，後期衰退）181 品目

繊維工業が 49 品目（27%），石油･化学工業が 22 品目（12%）を占めている。

②グループ２（前期衰退，後期停滞）108 品目

鉄鋼金属工業が 25 品目（23%），石油･化学工業が 21 品目（19%）を占めている。

③グループ３（前期衰退，後期成長）36 品目

石油･化学工業が 16 品目（44%）で，中でも石油製品が 8 品目(22%)占めている。原油価格の影響が大きい。

④グループ４（前期停滞，後期衰退）285 品目

繊維製品･繊維工業が 55 品目（19%），木材・木製品･家具製造業が 22 品目（8%），石油･化学工業が 25 品目（9%），一般機械製造業が 30 品目(11%)を占めている。

⑤グループ５（前期停滞，後期停滞）354 品目

食料品･飲料製造業が 33 品目(9%)，石油･化学工業が 60 品目（17%），一般機械器具製造業が 60 品目（17%）を占めている。

⑥グループ６（前期停滞，後期成長）36 品目

化学工業が 7 品目(19%)，非鉄金属製造業が 4 品目(11%)，一般機械器具製造業が 4 品目（11%），電気機械器具製造業が 4 品目（11%）を占めている。

⑦グループ７（前期成長，後期衰退）96 品目

一般機械製造業が 24 品目（25%），窯業･土石製品が 9 品目(9%)を占めている。

⑧グループ８（前期成長，後期停滞）173 品目

食品・飲料製造業が 20 品目（12%），化学工業が 23 品目（13%），一般機械製造業が 20 品目（12%）を占めている。

⑨グループ９（前期成長，後期成長）33 品目

一般機械製造業が 6 品目（18%），輸送用機械器具製造業が 5 品目(15%)を占めている。

３．詳細型品目データベースの分析

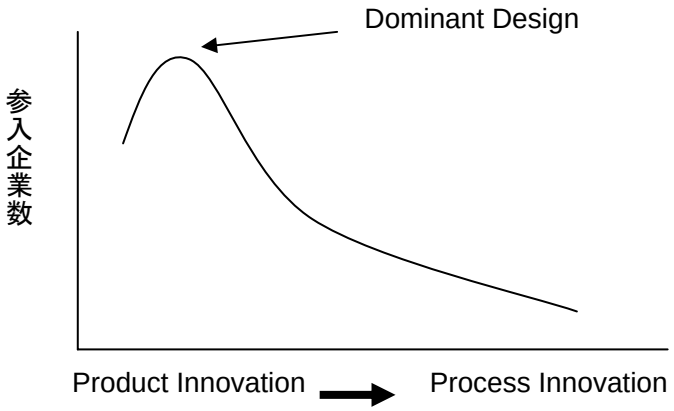
(1) PLC とは（ Utterback(1994)モデル）

第１章 ２ (1)で述べたように，Utterback(1994)による PLC のポイントは以下のとおりで，これを図示したものが図８である。

① 新たな製品が生まれるタイミングにおいてはプロダクトイノベーションが盛んに行われ，製品の多様化が進む。

② マーケットの拡大とともに Dominant Design が生まれ，プロセスイノベーションによって価格の低下が見られる。その過程において市場構造は寡占化する。

図８　イノベーションと参入企業の関係



(2) Klepper and Graddy(1990)モデルのインプリケーション

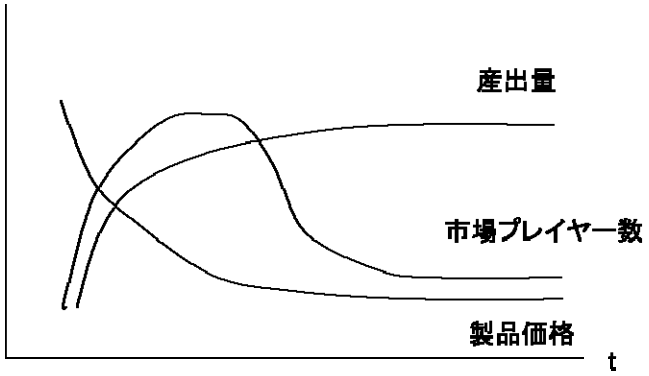
第１章 ２ (1)で説明された Klepper and Graddy(1990)モデルのインプリケーションは以下のとおりで，これを図示したものが図９である。

①製品価格：ある時点まで低下→一定

②産業としての産出量：ある時点まで増加→一定

③市場の存在する企業数：増加→減少→一定

図９　産出量，市場プレイヤー数，製品価格の関係

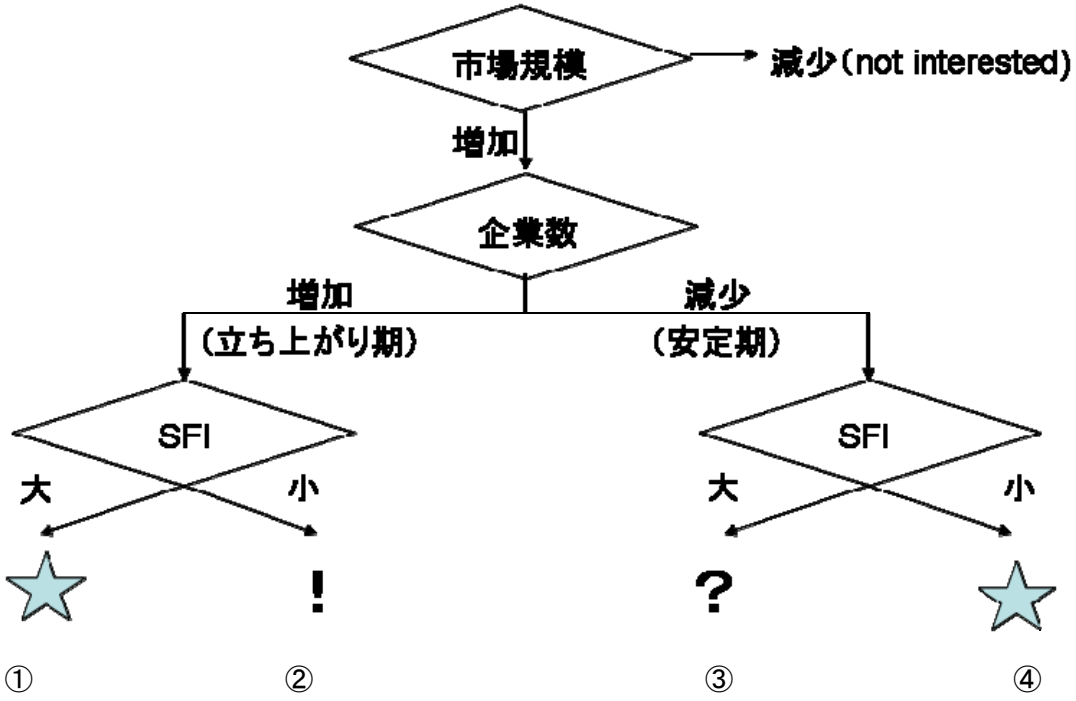


(3) 分析のフレームワーク

本分析では，PLC の初期段階である市場規模の拡大期に注目し，さらに,企業数が増加した品目と減少した品目に分けて，それぞれの分類における SFI について分析することとする。第１章の理論より，市場が拡大し企業数が増加する市場の立ち上がり期には，プロダクトイノベーションが活発であるため競争が激しくなると考えられる。この時期に SFI が小さい場合は参入障壁や規制などにより競争が妨げられていると想定される。また，市場が拡大し企業数が減少する市場の安定成長期（ドミナントデザインの確立後）には，プロセスイノベーションが活発となり，比較的競争が少なくなり SFI が小さくなると考えられる。

市場規模の拡大の考え方については，工業統計の品目改定による新規品目の中から市場規模が拡大している品目を抽出する基準と，３年後及び６年後に継続して成長している品目を抽出する２つの基準を採用している（詳細は３ (4)及び(5)参照)。

図１０　分析のフレームワーク



①と④は第１章の理論と整合的であるが，②と③は理論と整合的でなく，特に②の場合は，参入障壁や規制などにより競争が妨げられていると考えられ，競争政策上問題となる品目である可能性があるため，本論文では特に②の品目を抽出し検討することとする。

(4) 新規品目の抽出と分析

ア　新規品目の抽出

1985 年から 1994 年までに新規品目として採用された品目を抽出(1999 年及び 2002 年改定後では抽出期間が短いため）すると，１３３品目となった。

イ　市場立ち上がりの品目の抽出

アで抽出した１３３品目のなかで，その品目の調査開始年から３年後に市場規模が 33%(年率 10%成長)以上増加した品目を抽出する。さらに，調査開始年から３年後に企業数が増加した品目を抽出したところ，２０品目となった。ただし，市場立ち上がり品目の立ち上がり期間を，開始年から３年後以降に市場規模または企業数のどちらかが先に増加のピークを迎えるまでの期間としている。

表４　市場立ち上がり品目２０品目の内訳（SFI の小さい順）

品目名	立ち上がり期の平均			立ち上がり期		3年後成長率	
	SFI	企業数	HHI	開始年	期間	市場規模	企業数
すし、弁当	4	1414	77	1985	9	57%	26%
鋳型(中子を含む)	6	301	105	1985	6	49%	29%
半導体製造装置(フラットパネル・ディスプレイ製造装置を含む)の部分品・取付具・附属品	17	721	228	1994	6	169%	104%
プリント回路板	20	266	286	1994	6	44%	45%
スイッチング電源	24	70	518	1994	5	43%	36%
調理パン、サンドイッチ	33	674	370	1985	8	47%	17%
磁気ヘッド	59	68	807	1987	6	84%	47%
医療用電子応用装置の部分品・取付具・附属品	61	101	505	1994	6	142%	60%
シリコンウエハ(表面研磨したもの)	62	29	1540	1985	13	35%	60%
ワードプロセッサ	71	25	1170	1985	6	149%	115%
理化学用・工業用ファインセラミックス(焼結し放しのもの)	77	39	1266	1985	13	143%	120%
電力変換装置	87	73	997	1985	16	54%	50%
硬質プラスチック発泡製品(薄板)(厚さ3mm未満のもの)	91	17	2119	1985	8	60%	45%
複合部品	98	32	2097	1994	7	96%	65%
コントロールユニット	107	27	1342	1994	8	37%	47%
ルームユニット	197	42	1946	1988	8	460%	139%
金属製がん具	276	73	3755	1994	3	111%	15%
磁気ディスク(生のもの)	343	36	1073	1994	3	138%	6%
液晶テレビジョン受信機	380	16	2276	1994	8	178%	18%
ゲーム用カセット	1364	6	4978	1994	3	1732%	25%

立ち上がり期の SFI の小さい品目では，企業数が多く HHI が小さい傾向があり，逆に SFI の大きい品目では，企業数が少なく HHI が大きい傾向がある。20 品目の SFI と HHI の相関係数は 0.81 と非常に高い相関を示している。

市場立ち上がり品目の市場規模及び企業数の推移の例（図１１～１６）

※実線グラフは，左Ｙ軸：市場規模（万円）。点線グラフは，右Ｙ軸：企業数（社）

図１１

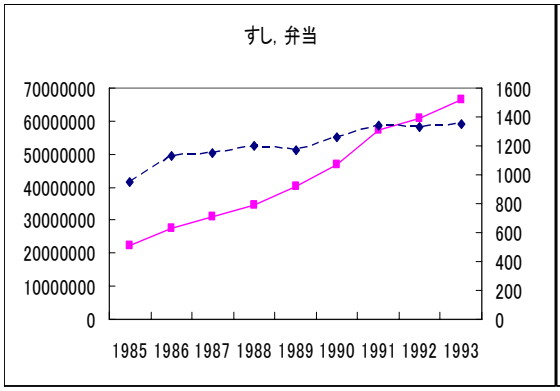


図１２

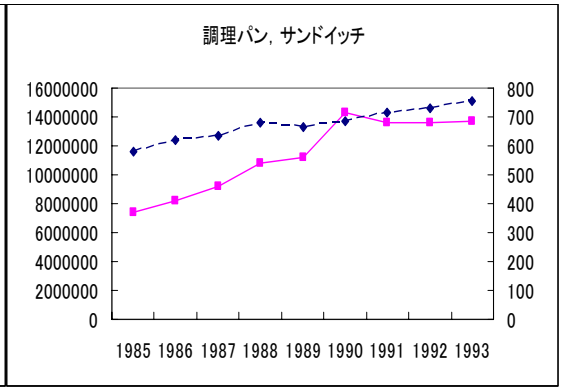


図１３

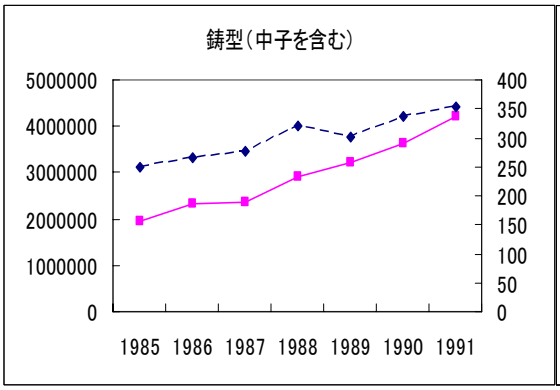


図１４

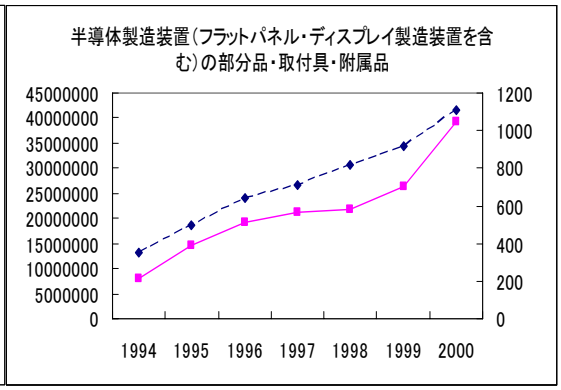


図１５

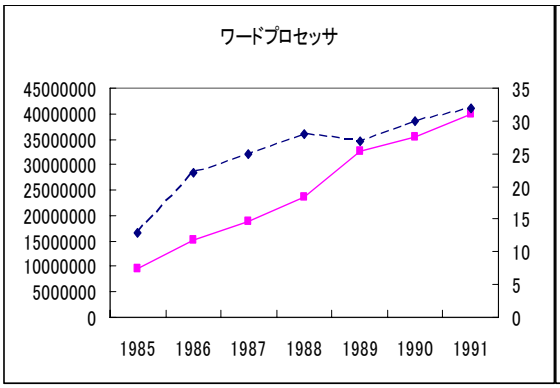
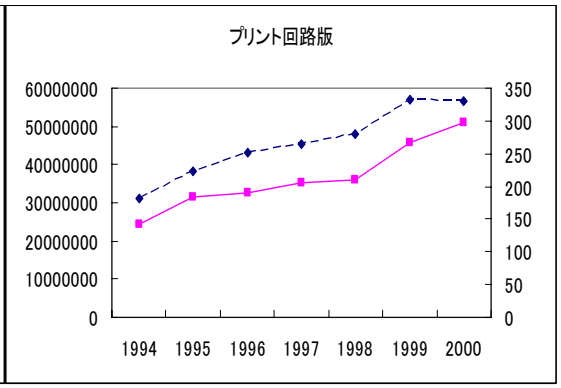


図１６



(5) 継続成長品目の抽出と分析

品目改定による新規品目以外にも，継続的に急成長している市場は市場立ち上がり品目とみなせる場合がある。よって，以下の継続成長基準により立ち上がり品目を抽出する。ただし，調査年ごとに市場規模及び企業数が大きく変動する品目があるため，市場規模及び企業数を 3 年間の移動平均値を用いて抽出を行った。

ア　継続成長品目の抽出

基準となる開始年から３年後の市場規模が 1.33 倍（年率 10%成長換算）以上となり，さらに，開始年の３年後から６年後の市場規模も 1.33 倍以上となっている品目を継続成長品目として抽出する。

計算式）

$$\frac{\text{市場規模 it-1＋市場規模 it＋市場規模 it+1}}{\text{市場規模 it+2＋市場規模 it+3＋市場規模 it+4}} > 1.33$$

$$\frac{\text{市場規模 it+2＋市場規模 it+3＋市場規模 it+4}}{\text{市場規模 it+5＋市場規模 it+6＋市場規模 it+7}} > 1.33$$

ただし，添字のｉは品目をｔは年とする。

イ　企業数の増加する品目と減少する品目の抽出

一時的な企業数の変動を緩和し，一定期間継続的に企業数が増加又は減少している市場を識別するために，企業数について前後年を含めた３年間の移動平均を算出し，アで抽出した成長品目の中で，基準となる開始年から３年後に企業数が増加し，さらに，開始年の３年後から６年後も同様に増加した品目を「企業数が増加する品目」として抽出する。

同様に，アで抽出した成長市場で，３年後の企業数が減少し，かつ，３年後から６年後も同様に減少した品目を「企業数が減少する品目」として抽出する。

計算式）

$$\frac{\text{企業数 it-1＋企業数 it＋企業数 it+1}}{\text{企業数 it+2＋企業数 it+3＋企業数 it+4}} > 1$$

$$\frac{\text{企業数 it+2＋企業数 it+3＋企業数 it+4}}{\text{企業数 it+5＋企業数 it+6＋企業数 it+7}} > 1$$

ただし，添字のｉは品目をｔは年とする。

ウ　抽出結果

継続成長市場 33 品目中，企業数増加 26 品目，減少品目 7 品目となった。

・企業数増加品目

鉄骨，そう（惣）菜，すし・弁当，金属製サッシ・ドア，レトルト食品，建築

用木製組立材料，事務用機械器具の部分品・取付具・附属品，半導体製造装置（フラットパネル・ディスプレイ製造装置を含む）の部分品・取付具・附属品，荒茶，積算体積計，木造船舶の船体，蓄電池の部分品・取付具・附属品，銃砲弾，爆発物，体積計の部分品・取付具・附属品，鋼製貨物船の新造（２０総ｔ以上の動力船），往復圧縮機，理化学用・工業用ファインセラミックス（焼結し放しのもの），電力変換装置，シリコンウエハ（表面研磨したもの），普通乗用車（気筒容量２０００ml を超えるもの）（シャシーを含む），工業用ミシン，ルームユニット，金属製舟艇の新造（鋼船を除く），光ファイバ（素線），光ファイバコード（心線を含む），普通板ガラス

・企業数減少品目

真空ポンプ，成人男子・少年用制服ズボン，工業計器の部分品・取付具・附属品，生薬・漢方，銀・同合金展伸材，理化学用・工業用陶磁器，耐火モルタル

エ　抽出結果の例

①成長品目であり企業数増加品目の例（図１７～２２）

※実線グラフは，左Ｙ軸：市場規模（万円）。点線グラフは，右Ｙ軸：企業数（社）

図１７

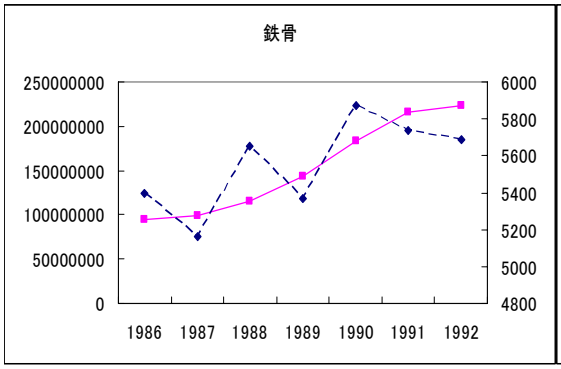


図１８

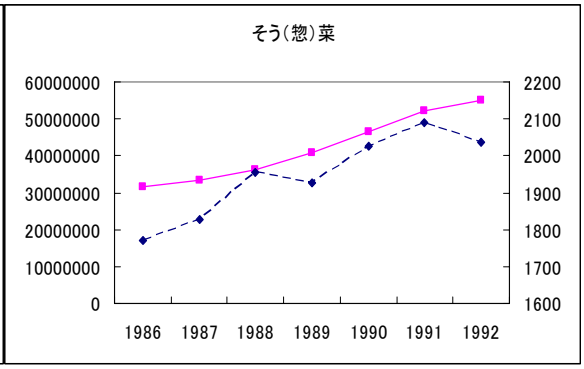


図１９

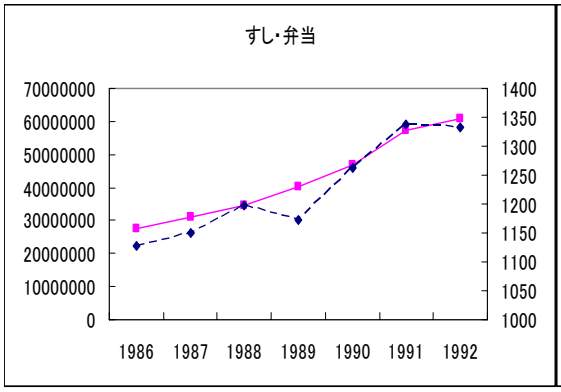


図２０

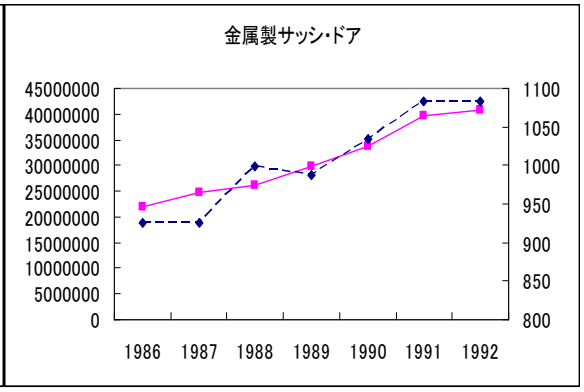


図２１

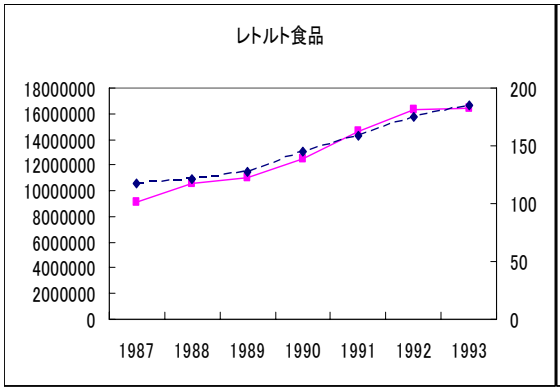
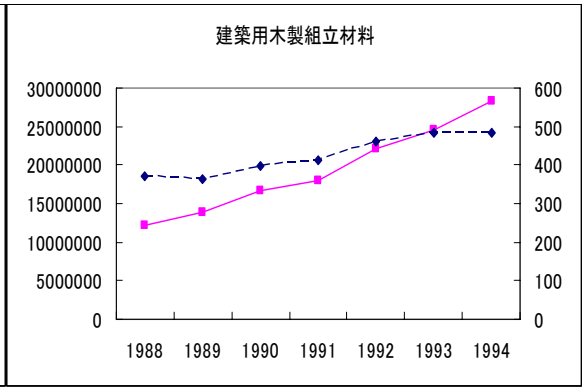


図２２



②成長市場品目であり企業数減少品目の例（図２３～２６）

※実線グラフは，左Ｙ軸：市場規模（万円）。点線グラフは，右Ｙ軸：企業数（社）

図２３

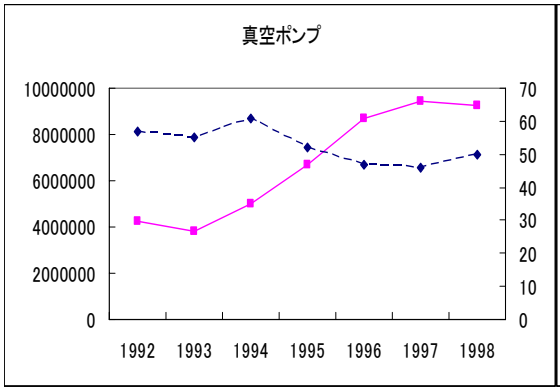


図２４

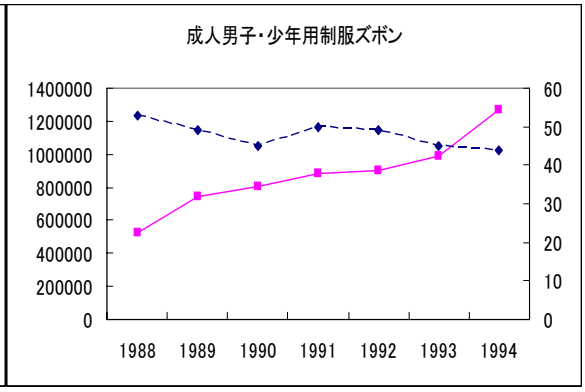


図２５

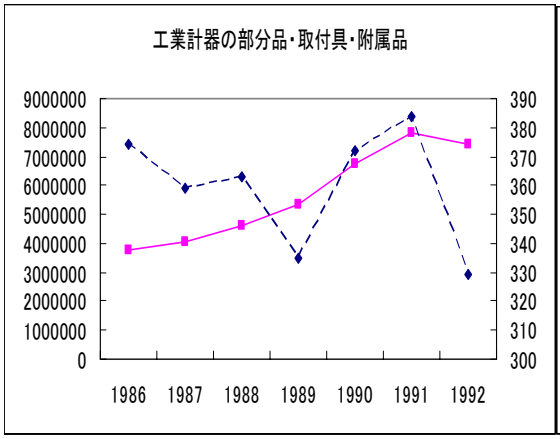
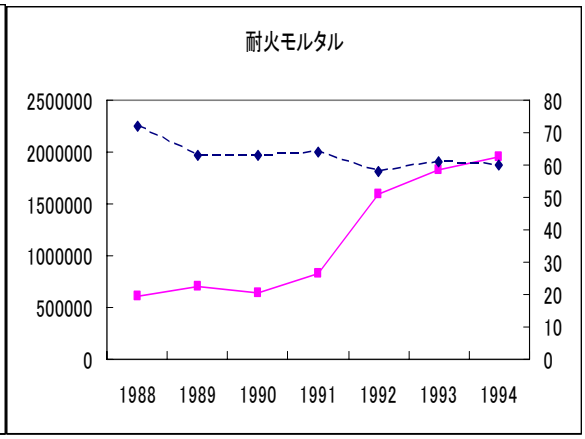


図２６



オ　継続成長品目中企業数増加品目の各種指標

表５　継続成長，企業数増加品目の各種指標

企業数増加品目名	期間中の平均値			開始年	UP平均	UP分散指標
	SFI	企業数	HHI			
鉄骨	1	5554	19	1986	20	0.38
そう（惣）菜	3	1947	43	1986		
すし、弁当	4	1226	82	1986		
金属製サッシ・ドア	8	1006	95	1986		
レトルト食品	11	147	413	1987		
建築用木製組立材料	12	425	109	1988		
事務用機械器具の部分品・取付具・附属品	13	1209	136	1986		
半導体製造装置（フラットパネル・ディスプレイ製造装置を含む）の部分品・取付具・附属品	24	825	221	1995		
荒茶	25	511	240	1987	0	0.41
積算体積計	28	90	688	1986		
木造船舶の船体	35	5	7776	1988		
蓄電池の部分品・取付具・附属品	58	65	1375	1992		
銃砲弾、爆発物	66	7	5410	1986		
体積計の部分品・取付具・附属品	80	43	1429	1986		
鋼製貨物船の新造（20総t以上の動力船）	111	81	484	1988	70	1.10
往復圧縮機	113	36	2252	1994	1257	2.60
理化学用・工業用ファインセラミックス（焼結し放しのもの）	121	35	1281	1986		
電力変換装置	123	54	1037	1986		
シリコンウエハ（表面研磨したもの）	232	36	1319	1993		
普通乗用車（気筒容量2000mlを超えるもの）（シャシーを含む）	233	7	3077	1986	185	0.29
工業用ミシン	233	32	1957	1988	137	1.77
ルームユニット	235	44	1821	1989		
金属製舟艇の新造（鋼船を除く）	274	28	1123	1986	6307	1.33
光ファイバ（素線）	382	5	5140	1995		
光ファイバコード（心線を含む）	530	9	3144	1995		
普通板ガラス	1573	2	9665	1989	1	0.30

新規品目基準の立ち上がり期と同様に SFI の小さい品目では，企業数が多く HHI が小さい傾向があり，逆に SFI の大きい品目では，企業数が少なく HHI が大きい傾向がある。26 品目の SFI と HHI の相関係数は 0.70 と非常に高い相関を示している。

カ　継続成長品目中企業数減少品目の各種指標

表６　継続成長，企業数減少品目の各種指標

企業数減少品目	期間中の平均値			開始年	UP平均	UP分散指標
	SFI	企業数	HHI			
真空ポンプ	47	53	1654	1992	79.8	1.39
成人男子・少年用制服ズボン	66	48	943	1988	0.4	0.47
工業計器の部分品・取付具・附属品	69	359	432	1986		
生薬・漢方	92	136	2909	1986		
銀・同合金展伸材	131	15	1685	1992	2.8	0.33
理化学用・工業用陶磁器	615	21	3938	1993		
耐火モルタル	756	63	1870	1988	6.0	0.87

市場の拡大とともに企業数が減少する安定成長期には，SFI が小さくなるものと考えられるが，この分析からは SFI が大きい品目が多くなっている。この要因として UP 分散指標が小さい値となっていることから，価格競争による企業が淘汰される状況も想定される。

第３章　実証分析

第２章では，立ち上がり品目（市場規模及び企業数が増加）の中で SFI が小さい品目（３(3)分析のフレームワークの（図１０）における②の品目）を抽出したが，SFI が小さくなる原因は，単に企業数が多く HHI が小さい傾向によるものでるとも考えられ，必ずしもこれらの品目が競争政策上問題のある品目とは判定することができなかった。この結果を踏まえて，本章では，SFI を被説明変数とした回帰分析のモデルを用いて，その理論値と実測値の誤差を算出し，様々な要因をコントロールして算出される理論値より実測地の SFI が小さくなる品目を抽出し，競争政策上の問題点を検討する。

１．SFI の回帰分析

第２章 ３ (3)における立ち上がり品目を特定するために，詳細型品目において SFI を被説明変数とした以下のモデルで回帰分析を行った。

(1) 回帰分析のモデル

$$SFI_{it} = \alpha_0 + \alpha_1 LNSZ_{it-1} + \alpha_2 GRS_{it} + \alpha_3 LNSZF_{it-1} + \alpha_4 GRF_{it} + \alpha_5 GDPGR_t + \varepsilon_{it}$$

- SFI_{it}：i品目のt-1 年からt年のシェア変動指標
- $LNSZ_{it-1}$：i品目のt-1 年の市場規模の自然対数
- GRS_{it}：i品目のt-1 年からt年に対する市場成長率
- $LNSZF_{it-1}$：ｉ品目のt-1 年の企業数の自然対数
- GRF_{it}：i品目のt-1 年からt年に対する企業数増加率
- $GDPGR_t$：t-1 年からt年に対する実質GDP成長率
- α_0～α_5：定数及び各説明変数の係数
- ε_{it}：i品目のt年の誤差項

(2) 分析結果

表７　SFI の回帰分析結果

	POOL	FE	RND
LNSZ	−0.0013 (−17.2)**	−0.0064 (−9.75)**	−0.0030 (−12.1)**
GRS	0.0063 (20.3)**	0.0052 (17.7)**	0.0057 (19.5)**
LNSZF	−0.030 (−22.6)**	−0.0027 (−2.46)*	−0.0031 (−11.8)**
GRF	−0.0085 (−6.03)**	−0.010 (−7.15)**	−0.0098 (−7.38)**
GDPGR	−0.00028 (−3.32)**	−0.00025 (−3.09)**	−0.00029 (−3.75)**
CONST	0.056 (30.5)**	0.11 (14.6)**	0.068 (20.1)**

t statistics in parentheses
* significant at 5%; ** significant at 1%

ハウスマン検定により帰無仮説が棄却されたため，固定効果モデル(FE)が選択される。

その結果，規模が大きい市場ほど小さい市場よりも相対的にシェア変動が起こりにくいと考えられるため，LNSZ（市場規模）はマイナスに有意となっている。市場成長に伴いマーケットシェアは大きく変動すると考えられるため，GRS（市場成長率）はプラスに有意となっている。企業数が大きいほど個々の企業のマーケットシェアが小さくなるため，LNSZF（企業数）はマイナスに有意となっている。企業数が増える，つまり参入が起きるとシェア変動が起きると想定されるが，GRF（企業数の変化率）は予想に反してマイナスで有意となっている。景気の状況が競争を促進または減衰させるかどうかであるが，実質ＧＤＰ成長率（GDPGR）によるシェア変動への影響は，マイナスに有意という結果となった。

ここで，企業の変化率は全サンプルの中で企業数が減少している品目が多いため，企業数の減少時にＳＦＩが大きくなることが影響されているとも考えられる。また，実質ＧＤＰ成長率が低い（バブル崩壊による不況時）場合，衰退産業において業界再編や撤退が起こるためシェア変動が大きくなるため，実質ＧＤＰが高い場合よりも相対的にシェア変動が大きくなるとも考えられる。

２．ＳＦＩの理論値と実測値の誤差

第２章　３　(3)の立ち上がり品目において，競争政策上問題となるとも考えられるような，企業数が増加しているにも関わらず SFI が小さい品目を特定するために，１の回帰分析の結果から，SFI の実測値から SFI の回帰結果（ＰＯＯＬ）を当てはめて計算した値との誤差（＝ε）に着目し，立ち上がり期において誤差がマイナスとなる，つまり，SFI が回帰直線より下方に外れた品目を抽出する。ただし，立ち上がり期の品目は，第２章　３　(4)新規品

目基準及び(5)継続成長基準による品目とし，立ち上がり４年間の誤差平均を SFI の誤差とする。

(1) 分析結果

計算式

誤差 ε ＝SFI 実測値

$$- (-0.0022972 \times LNSZ_{it-1} + 0.0063493 \times GRS_{it} - 0.0030634 \times LNSZF_{it-1} - 0.0085902 \times GRF_{it} - 0.0002851 \times GDPGR_t + 0.0568886)$$

ア　新規品目基準

表８　新規品目基準の SFI の誤差と品目

SFIの誤差	品目名称	SFI	企業数	HHI	UP	UP分散指標	開始年
-97	硬質プラスチック発泡製品(薄板)(厚さ3mm未満のもの)	59	14	2506			1985
-58	コントロールユニット	57	23	1315			1994
-50	理化学用・工業用ファインセラミックス(焼結し放しのもの)	104	24	1814			1985
-45	医療用電子応用装置の部分品・取付具・附属品	57	81	567			1994
-44	鋳型(中子を含む)	6	278	108			1985
-33	スイッチング電源	17	64	543			1994
-8	シリコンウエハ(表面研磨したもの)	70	19	2135			1985
5	磁気ヘッド	33	64	836			1987
11	ワードプロセッサ	94	22	1360			1985
13	調理パン、サンドイッチ	10	630	392			1985
14	半導体製造装置(フラットパネル・ディスプレイ製造装置を含む)の部分品・取付具・附属品	11	550	233			1994
16	プリント回路板	12	230	299			1994
33	電力変換装置	110	45	1180			1985
39	複合部品	133	28	2550			1994
53	すし、弁当	5	1107	74			1985
171	金属製がん具	207	73	3755			1994
221	ルームユニット	262	31	2486			1988
247	磁気ディスク(生のもの)	257	36	1073			1994
578	液晶テレビジョン受信機	544	15	1896	5.14	0.85	1994
953	ゲーム用カセット	1023	6	4978			1994

誤差が大きくマイナスとなる，つまり理論値から下方に大きく乖離している品目では,競争が妨げられている可能性がある。例えば，上位３品目中２品目の硬質プラスチック発砲製品，理化学用・工業ファインセラミックスは，高度寡占（HHI＞1800）であり，シェア上位企業のシェア変動が小さくなっていることから，結論を得るには品目ごとの詳細な調査が必要ではあるが，競争政策上の問題が生じている可能性が示唆される。

イ　継続成長基準

表９　継続成長基準の SFI の誤差と品目

SFIの誤差	品目名称	SFI	企業数	HHI	UP	UP分散指標	開始年
-242	普通板ガラス	1	2	9831	0.71	0.37	1989
-192	光ファイバ(素線)	19	4	6606			1995
-180	木造船舶の船体	57	4	6871			1988
-84	往復圧縮機	15	35	815	1657.84	2.54	1994
-70	体積計の部分品・取付具・附属品	72	43	1351			1986
-44	蓄電池の部分品・取付具・附属品	55	63	1407			1992
-43	シリコンウエハ(表面研磨したもの)	26	35	1290			1993
-38	理化学用・工業用ファインセラミックス(焼結し放しのもの)	112	30	1428			1986
-22	レトルト食品	14	128	473			1987
4	積算体積計	57	87	744			1986
6	荒茶	31	491	268	0.15	0.40	1987
24	建築用木製組立材料	18	387	101			1988
24	半導体製造装置(フラットパネル・ディスプレイ製造装置を含む)の部分品・取付具・附属品	17	668	216			1995
46	金属製サッシ・ドア	6	960	104			1986
53	すし、弁当	5	1162	78			1986
59	工業用ミシン	170	24	2451	159.42	1.40	1988
63	電力変換装置	137	51	1120			1986
73	そう(惣)菜	4	1870	44			1986
75	事務用機械器具の部分品・取付具・附属品	10	1188	119			1986
122	鋼製貨物船の新造(20総t以上の動力船)	143	76	512	61.71	1.19	1988
125	鉄骨	1	5395	20	18.81	0.40	1986
131	金属製舟艇の新造(鋼船を除く)	305	24	1339	4967.57	1.45	1986
155	ルームユニット	268	38	2001			1989
183	普通乗用車(気筒容量2000mlを超えるもの)(シャシーを含む)	263	6	3120	170.10	0.27	1986
386	銃砲弾、爆発物	514	7	4590			1986
715	光ファイバコード(心線を含む)	922	8	3029			1995

アの新規品目基準と同様に，例えば，誤差がマイナス上位３品目の普通板ガラス，光ファイバ，木造船舶の船体は，立ち上がり期において，ほぼ１社の独占状態になっており，参入障壁など競争政策上の問題が生じている可能性が示唆される。

また，ユニットプライス（UP）の指標を加えて検討すると，UP 分散指標が非常に大きい往復圧縮機は，SFI の誤差が大きくマイナスとなっているが，各企業ごとの単位当たりの単価のばらつきが非常に大きいことより，異なった製品が同じ品目として分類された差別化された市場となっている可能性が高い。このように品目特有の要因をさらに検討する必要がある。

第４章　結論

本調査研究においては，企業の進入・退出やイノベーションによる市場のダイナミクスにフォーカスした PLC 理論に基づき，公正取引委員会において算出されているシェア変動指標の特性を評価し，シェア変動指標の活用方法に関するインプリケーションを導出した。製品市場のダイナミクスについては，Klepper and Graddy (1990)や Klepper(1996)において PLC に関する理論的なモデルが提唱されている。これらのモデルにおいては，製品市場のシェア変動は,PLC の初期(新たな製品が登場しプロダクトイノベーションが盛んな時期)において大きかったものが，プロセスイノベーションの重要性が増すにつれて次第に低下することが示唆されている。これらのモデルは完全競争を前提としたものであり，市場競争に問題がなくてもシェア変動指標が PLC のステージにおいて変化することを示唆している。したがって，シェア変動指標を市場競争指標として用いる際には，製品のプロダクトサイクルのステージを織り込んだ解釈を行うことが必要である。例えば，本来シェア変動指標が大きくなるライフサイクルの初期において，実際の指数が低いものに留まっている場合には，何らかの形で健全な市場競争が阻害されている可能性が高いということができる。

本調査研究においては工業統計調査の個票データを用いて，まず，Klepper(1996)などにおいて示唆される製品ライフサイクルとシェア変動の関係に関する実証分析を行った。製品毎のライフサイクルステージを特定するためには，それぞれの製品が市場の登場した時点を特定することが必要である。ここでは，工業統計調査に用いられる品目分類（６桁詳細分類）における新規品目分類の設定に着目した「詳細型品目データ」，品目の継続性に着目した「継続型品目データ」の２種類のデータセットを作成した。継続型品目データを用いて調査時期を前期と後期に分けた分析によると，ライフサイクルの初期におけるシェア変動指標は安定成長期と比較して大きいことが確認された。また，製品によっては市場からなくなる過程である「衰退期」の状況についてもシェア変動の状況を把握することができる。「衰退期」におけるシェア変動指標は「安定成長期」と比較して，やはり大きくなることが分かった。

このように工業統計調査の個票データを用いた分析によって，Klepper(1996)などによる PLC 理論の Stylized Facts をある程度確認することができた。つまり，シェア変動指標によって市場競争状態を判断するためには，製品毎の PLC におけるステージを勘案することが必要であることが分かった。ここでは次のステップとして，市場成長率や企業数などライフサイクルステージを含めたシェア変動指標の決定要因に関する回帰分析を行い，その結果を用いて製品別・時点別の「理論的な」シェア変動指標を求めた。実態のシェア変動指標が，この理論的な指数を大きく下回る場合は市場競争において何らかの問題がある可能性が高いということができるからである。本調査研究においては，詳細型品目データを用いて，第２章 ３ (2)の分析のフレームワークにおいて特に競争政策上問題が生じる可能

性が高いと考えられる市場立ち上がり期の品目の中で，その理論値との格差が大きい品目のリストアップを行った。これらの品目が市場競争において何らかの問題があったかどうかについては，より詳細な分析を行うことが必要であるが，この分析結果は，シェア変動指標を市場競争度指標として用いる際の１つの手法を提示したものとして意義が大きいと考える。

最後に今回行った調査研究に関する今後の課題について述べたい。まず，データ分析であるが，今回用いた工業統計データは 1985 年から 2003 年までのものであり，製品毎のライフサイクルのステージを把握するためには期間としてやや短い。製品ライフサイクル理論に関する実証研究として有名な米国タイヤ産業に関する Klepper and Simon (2000)は，１つの産業について 100 年以上にわたるデータベースを作成して分析に用いている。今回の研究は，個々の品目の時系列的な変動より，むしろ品目間のクロスセクション情報を用いており，製品特性などが十分にコントロールされていない可能性がある。したがって，市場競争に問題があったとされる特定の品目についてより詳細で長期間にわたるデータによる分析を行っていくことが重要である。

市場競争状況を示す指標について，これまではハーフィンダール指数や出荷集中度指数などの静的な市場構造を示すものが用いられてきたが，シェア変動指標は，ダイナミックは市場競争状況を示すものとしてユニークな存在である。インターネットのブラウザー市場に見るように，静的には市場が寡占に近い状況にあるが，動的に見るとメインプレイヤーがネットスケープからマイクロソフトに移り変わったことに見られるようにダイナミックな変動を示している。このようにネットワーク効果が見られる IT 業界においては，静的な市場構造指標のみでは市場競争の状況を判断することが難しいと考えられる。

このようにシェア変動指標に対しては，これまでの指標にはない市場競争に関する１つの側面を明らかにする意味で大きな期待がもたれているが，その一方でその利用において扱いにくい点があることが分かった。初歩的な話としては，企業数が多い（静的にみて市場競争が活発である）場合には，それぞれの企業のシェア変動が小さくなることから，指標そのもののレベルが低くなる。これはシェア変動が小さいというより，市場構造に基づくバイアスであり，そのままの値として解釈することは不適切である。また，今回分析を行ったように，シェア変動指標は PLC の状況によっても影響をうける。したがって，シェア変動指標を市場競争指標として活用するためには，これらの要因をコントロールした修正値を作成する必要がある。本調査研究で示した，回帰分析の誤差項はその１つの方法である。ただし，この分析方法では，全品目での回帰した係数値を用いて誤差項を算出しているため，第３章 １ (2)で示したように一部の変数において予想と反した回帰分析結果となっている。この解決方法として，立ち上がり期，安定期，衰退期といった PLC の各期を何らかの基準で分類した上で，それぞれの期毎に回帰分析しより精度の高い誤差項を算出することが今後の検討課題として挙げられる。

また，今後市場シェアの変動に関する研究を掘り下げるためには，動的な市場競争に関

する理論が必要となる。今回とりあげた製品のライフサイクルを取り入れたモデルはその１つであるが，このモデルは完全競争を仮定したものであり，動的な市場の非効率性を直接取り上げたものではない。ダイナミックな競争における市場の非効率性を明示的に取り上げた理論モデルの開発は，静的な市場効率性に関する理論と比べて格段に遅れている。シェア変動指標を有効に活用していくためには，実証研究と併せて，理論的な研究も行っていくことが必要である。

参考文献

Kato, M. and Honjo, Y (2005), The Stability of Market Leadership Positions in Japanese Manufacturing Industries, *CPRC Discussion Paper Series*, CPDP 15-E

Klepper, S. (1996), Entry, Exit, Growth and Innovation over the Product Life Cycle, *American Economic Review*, vol. 86, No. 3, pp. 562-583

Klepper, S. and K. L. Simon (2000), The Making of an Oligopoly: Firm Survival and Technological Change in the Evolution of the US Tire Industry, *Journal of Political Economy*, 108(4), pp. 728-760

Klepper, S. and K. L. Simon (1997), Technological Extinction of Industrial Firms: An Inquiry into Their Nature and Causes, *Industry and Corporate Change* 6, pp. 379-460

Klepper, S. and E. Graddy (1990), The Evolution of New Industries and the Determinants of Market Structure, *Rand Journal of Economics*, Spring 1990, 21(1), pp. 27-44

Utterback, J. (1994), *Mastering the Dynamics of Innovation*, Harvard Business School Press (『イノベーションダイナミクス』(大津正和・小川進監訳, 有斐閣))

Utterback, J. and F. Suarez, Innovation, Competition and Industry Structure, *Research Policy*, February 1993, 22(1), pp. 1-21

元橋一之, 船越誠, 藤平章,「競争, イノベーション, 生産性に関する定量的分析」, 平成１６年度ＣＰＲＣ共同研究報告書,
http://www.jftc.go.jp/cprc/reports/cr0205.pdf

参考１　データ加工方法

１．経済産業省からの原本データ

①工業統計個票（1985～2002）　※回収ベースサンプル

②事業所番号コンバータ　※名簿ベースサンプル

（1985～2003 各連続年ペア，大変更と小変更，市区町村のみの変更，変更無し年）

③企業名寄せコンバータ（1994～2002）　※回収ベースサンプル

（94～96，97～02 の２つの企業番号（通し番号）でコンバータは存在しない）

④品目番号コンバータ（1985～2002）　※紙面データ（一部電子データ）

（1994 年，1999 年，2002 年の３回改定分）

⑤準備調査名簿（1993～2002）　※名簿ベースサンプル

（企業名や住所の確認用に使用）

２．原本データの整理と各コンバータの作成

(1)個票データの整理（1985～2002）

①各年甲乙票の接続

②事業所番号（10 桁）の作成

③品目番号(com)，出荷金額(amship)，数量(qtship)，事業所番号(bu〇〇)のみ残す

ファイル名：〇〇id.dta

(2)事業所番号コンバータの作成

①それぞれの事業所番号コンバータの事業所情報を事業所番号（10 桁）に変換

②設定替毎に４つのコンバータ作成（85_90，91_96，97_01，02_03）

（∵各期間ごとの共通番号で期間内の事業所番号を整理できるため）

設定替えの事業所番号から溯って各年コンバータを接続する。

だたし，コンバータ内での事業所番号を整合する整理の手作業を含む

③各コンバータに個票の事業所番号をマージして追加

（∵コンバータに無く，個票にある番号が存在する為）

コンバータに無く個票に有る事業所番号を追加する。

④事業所番号コンバータ 97_01 に統一番号（02 年ベース）を追加

設定替えの事業所番号コンバータ 01_02 を利用する。

④-1 統一番号が無く 97_01 に有る事業所番号に新統一番号を追加

新統一番号＝事業所番号＋10000000000（11 桁目が１）

④-2 統一番号が無く 2001 年個票にのみ有る事業所番号に新統一番号を追加

新統一番号＝事業所番号＋20000000000（11 桁目が 2）

④-3 統一番号が無く 2000 年個票にのみ有る事業所番号に新統一番号を追加

新統一番号＝事業所番号＋30000000000（11 桁目が 3）
④-4 統一番号が無く 1999 年個票にのみ有る事業所番号に新統一番号を追加
新統一番号＝事業所番号＋40000000000（11 桁目が 4）
④-5 統一番号が無く 1998 年個票にのみ有る事業所番号に新統一番号を追加
新統一番号＝事業所番号＋50000000000（11 桁目が 5）
④-6 統一番号が無く 1997 年個票にのみ有る事業所番号に新統一番号を追加
新統一番号＝事業所番号＋60000000000（11 桁目が 6）
⑤事業所番号コンバータに事業所番号コンバータ 91_96 を接続
設定替えの事業所番号コンバータ 96_97 を利用する。
⑤-1 統一番号が無く事業所番号コンバータ 91_96 で共通する事業所番号及び 1996 年個票にのみ有る事業所番号に新統一番号を追加
新統一番号＝事業所番号＋70000000000（11 桁目が 7）
⑤-2 統一番号が無く 1995 年個票にのみ有る事業所番号に新統一番号を追加
新統一番号＝事業所番号＋80000000000（11 桁目が 8）
⑤-3 統一番号が無く 1994 年個票にのみ有る事業所番号に新統一番号を追加
新統一番号＝事業所番号＋90000000000（11 桁目が 9）
⑤-4 統一番号が無く 1993 年個票にのみ有る事業所番号に新統一番号を追加
新統一番号＝事業所番号＋100000000000（11,12 桁目が 10）
⑤-5 統一番号が無く 1992 年個票にのみ有る事業所番号に新統一番号を追加
新統一番号＝事業所番号＋110000000000（11,12 桁目が 11）
⑤-6 統一番号が無く 1991 年個票にのみ有る事業所番号に新統一番号を追加
新統一番号＝事業所番号＋120000000000（11,12 桁目が 12）
⑥事業所番号コンバータに事業所番号コンバータ 85_90 を接続
設定替えの事業所番号コンバータ 90_91 を利用する。
⑥-1 統一番号が無く事業所番号コンバータ 85_90 で共通する事業所番号及び 1990 年個票にのみ有る事業所番号に新統一番号を追加
新統一番号＝事業所番号＋130000000000（11,12 桁目が 13）
⑥-2 統一番号が無く 1989 年個票にのみ有る事業所番号に新統一番号を追加
新統一番号＝事業所番号＋140000000000（11,12 桁目が 14）
⑥-3 統一番号が無く 1988 年個票にのみ有る事業所番号に新統一番号を追加
新統一番号＝事業所番号＋150000000000（11,12 桁目が 15）
⑥-4 統一番号が無く 1987 年個票にのみ有る事業所番号に新統一番号を追加
新統一番号＝事業所番号＋160000000000（11,12 桁目が 16）
⑥-5 統一番号が無く 1986 年個票にのみ有る事業所番号に新統一番号を追加
新統一番号＝事業所番号＋170000000000（11,12 桁目が 17）
⑥-6 統一番号が無く 1985 年個票にのみ有る事業所番号に新統一番号を追加

新統一番号＝事業所番号＋180000000000（11,12 桁目が 18）
設定替えの事業所番号コンバータ 02_03 を利用する。
⑦-1 統一番号が無く事業所番号コンバータ 02_03 で共通する事業所番号及び 2003 年個票にのみ有る事業所番号に新統一番号を追加
新統一番号＝事業所番号＋190000000000（11,12 桁目が 19）
事業所番号コンバータのファイル名：bucnv.dta

(3)統一事業所番号－各年企業番号コンバータの作成
①各年の企業名寄せコンバータの事業所情報から事業所番号（10 桁）に変換
②統一事業所番号－各年企業番号(fbucnv)コンバータのオリジナルの作成
事業所番号コンバータ(bucnv)に各年(94～02)の企業名寄せコンバータを接続する。
③fbucnv のうち 1997～2003 年の期間で同一事業所，同一企業名の抽出
fbucnv の 97～03 年の同一事業所行で見て７年間連続で企業名が同じ場合又は同じとみなされる（名簿で企業名が抽出できない）場合の対応表を作成する。
④fbucnv のうち 1994 年～1996 年の期間で同一事業所，同一企業名の抽出
fbucnv の 94～96 年の同一事業所行で見て３年間連続で企業名が同じ場合又は同じとみなされる（名簿で企業名が抽出できない）場合の対応表を作成する。
⑤③及び④の対応表より fbucnv の各年企業番号を同一企業番号への変換
94～96 及び 97～02 の同一企業番号を各年ごとに変換する。
⑥94～96 企業番号と 96-97 企業番号の対応
fbucnv の 94～96 企業番号（７桁）を 96-97 企業番号(5 桁)に対応する企業番号に変換する。
⑦85～93 企業番号の作成
1985～1993 年の企業番号を 1994 年企業番号(f94)と同一番号として作成する。
⑧fbucnv の企業番号の時系列対応の整理
同一事業所で企業番号の抜けている番号については，前年の企業番号に変換する。
（1994～2003 年の名簿から抜けている企業を時系列で繋げるための作業）
（※企業から独立事業所になるよりも，企業名寄せエラーの可能性のほうが高い）

統一事業所番号－各年企業番号コンバータのファイル名：fbucnv.dta

(4)品目番号コンバータの作成（85～02）（1994 年，1999 年，2002 年の３回改定分）
①2001-2002 改定コンバータに 1998-1999 改定コンバータを追加
02 年改定コンバータ（電子データ）に 99 年改定の品目名・番号を追加入力
②1993-1995 改定コンバータを追加

94 年改定の品目名・番号を新旧欄に追加入力

③詳細型品目コンバータを作成

入退出を重視した詳細型品目を抽出し，2002 年を基準に基準品目番号を付与した詳細型品目番号コンバータを作成（賃加工，その他品目を削除）

④継続型品目コンバータを作成

継続性を重視した継続型品目を抽出し，同様に基準品目番号を付与し継続型品目番号コンバータを作成（賃加工，その他品目を削除）

cocomcnv.dta（継続型），iocomcnv.dta（詳細型）

３．統一企業番号への変換

①各年個票ファイル(〇〇id.dta)に統一事業所番号(bu)を追加

②各年個票ファイルに各年企業番号(f〇〇)を追加

③各年個票ファイルに統一企業番号を追加

企業番号が無い事業所に統一事業所番号を代入し統一企業番号とする

※統一企業番号(f)の分類

a)97～02 企業番号(f〇〇)に対応する事業所（1～5 桁）

b)94～96 企業番号に対応し 97～02 企業番号に対応しない事業所（7～8 桁）

c)02 年の事業所番号に対応する単独事業所（9～10 桁）

d)02 年の事業所番号に対応しない単独事業所（11～12 桁）

④同一企業同一品目の統合

各年個票ファイルの統一企業番号と品目番号で同一企業の同一品目の出荷金額及び出荷数量を合算し，統一企業番号の各年個票ファイル(f〇〇.dta)を作成する。

４．品目データの接続

(1)詳細型品目データ接続

①各年品目番号を基準品目番号に変換

各年ごとに各品目番号を基準品目番号に変換し，詳細型品目番号コンバータに存在しない余分な品目を削除する。

②個票の接続

各個票ファイルに年(year)を追加しすべての個票を接続

(2)継続型品目データ接続

①各年品目番号を基準番号に変換

各年ごとに各品目番号を基準品目番号に変換し，詳細型品目番号コンバータに存在しない余分な品目を削除する。

②個票の接続

各個票ファイルに年(year)を追加しすべての個票を接続

(3)市場規模の推移表から異常品目の削除（継続型，詳細型それぞれ）

①市場規模の推移表をエクセルで作成

②品目改定の年に異常に変動している品目を削除

fcomco.dta（継続型），fcomio（詳細型）

参考２　各グループの品目

第２章　２　(6) 市場成長によるグループ化の各グループの品目について，品目名，市場規模成長率（前期，後期），SFI（前期，後期），HHI（前期，後期），企業数平均を示す。

		市場成長率		SFI		HHI		企業数
ｸﾞﾙｰﾌﾟ	品目名称	前期	後期	前期	後期	前期	後期	平均
1	精米かす	−49.8%	−43.0%	79	149	404	407	570
1	精麦かす	−61.5%	−31.9%	139	75	752	743	49
1	こんにゃく粉	−55.7%	−56.8%	52	21	266	384	88
1	牛脂	−48.4%	−30.6%	43	21	558	739	72
1	ウイスキー	−49.1%	−60.8%	17	6	5833	7908	22
1	器械生糸、座繰生糸、玉糸	−75.8%	−96.5%	6	115	266	1316	63
1	純綿糸（落綿糸を含む）	−56.7%	−62.3%	11	21	445	942	63
1	混紡綿糸（落綿糸を含む）	−53.6%	−72.4%	47	70	642	1030	62
1	落綿（紡績工程からでたもの）	−78.0%	−81.0%	368	82	990	1345	33
1	純ビスコース・スフ糸	−46.8%	−94.8%	59	224	1088	2020	22
1	混紡ビスコース・スフ糸	−38.8%	−75.0%	158	345	1224	1890	16
1	ビニロン紡績糸（混紡を含む）	−43.3%	−41.3%	41	179	4133	4718	7
1	純アクリル紡績糸	−71.7%	−89.5%	44	161	919	1977	29
1	混紡アクリル紡績糸	−60.8%	−79.6%	44	148	414	1626	41
1	純ポリエステル紡績糸	−39.0%	−75.1%	80	165	836	1290	31
1	混紡ポリエステル紡績糸	−59.8%	−68.4%	26	32	545	856	49
1	純そ毛糸	−40.2%	−79.2%	18	84	564	831	39
1	混紡そ毛糸	−63.7%	−55.4%	57	113	944	1432	29
1	純紡毛糸	−52.8%	−67.8%	32	58	499	935	38
1	混紡紡毛糸	−81.6%	−60.0%	52	113	711	1248	30
1	落毛（紡績工程からでたもの）	−59.6%	−93.5%	174	986	1438	3772	18
1	綿縫糸、綿ねん糸	−49.5%	−72.3%	37	202	601	937	65
1	絹（生糸）縫糸	−66.6%	−57.2%	29	142	741	1266	24
1	ポプリン、ブロードクロス	−50.1%	−81.5%	73	87	1059	1549	61
1	かなきん、粗布、てんじく、細布、ネル	−88.4%	−38.8%	106	145	1566	1848	67
1	別珍、コールテン	−72.3%	−48.1%	259	156	1254	1239	20
1	クレープ	−59.4%	−50.2%	101	50	695	955	24
1	タオル地	−69.3%	−63.4%	12	34	219	1257	163
1	白もめん（さらし地、手ぬぐい地、ゆかた地）	−54.5%	−60.9%	25	164	1130	1271	68
1	ビスコース・スフ生地織物	−45.2%	−74.6%	36	46	574	1191	79
1	アクリル紡績糸織物	−48.2%	−75.9%	33	40	499	713	58
1	ポリエステル紡績糸織物・ポプリン、ブロードクロス	−43.7%	−46.7%	122	53	1549	1223	37
1	綿・スフ・合成繊維毛布地	−59.2%	−57.2%	36	69	669	812	56
1	羽二重類（交織を含む）（広幅のもの）	−50.5%	−76.2%	11	33	241	417	78
1	ちりめん類（小幅のもの）	−51.5%	−74.7%	3	6	139	204	184
1	ビスコース人絹織物	−51.3%	−58.9%	39	39	618	772	68
1	アセテート長繊維織物	−32.6%	−63.1%	165	62	795	925	33
1	ポリエステル長繊維織物	−32.3%	−33.3%	30	16	468	562	195
1	化学繊維タイヤコード	−84.0%	−37.7%	326	379	2700	3868	5
1	紡毛服地	−61.0%	−47.9%	27	31	340	687	74
1	麻織物	−71.7%	−46.5%	47	108	347	612	74
1	繊維製ホース、麻風合成繊維織物	−49.1%	−91.7%	72	476	1978	3659	11
1	横編ニット生地（半製品を含む）	−39.0%	−38.3%	36	85	492	1382	67
1	合成繊維紡績糸織物精練・漂白・染色、麻風合成繊維織物機械整理仕上	−44.0%	−58.9%	43	137	1895	1987	13
1	絹・人絹織物精練・漂白・染色	−47.1%	−44.0%	100	264	3549	3106	12
1	毛織物機械染色・整理	−75.7%	−87.1%	525	334	3133	5115	4
1	綿織物手加工染色・整理	−41.1%	−48.8%	37	33	3086	3437	100
1	綿糸染	−35.5%	−38.2%	156	76	2071	3037	19
1	麻ロープ・コード・トワイン	−42.2%	−49.1%	78	73	1041	1540	35
1	ナイロン漁網	−61.8%	−39.9%	15	10	233	451	118
1	ポリエチレン漁網	−32.3%	−49.9%	135	31	472	500	66
1	毛紡織半製品	−46.4%	−78.9%	70	262	1126	3281	20
1	綿製ふとん綿（中入綿を含む）	−66.1%	−55.9%	9	17	87	205	358
1	じゅうたん、だん通	−39.0%	−60.6%	32	23	496	771	63
1	成人男子・少年用ゴム引合羽・レインコート・ビニル合羽	−54.1%	−45.3%	71	104	973	2313	37

		市場成長率		SFI		HHI		企業数
ｸﾞﾙｰﾌﾟ	品目名称	前期	後期	前期	後期	前期	後期	平均
1	乳幼児服	−30.6%	−60.9%	14	20	169	308	211
1	綿織物製下着	−39.3%	−67.7%	30	38	405	592	121
1	織物製寝着類（和式のものを除く）	−59.8%	−69.7%	15	49	269	726	108
1	毛皮製衣服・身の回り品	−72.5%	−49.0%	61	77	783	1175	71
1	繊維製履物	−34.9%	−78.9%	6	95	250	345	122
1	衛生衣服附属品	−42.0%	−73.9%	45	50	519	549	59
1	綿帆布製品	−34.0%	−38.0%	25	28	99	179	502
1	製材くず	−34.4%	−43.6%	23	7	39	41	3773
1	木材チップ	−49.3%	−43.7%	1	3	21	43	2568
1	木製台所用品	−31.9%	−42.9%	10	15	172	278	228
1	はし（木・竹製）	−45.1%	−70.5%	8	25	144	395	252
1	木製音響機器用キャビネット	−43.5%	−73.2%	50	64	480	564	137
1	溶解パルプ	−58.4%	−46.7%	104	150	4436	7095	3
1	内装用ライナ（段ボール原紙）	−37.7%	−44.3%	18	36	921	1666	18
1	帳簿類	−42.3%	−57.6%	24	87	2498	2810	37
1	尿素	−57.1%	−35.3%	222	120	2623	3736	8
1	過りん酸石灰	−38.2%	−61.1%	18	34	881	1077	18
1	熔成りん肥	−66.5%	−52.3%	35	123	2153	2891	7
1	化成肥料	−36.6%	−34.9%	9	8	432	441	76
1	塩化アンモニウム	−47.7%	−65.5%	114	595	5675	8816	3
1	亜鉛華	−41.0%	−55.5%	108	118	1824	2418	9
1	黄鉛	−31.0%	−69.4%	15	132	3267	4636	5
1	カルシウムカーバイド	−61.9%	−40.4%	135	31	4193	6474	3
1	シクロヘキサン	−50.2%	−45.3%	600	288	4267	4249	5
1	無水フタル酸	−42.0%	−60.6%	50	204	1832	2434	7
1	ユリア樹脂	−31.6%	−73.7%	4	207	1865	2065	15
1	ホルマリン	−30.6%	−34.4%	11	60	1040	1198	17
1	副生硫酸アンモニウム	−59.5%	−31.5%	48	57	1430	2018	11
1	ビスコース短繊維	−51.0%	−84.4%	19	514	1536	3618	6
1	ナイロン長繊維糸・短繊維	−46.9%	−45.6%	12	85	2004	2245	10
1	ポリエステル短繊維	−42.6%	−32.4%	8	97	2053	2121	10
1	脂肪酸（直分、硬分）	−41.0%	−60.8%	310	193	1578	1513	15
1	洗濯石けん（固型、粉末）	−37.5%	−38.0%	92	76	962	1120	54
1	Ｂ重油	−98.1%	−51.3%	234	347	1301	2496	15
1	精製・混合用原料油	−62.0%	−47.4%	51	162	4033	4821	8
1	コークス	−65.4%	−39.2%	50	22	2621	2377	14
1	練炭、豆炭	−40.6%	−32.8%	154	307	1322	3122	21
1	自転車用タイヤ・チューブ	−49.0%	−81.5%	26	177	2193	3610	9
1	地下足袋	−49.6%	−90.1%	48	236	1151	2217	19
1	ゴム底布靴	−48.2%	−65.1%	63	237	1148	1656	57
1	ゴム製履物用品	−44.8%	−30.8%	13	12	172	184	197
1	プラスチック製靴	−40.7%	−48.3%	20	23	510	506	254
1	プラスチック製サンダル	−46.8%	−64.9%	6	13	114	196	192
1	プラスチック製スリッパ	−62.5%	−44.3%	31	113	321	963	61
1	更生タイヤ用練生地	−38.0%	−51.0%	122	240	2514	3093	10
1	再生ゴム	−40.2%	−40.7%	21	37	1272	1430	21
1	牛底革（クローム底革を含む）	−65.7%	−86.7%	172	447	1692	2476	21
1	牛ぬめ革（茶利革を含む）	−53.7%	−42.2%	100	60	1252	2003	20
1	豚革	−41.7%	−56.7%	17	37	285	433	67
1	山羊・めん羊革	−48.6%	−59.3%	62	92	1000	1052	21
1	毛皮（調整済で完成品ではないもの）	−77.1%	−83.4%	821	604	3815	6304	6
1	服装用革ベルト	−35.8%	−70.8%	10	38	382	403	122
1	ガラス管・棒・球（電気用を除く）	−34.7%	−59.2%	4	4	9158	8999	6
1	アンプル	−37.2%	−34.1%	12	29	781	905	26
1	卓上用ガラス器具	−35.0%	−45.9%	28	56	4505	2811	48
1	魔法瓶用ガラス製中瓶	−56.3%	−47.7%	56	39	3087	3732	6
1	普通コンクリート管	−43.1%	−36.1%	22	33	184	338	203
1	テラゾー製品	−35.2%	−71.5%	91	70	656	750	60
1	波形石綿スレート	−39.4%	−64.9%	21	62	800	1128	24
1	陶管（土管を含む）	−32.6%	−33.7%	23	37	818	1151	35
1	陶磁器製置物	−32.2%	−59.3%	5	10	65	90	857
1	陶磁器絵付品	−76.7%	−52.8%	30	32	515	481	119

		市場成長率		SFI		HHI		企業数
ｸﾞﾙｰﾌﾟ	品目名称	前期	後期	前期	後期	前期	後期	平均
1	粘土質耐火れんが	−36.5%	−33.8%	25	61	730	1180	57
1	炭素棒	−35.9%	−36.1%	25	48	2424	4702	9
1	台所・食卓用ほうろう鉄器	−72.3%	−86.0%	45	251	1101	2350	19
1	ほうろう製衛生用品	−41.0%	−67.1%	34	202	2192	2092	13
1	高炉銑（鋳物用銑）	−48.1%	−31.7%	482	30	3941	5149	4
1	普通鋼粗鋼	−55.0%	−82.0%	116	380	1824	3058	13
1	管材	−69.9%	−34.1%	77	270	3791	4433	4
1	綿材、バーインコイル	−39.3%	−33.3%	10	17	1605	1736	14
1	普通鋼冷延鋼板（冷延ローモ板、再生仕上鋼板を含む）	−42.8%	−40.6%	345	27	2204	2880	16
1	普通鋼磨帯鋼（幅600mm未満でコイル状のもの）	−39.8%	−34.4%	56	20	2874	2698	10
1	普通鋼熱間鋼管（ベンディングロール成型によるものを除く）	−36.3%	−41.6%	12	37	1209	1124	34
1	シリコマンガン	−82.7%	−49.1%	148	346	2688	4649	6
1	フェロクロム	−60.9%	−89.3%	51	399	2190	3859	6
1	普通鋼鋳鋼（鋳放しのもの）（鋳鋼管を含む）	−33.6%	−33.8%	17	21	626	597	71
1	亜鉛地金	−61.5%	−60.4%	20	221	2214	3910	5
1	アルミニウム地金	−83.5%	−60.9%	155	259	6271	6602	3
1	亜鉛再生地金、亜鉛合金	−47.4%	−69.6%	124	76	1444	1630	51
1	アルミニウム荒引線	−34.6%	−58.0%	71	150	1769	2152	8
1	食卓用ナイフ・フォーク・スプーン（めっき製を含む）	−49.4%	−68.2%	8	14	177	346	167
1	やすり	−38.8%	−55.5%	12	24	390	566	47
1	非鉄金属製金網	−53.6%	−41.7%	99	255	641	952	53
1	せん孔機	−58.3%	−44.2%	170	134	2003	1856	21
1	フライス盤	−75.9%	−64.6%	113	126	683	982	58
1	圧延機械、同附属装置	−45.0%	−78.8%	436	742	1138	1813	56
1	ガス溶接・溶断機	−36.2%	−41.0%	152	114	1998	2146	28
1	織物用準備機	−45.6%	−47.0%	87	210	1492	2294	26
1	毛糸手編機械、同部分品・取付具・附属品	−79.2%	−91.5%	91	249	2729	3608	26
1	パルプ製造機械、同装置	−49.1%	−40.1%	116	152	808	1463	39
1	計算機械	−71.9%	−59.2%	161	53	3054	6640	10
1	金銭登録機（レジスタ）	−72.7%	−44.9%	134	115	1313	1828	18
1	単相誘導電動機（70W以上）	−40.4%	−46.0%	52	44	1232	1525	27
1	特殊用途変圧器	−39.1%	−37.3%	48	67	467	538	75
1	小形開閉器	−30.4%	−73.8%	74	154	810	1161	69
1	コンデンサ（蓄電器）	−34.3%	−37.0%	67	125	717	967	38
1	電子レンジ	−54.6%	−53.0%	70	25	2360	2337	14
1	扇風機	−74.4%	−71.3%	127	93	1508	2653	14
1	電気こたつ	−33.0%	−79.6%	103	83	1067	1128	24
1	磁気録画・再生装置（VTR、EVR）	−67.3%	−61.5%	39	211	943	1544	33
1	筒形マンガン乾電池	−32.1%	−68.5%	43	115	4613	4000	5
1	テレビジョン受信機（液晶式を除く）	−31.2%	−57.7%	23	155	1093	1543	27
1	テープレコーダ	−64.8%	−43.8%	127	949	896	2536	37
1	ハイファイ用アンプ	−43.6%	−89.5%	99	352	1393	1668	34
1	電気音響機械器具の部分品・取付具・附属品	−39.9%	−49.9%	10	59	91	260	1091
1	マイクロ波管	−34.8%	−40.1%	214	75	2438	1977	9
1	変成器	−34.9%	−41.5%	25	30	319	326	360
1	テレビジョン用チューナ（ビデオ用を含む）	−44.7%	−34.1%	45	313	824	2063	30
1	鋼製漁船の新造（20総t以上の動力船）	−61.9%	−62.6%	129	555	1209	2062	19
1	金属温度計	−42.7%	−42.3%	37	18	676	662	68
1	望遠鏡	−36.2%	−40.5%	109	211	1288	2766	28
1	双眼鏡	−34.8%	−70.1%	33	64	1003	1952	35
1	35ミリカメラ	−49.4%	−75.8%	35	117	893	1151	22
1	カメラ・写真装置の部分品・取付具・附属品	−31.5%	−34.0%	22	34	199	275	593
1	眼鏡	−45.1%	−52.0%	61	123	1368	862	69
1	携帯時計側	−58.7%	−80.3%	37	49	703	1474	38
1	天然・養殖真珠装身具（購入真珠によるもの）	−43.2%	−42.2%	55	89	645	1175	82
1	ピアノ	−36.9%	−31.7%	10	7	6208	6450	9
1	日本人形、西洋人形、縫いぐるみ人形	−63.3%	−78.9%	15	25	254	319	166
1	スキー・水上スキー・スケート用具	−48.0%	−55.4%	80	98	840	1103	48
1	図案・製図用具	−65.2%	−74.1%	86	109	2750	1084	50
1	花むしろ、ござ	−41.2%	−61.9%	45	92	437	755	102
1	男子用洋傘	−35.8%	−84.8%	61	135	509	1505	49
1	マッチ（軸木、箱を含む）	−57.8%	−52.2%	26	24	627	1209	33

		市場成長率		SFI		HHI		企業数
ｸﾞﾙｰﾌﾟ	品目名称	前期	後期	前期	後期	前期	後期	平均
1	喫煙用具	−58.4%	−58.4%	25	29	1378	3165	77
1	魔法瓶、魔法瓶ケース（ジャー、ジャーケースを含む）	−36.2%	−73.6%	81	43	1355	1864	25
2	さば缶詰	−58.1%	−23.1%	69	94	831	1014	19
2	グルタミン酸ソーダ	−46.9%	−12.9%	26	42	3459	5817	6
2	粗糖（糖みつ、黒糖を含む）	−35.0%	−21.0%	11	29	560	793	61
2	小麦製粉かす	−59.7%	−29.4%	14	63	758	919	109
2	大豆油	−45.8%	−1.2%	47	50	1262	1360	23
2	植物油搾かす	−45.0%	−1.1%	145	26	1021	1105	70
2	豚脂	−49.9%	−14.5%	79	17	685	684	103
2	でんぷんかす	−53.0%	23.9%	22	22	1805	2133	26
2	バナナ熟成加工	−35.6%	−9.0%	61	102	659	1502	61
2	清酒かす	−53.7%	0.0%	57	8	164	130	1512
2	添加用アルコール（飲料用アルコール）（９５％換算）	−31.4%	−24.6%	100	63	1778	2003	37
2	配合飼料	−41.7%	−2.5%	6	7	203	287	334
2	単体飼料	−37.0%	−9.7%	7	11	95	149	335
2	衣服用ニット編手袋	−40.0%	−9.2%	35	108	849	1368	34
2	フェルト帽子・帽体	−54.9%	24.6%	424	90	1138	825	46
2	繊維製袋	−42.0%	−21.4%	19	16	261	477	202
2	コルク製品	−38.7%	−6.3%	82	138	1818	1863	45
2	製紙クラフトパルプ	−54.1%	−23.6%	52	111	1286	1501	15
2	黄板紙、チップボール	−40.8%	−24.8%	23	36	1375	1556	25
2	色板紙	−45.0%	−12.0%	88	59	1109	1332	16
2	セロファン	−30.9%	−26.0%	29	17	3427	4677	6
2	ソリッドファイバー・バルカナイズドファイバー製品	−38.7%	1.7%	34	25	1056	1149	29
2	活字	−45.4%	−7.3%	47	201	1404	1853	68
2	アンモニア、アンモニア水（NH3100％換算）	−35.2%	−18.8%	38	63	1566	1491	25
2	液体塩素	−34.3%	−13.2%	12	27	843	1029	23
2	カーボンブラック	−36.5%	3.1%	46	11	1447	1848	14
2	りん酸（電炉によるもの）	−40.5%	16.8%	15	53	4098	4313	3
2	硝酸銀	−65.8%	−15.1%	8	29	7967	7245	5
2	ブタン、ブチレン（ナフサ分解によるもの）	−33.9%	2.4%	81	113	1652	2903	9
2	芳香族混合溶剤	−61.3%	25.6%	290	399	2615	3378	9
2	カプロラクタム	−41.3%	−1.7%	27	79	2616	2478	5
2	クレオソート油	−59.5%	−3.1%	438	75	3220	3977	8
2	ピッチ	−56.1%	−18.0%	187	118	2367	3282	5
2	有機ゴム薬品	−35.2%	−2.5%	59	50	1674	1506	19
2	アクリル長繊維糸・短繊維	−40.7%	−26.0%	8	37	1953	2244	7
2	硬化油（工業用、食料用）	−50.7%	11.3%	178	156	2950	2600	11
2	ろうそく	−33.6%	3.7%	31	34	1684	2085	59
2	軽油	−37.9%	20.7%	15	23	898	1024	25
2	C重油	−70.6%	25.6%	17	19	740	828	28
2	潤滑油（グリースを含む）	−46.5%	1.2%	28	61	1073	1421	18
2	パラフィン	−38.0%	0.6%	8	30	4764	5445	11
2	石油ガス	−52.7%	28.1%	68	58	4476	5385	8
2	粗製コールタール	−78.6%	6.5%	161	238	2256	1955	9
2	回収いおう	−68.8%	9.7%	61	335	1440	2261	17
2	プラスチック板・棒・管・継手・異形押出製品の加工品（切断、接合、塗装、蒸着めっき、バフ加工等）	−47.6%	−28.6%	15	4	244	67	785
2	廃プラスチック製品	−38.8%	0.6%	36	19	383	238	123
2	自動車用・特殊車両用・航空機用チューブ	−68.8%	5.8%	23	109	1495	1465	15
2	ゴム草履・スリッパ（スポンジ製のものを含む）	−72.2%	−21.5%	272	145	1481	2560	12
2	コンベヤゴムベルト	−39.5%	2.4%	35	37	1836	1996	11
2	合成皮革製ケース	−34.5%	−20.7%	77	48	457	934	91
2	プラスチック製ハンドバック	−74.5%	−19.1%	116	401	1430	3272	10
2	人造耐火材	−41.9%	−19.3%	40	41	1563	1296	34
2	人造黒鉛電極	−52.8%	−14.8%	33	5	2318	2705	6
2	小形棒鋼	−35.2%	−20.9%	8	8	366	405	65
2	大形・中形棒鋼	−33.9%	−7.1%	37	76	1397	1242	17
2	厚中板（厚さ3mm以上）	−39.7%	1.4%	8	64	1730	1903	12
2	薄板（厚さ3mm未満でローモ板、電気鋼板を含む）	−47.8%	−28.0%	14	531	6203	5838	6
2	鋼帯	−38.4%	16.0%	8	57	2263	2059	8
2	普通鋼冷延広幅帯鋼（幅600mm以上でコイル状のもの）	−47.5%	−17.9%	20	119	2361	2684	8
2	普通鋼冷けん鋼管（再生引抜鋼管を含む）	−30.1%	−22.1%	44	14	553	651	52

		市場成長率		SFI		HHI		企業数
ｸﾞﾙｰﾌﾟ	品目名称	前期	後期	前期	後期	前期	後期	平均
2	特殊鋼粗鋼	−37.0%	−24.3%	72	123	2837	4122	9
2	特殊鋼半製品	−55.9%	7.0%	71	74	1936	3597	13
2	特殊鋼熱間鋼管（ベンディングロール成型によるものを除く）	−56.8%	14.3%	21	89	2037	2011	14
2	ミスロール（普通鋼、特殊鋼）	−52.0%	−20.2%	39	44	2965	3527	15
2	電気炉銑、小形高炉銑、再生炉銑（原鉄、純鉄、ベースメタルを 含む）	−68.6%	−21.5%	117	507	8052	6096	3
2	フェロマンガン	−46.7%	−12.3%	25	66	2125	3468	7
2	ブリキ	−48.7%	−17.1%	55	75	2806	2795	5
2	鉄スクラップ加工処理品	−32.8%	16.1%	6	9	84	101	675
2	電気銅、さお銅（ビレット、ケークを含む）	−37.2%	−0.2%	42	72	2885	3425	6
2	アルミナ（酸化アルミニウム）	−57.9%	15.6%	711	28	3877	3511	3
2	鉛地金	−51.9%	5.4%	28	33	1759	2629	8
2	銀地金	−67.5%	17.6%	110	35	1745	2023	9
2	鉛再生地金（活字合金を含む）	−58.3%	20.4%	51	26	720	1015	45
2	銀再生地金、銀合金	−56.7%	−20.4%	79	228	919	1051	54
2	黄銅伸銅品	−43.5%	−30.0%	27	14	504	522	130
2	銅荒引線	−36.8%	−21.6%	67	105	3376	3040	9
2	巻線	−30.1%	−29.6%	9	70	759	905	69
2	亜鉛ダイカスト	−39.9%	−24.4%	12	11	222	183	294
2	金切のこ刃	−32.2%	−8.7%	63	84	3147	2382	20
2	暖房用・調理用器具	−35.2%	−19.4%	61	23	775	1159	91
2	コンテナ	−70.4%	−27.8%	178	131	1749	1176	84
2	数値制御旋盤	−34.3%	15.4%	37	54	753	802	65
2	ボール盤	−48.3%	−6.3%	64	117	777	2651	42
2	中ぐり盤	−78.0%	−2.8%	376	118	2368	3032	13
2	研削盤	−49.7%	28.6%	27	36	491	539	95
2	液圧プレス	−34.3%	−20.0%	94	55	675	1020	57
2	機械プレス	−38.5%	3.5%	85	85	878	813	107
2	鍛造機械	−37.8%	25.5%	26	102	1196	1197	35
2	金属圧延用ロール	−32.2%	−10.7%	24	47	1168	1146	89
2	精紡機	−39.9%	6.1%	108	303	4242	4597	5
2	製版機械（活字鋳造機を含む）	−49.4%	−26.3%	70	63	3615	4391	37
2	鋳造装置の部分品・取付具・附属品	−37.9%	−12.3%	35	79	1043	1230	177
2	遠心圧縮機、軸流圧縮機	−32.3%	10.7%	507	536	2202	2771	6
2	混合機、かくはん機、ねつ和機、溶解機、造粒機、乳化機、粉砕機	−31.7%	4.1%	65	34	342	374	148
2	直流電動機（70W以上）	−57.3%	−27.7%	44	161	895	992	35
2	電気炉	−32.9%	10.8%	67	74	409	689	139
2	数値制御装置	−31.1%	−13.6%	44	25	2865	3772	60
2	磁気テープ（生のもの）	−35.8%	−7.3%	15	36	981	889	63
2	ラジオ受信機	−81.4%	−29.1%	234	261	1020	1981	24
2	機関車	−31.1%	−25.6%	846	1435	5839	4570	3
2	鋼製貨物船の新造（20総t以上の動力船）	−31.7%	−28.2%	122	77	502	492	76
2	鋼製外国船舶の改造・修理	−57.3%	−19.3%	168	184	916	1118	46
2	工業用長さ計	−45.9%	15.9%	25	13	2342	3384	126
2	ジャイロ計器、磁器コンパス	−44.1%	15.4%	87	100	2935	3123	12
2	顕微鏡・望遠鏡等の部分品・取付具・附属品	−30.0%	−18.4%	24	86	349	605	144
2	映画用機械の部分品・取付具・附属品	−42.4%	−14.7%	228	98	1262	1146	39
2	万年筆	−52.1%	−4.2%	182	216	4027	4945	8
2	シャープペンシル	−32.6%	−14.3%	54	42	1204	1998	32
3	絹紡織物	−48.9%	78.5%	44	102	524	1765	47
3	ナイロン長繊維織物	−76.9%	61.1%	61	68	831	907	45
3	ボビンレース生地	−69.8%	161.1%	69	114	2203	3511	22
3	紙製衛生材料	−49.3%	78.9%	171	75	1765	2081	15
3	水素ガス	−42.6%	34.9%	155	28	705	675	32
3	エチレン	−46.5%	60.4%	31	29	1078	1198	13
3	プロピレン	−43.5%	40.1%	49	42	1077	1097	13
3	純トルオール（石油系）	−44.0%	56.5%	116	129	1234	1347	17
3	純キシロール（石油系）	−31.8%	48.4%	152	50	1978	1275	17
3	合成ブタノール	−30.4%	32.7%	172	105	3024	3959	4
3	プロピレングリコール	−32.7%	87.5%	279	258	5513	3626	5
3	ブタジエン	−82.8%	406.6%	1222	795	3598	3513	5
3	ナフサ	−60.8%	83.3%	102	188	1369	1515	23
3	ジェット燃料油	−44.0%	102.0%	75	35	1473	1408	16

		市場成長率		SFI		HHI		企業数
ｸﾞﾙｰﾌﾟ	品目名称	前期	後期	前期	後期	前期	後期	平均
3	灯油	−58.4%	34.3%	11	28	896	997	25
3	A重油	−48.7%	54.4%	13	45	928	1153	30
3	アスファルト	−72.5%	55.0%	36	65	846	1404	20
3	液化石油ガス	−75.1%	120.4%	68	101	1016	1188	27
3	燃料ガス（高炉ガス、コークス炉ガスを含む）	−78.0%	44.9%	100	97	2360	2336	9
3	ピッチコークス	−41.8%	40.3%	76	454	6792	5412	3
3	Vベルト（ファンベルトを含む）	−44.2%	56.5%	223	244	5319	5178	4
3	馬革	−49.9%	74.1%	113	133	1163	1294	16
3	理化学用・工業用陶磁器	−38.3%	568.4%	70	416	2214	5472	25
3	普通鋼鍛鋼（打ち放しのもの）	−61.8%	50.6%	172	56	2018	2604	9
3	アルミニウム再生地金、アルミニウム合金	−33.9%	38.9%	9	5	357	394	211
3	銅再生地金、銅合金	−47.7%	33.8%	19	39	1017	1529	45
3	マシニングセンタ	−35.0%	45.0%	18	17	522	659	65
3	導入線	−35.2%	31.9%	32	73	938	1906	46
3	二輪自動車（側車付、モータスクータを含む）（125mlを超えるもの）	−35.6%	69.4%	59	162	2719	2675	4
3	二輪自動車・モータスクータ用内燃機関	−89.1%	149.9%	1024	861	7250	5710	4
3	鋼製客船の新造（20総t以上の動力船）	−40.5%	152.2%	1062	215	2739	4562	8
3	軍艦の新造	−39.7%	155.4%	1556	1117	3536	3362	5
3	精密測定器	−51.3%	72.2%	131	40	738	734	221
3	理化学機械器具の部分品・取付具・附属品	−40.9%	45.7%	54	81	453	543	134
3	カメラ用交換レンズ	−51.8%	37.4%	101	155	1089	1472	55
3	プリズム	−48.9%	214.1%	139	50	1278	828	46
4	肉缶詰・瓶詰・つぼ詰	−8.7%	−50.7%	56	73	1385	1644	25
4	素干・塩干・煮干・塩蔵魚介類	−3.3%	−40.3%	3	2	27	28	3274
4	冷凍水産物	0.6%	−43.4%	6	4	57	55	873
4	水産食料品副産物	26.9%	−65.0%	126	71	480	679	358
4	野菜缶詰（瓶詰・つぼ詰を含む）	5.6%	−40.6%	11	5	148	171	442
4	果実缶詰（瓶詰・つぼ詰を含む）	−18.7%	−45.9%	9	10	137	223	157
4	精製糖（角砂糖、氷砂糖、液糖、ざらめ糖を含む）	−29.9%	−45.8%	3	16	854	891	67
4	混合植物油脂	−26.0%	−35.1%	22	64	2681	2201	25
4	清酒（濁酒を含む）	−1.3%	−34.8%	1	1	155	174	1788
4	合成繊維縫糸	0.4%	−48.9%	25	32	926	1369	47
4	ビスコース・スフ先染織物	−15.5%	−97.8%	30	331	3097	3104	54
4	クレープ類（絹）（広幅のもの）	−11.3%	−84.6%	140	190	830	1051	24
4	キュプラ長繊維織物	−4.7%	−51.1%	107	163	1372	2610	31
4	そ毛洋服地	−11.1%	−59.3%	9	10	348	486	169
4	モケット	7.8%	−78.7%	33	70	1135	2063	41
4	綿丸編ニット生地	−24.5%	−60.6%	6	10	154	187	179
4	合成繊維丸編ニット生地	−20.5%	−50.6%	21	9	322	455	133
4	綿・スフ・麻織物精練・漂白・染色	3.0%	−46.1%	42	78	1327	2082	43
4	絹織物手加工染色・整理	−17.8%	−54.6%	11	9	444	623	117
4	合成繊維糸染	−29.7%	−51.0%	96	76	1266	1522	23
4	合成繊維ロープ・コード・トワイン	−22.3%	−34.0%	7	19	251	365	143
4	刺しゅうレース生地	−5.6%	−62.6%	17	34	341	376	106
4	編レース生地	11.7%	−40.5%	6	10	198	339	160
4	組ひも	−17.6%	−32.0%	6	4	94	133	237
4	細幅織物	−0.3%	−35.9%	7	4	96	106	477
4	タフテッドカーペット	−23.4%	−38.4%	17	7	466	576	67
4	上塗りした織物、防水した織物	12.1%	−31.5%	21	16	624	643	64
4	紋紙（ジャカードカード）	22.8%	−65.1%	3	5	78	136	208
4	成人男子・少年用背広服上衣（ブレザー、ジャンパー等を含む）	−2.9%	−63.0%	9	13	176	351	292
4	成人男子・少年用背広服ズボン（替えズボンを含む）	−28.3%	−66.8%	45	43	182	327	210
4	成人男子・少年用オーバーコート類	2.4%	−70.7%	46	125	893	1885	60
4	成人男子・少年用制服上衣・オーバーコート類	−14.8%	−45.8%	89	60	424	488	73
4	成人女子・少女用ワンピース・スーツ上衣（ブレザー、ジャンパー等を含む）	−15.4%	−60.7%	7	200	86	409	636
4	成人女子・少女用スカート・スラックス	−4.9%	−52.8%	7	7	270	196	513
4	成人女子・少女用ブラウス	8.9%	−55.5%	8	16	114	231	367
4	成人女子・少女用オーバー・レインコート	−2.1%	−56.4%	24	56	248	344	159
4	ワイシャツ	29.1%	−75.6%	17	49	428	451	142
4	事務用・作業用・衛生用衣服	−8.4%	−41.9%	10	5	129	183	736
4	スポーツ用衣服	2.8%	−61.1%	31	54	394	792	214
4	成人男子・少年用学校服ズボン	−6.8%	−63.6%	23	319	1389	2098	78

		市場成長率		SFI		HHI		企業数
ｸﾞﾙｰﾌﾟ	品目名称	前期	後期	前期	後期	前期	後期	平均
4	成人女子・少女用学校服上衣・オーバーコート類	9.1%	−38.6%	59	31	443	656	146
4	ニット製スポーツシャツ・Tシャツ	−1.3%	−62.2%	3	6	92	99	547
4	ニット製成人女子・少女用セーター・カーディガン・ベスト類	0.7%	−65.5%	1	2	28	32	1013
4	ニット製スポーツ上衣	20.9%	−59.6%	47	17	502	558	187
4	ニット製スポーツ用ズボン・スカート・スラックス	−24.4%	−38.9%	47	21	361	455	143
4	ニット製肌着	−11.4%	−52.2%	18	48	1278	1159	182
4	ニット製ブリーフ・ショーツ類	−8.2%	−62.2%	16	45	659	801	212
4	ニット製スリップ・ペチコート類	−17.6%	−50.1%	43	85	602	844	56
4	ニット製寝着類	25.9%	−65.3%	76	54	481	1155	67
4	既製和服・帯（縫製加工されたもの）	4.5%	−42.9%	6	7	143	179	231
4	足袋類（類似品、半製品を含む）	−12.3%	−53.7%	7	11	982	1271	48
4	ネクタイ（ニット製を含む）	−27.9%	−63.7%	31	53	700	949	45
4	ハンカチーフ	−26.2%	−53.2%	34	49	496	816	58
4	ソックス	3.2%	−47.1%	2	3	69	106	450
4	タイツ	−13.1%	−66.2%	40	36	651	707	45
4	衣服用ニット縫手袋	0.1%	−56.0%	39	103	1070	1757	29
4	作業用ニット手袋	7.3%	−62.3%	9	41	304	549	223
4	織物製帽子	15.0%	−40.0%	8	12	132	163	213
4	なめし革製衣服（合成皮革製を含む）	8.1%	−89.0%	38	174	817	1473	45
4	ふとん（羊毛ふとんを含む）	−17.5%	−57.8%	7	13	104	133	589
4	羽毛ふとん	1.8%	−42.2%	125	49	552	687	132
4	合成繊維帆布製品	29.7%	−35.7%	22	7	143	185	852
4	刺しゅう製品	−14.4%	−56.0%	27	32	224	328	159
4	タオル（ハンカチーフを除く）	20.3%	−54.4%	3	4	106	161	419
4	板類	−14.4%	−59.4%	1	2	8	16	7146
4	ひき割類	−1.2%	−58.6%	1	1	8	21	6897
4	ひき角類	2.4%	−55.6%	1	2	6	67	6939
4	箱材、荷造用仕組材	−2.0%	−41.5%	3	6	44	67	1156
4	木材の素材（製材工場からのもの）	−18.9%	−65.6%	8	13	184	122	754
4	単板（ベニヤ板）	17.2%	−45.8%	6	8	194	268	227
4	経木、同製品	−18.9%	−44.7%	10	10	333	398	85
4	普通合板	−8.0%	−57.2%	4	11	155	231	390
4	特殊合板	25.6%	−31.6%	4	4	73	75	802
4	竹・とう・きりゅう等容器	−15.3%	−65.1%	42	41	350	583	96
4	折箱	−14.9%	−46.9%	5	23	135	231	257
4	木箱	−4.3%	−52.3%	3	4	39	53	1329
4	取枠、巻枠（木製ドラムを含む）	11.8%	−49.6%	18	12	402	432	88
4	たる	−11.1%	−51.7%	14	25	312	539	64
4	柄、引手、つまみ、握り、台木、これらの類似品	−15.5%	−58.1%	4	19	74	167	363
4	機械器具木部	27.0%	−80.9%	32	47	544	491	96
4	木製机・テーブル・いす	9.1%	−54.3%	2	8	122	115	1943
4	たんす	−10.8%	−71.5%	2	4	40	66	1485
4	木製ベッド	15.3%	−38.8%	6	15	442	501	248
4	宗教用具	−4.7%	−49.0%	3	2	57	85	748
4	びょうぶ、衣こう、すだれ、ついたて（掛軸、掛地図を含む）等	−5.9%	−44.3%	19	47	285	445	246
4	鏡縁・額縁	29.5%	−53.1%	10	7	137	185	325
4	印刷用紙	22.2%	−31.5%	9	16	1286	1499	44
4	筆記・図画用紙	−25.4%	−74.2%	140	603	1923	2993	12
4	建材原紙	19.2%	−36.3%	46	102	1353	1947	17
4	紙製・織物製ブックバインディングクロス	3.5%	−52.1%	10	419	4438	6932	10
4	事務用書式類	29.8%	−50.2%	45	35	1123	687	140
4	ノート類	7.0%	−57.3%	27	57	1089	1317	40
4	祝儀用品	27.5%	−37.4%	12	11	233	303	133
4	写真用紙製品	20.6%	−55.6%	20	12	631	523	109
4	貼箱	5.3%	−53.3%	4	5	142	136	1276
4	硬質繊維板	−18.1%	−49.3%	26	83	1913	2353	10
4	硝酸アンモニウム	−18.6%	−50.2%	27	32	3787	4343	4
4	石灰窒素	−26.4%	−48.0%	2	60	4653	5538	4
4	ソーダ灰	−19.8%	−65.5%	8	258	3218	3828	5
4	塩素酸ナトリウム	−14.4%	−50.7%	32	205	2578	2868	6
4	溶解アセチレン	−27.2%	−45.3%	12	11	549	811	42
4	硫酸（100%換算）	−17.9%	−45.0%	10	29	586	637	45

		市場成長率		SFI		HHI		企業数
ｸﾞﾙｰﾌﾟ	品目名称	前期	後期	前期	後期	前期	後期	平均
4	硫酸アルミニウム	5.0%	−34.5%	27	22	779	768	26
4	りん酸ナトリウム	9.5%	−34.0%	25	27	1770	2074	12
4	テレフタル酸、ジメチルテレフタレート	12.7%	−37.1%	56	43	3639	4427	5
4	分散性染料	−6.0%	−77.5%	33	156	2084	2756	12
4	不飽和ポリエステル樹脂	3.5%	−36.2%	42	36	1401	1271	16
4	ポリスチレン	−17.4%	−52.5%	11	30	806	738	26
4	クロルフルオルメタン、クロルフルオルエタン（フロン）	−9.0%	−43.7%	55	72	2940	3190	13
4	フタル酸系可塑剤	−6.3%	−76.2%	102	125	1781	1929	12
4	ポリエステル長繊維糸	−8.9%	−38.4%	5	23	1790	2051	12
4	浴用石けん（薬用、液状を含む）	19.4%	−30.8%	18	33	752	915	116
4	陽イオン界面活性剤	4.2%	−37.8%	27	51	2137	2104	32
4	油性塗料	−28.0%	−55.2%	51	212	765	1766	70
4	ラッカー	−10.7%	−38.7%	25	29	1254	1987	76
4	靴クリーム	20.0%	−44.0%	11	39	4086	4608	13
4	動物用医薬品	−7.5%	−41.3%	30	19	642	577	88
4	香水、オーデコロン	26.7%	−52.0%	155	476	2040	2052	45
4	養毛料	−6.2%	−35.7%	156	204	1168	1803	66
4	写真用印画紙	−16.9%	−37.5%	22	30	3888	4723	5
4	感光紙（青写真感光紙、複写感光紙）	−6.1%	−61.4%	14	65	4001	3720	8
4	プラスチック積層品	−4.5%	−61.8%	14	57	1423	1965	23
4	プラスチック化粧板	−11.3%	−41.3%	136	45	2520	2721	10
4	二輪自動車用タイヤ	−22.8%	−31.9%	15	371	3191	4163	5
4	総ゴム靴	−27.4%	−58.6%	26	36	756	1113	26
4	工業用ゴム板	1.2%	−37.1%	11	16	744	929	98
4	衣料用・雑貨用ゴム引布	−26.8%	−89.9%	108	170	2527	3473	11
4	更生タイヤ	−3.5%	−34.0%	9	17	472	731	62
4	成牛甲革	−23.9%	−33.4%	6	21	235	455	201
4	中小牛甲革	1.8%	−53.7%	43	90	1393	1261	21
4	革製履物用材料、同附属品	−1.4%	−50.9%	15	23	171	255	178
4	紳士用革靴（23cm以上）	−12.5%	−63.2%	5	23	250	322	218
4	運動用革靴	−18.9%	−56.7%	24	36	784	1421	73
4	作業用革靴	18.3%	−55.5%	9	29	1364	1342	25
4	衣服用革手袋（合成皮革製を含む）	−26.9%	−53.1%	39	103	916	1429	30
4	作業用革手袋（合成皮革製を含む）	14.8%	−80.2%	51	120	940	1315	49
4	スポーツ用革手袋（合成皮革製を含む）	3.6%	−69.4%	39	53	626	858	57
4	革製ケース	20.5%	−75.6%	160	362	1276	1982	31
4	プラスチック製かばん	−10.6%	−80.9%	29	64	752	1644	101
4	袋物	20.5%	−57.5%	4	7	78	124	621
4	変り板ガラス	−17.4%	−61.0%	6	22	3570	3577	3
4	磨き板ガラス	−1.0%	−51.4%	4	23	3991	3693	4
4	鏡	−16.0%	−55.6%	52	44	506	607	94
4	電球類用ガラスバルブ（管、棒を含む）	5.4%	−35.9%	25	80	1876	2290	26
4	電子管用ガラスバルブ（管、棒を含む）	−4.8%	−46.2%	21	18	5037	5389	11
4	ガラス製飲料用容器	−0.1%	−33.2%	26	42	1638	1840	33
4	ガラス製食料用・調味料用容器	−5.5%	−34.2%	26	25	1947	2022	22
4	薬瓶	12.0%	−62.8%	73	200	1604	1599	42
4	ガラス製台所用品・食卓用品	−5.0%	−42.1%	13	19	811	1125	76
4	照明用・信号用ガラス製品	4.7%	−42.2%	20	91	478	981	61
4	ポルトランドセメント	−8.6%	−47.8%	4	63	1151	1442	22
4	生コンクリート	13.2%	−30.7%	0	0	6	7	3510
4	遠心力鉄筋コンクリート管（ヒューム管）	22.4%	−51.7%	6	13	268	310	148
4	遠心力鉄筋コンクリート柱（ポール）	10.3%	−38.0%	20	14	1201	1328	22
4	遠心力鉄筋コンクリートくい（パイル）	23.0%	−48.9%	9	21	345	349	87
4	空胴コンクリートブロック	13.0%	−37.0%	5	11	166	343	459
4	うわ薬かわら、塩焼かわら	−2.9%	−30.0%	5	22	177	417	154
4	陶磁器製和飲食器	10.4%	−47.3%	1	2	43	67	1582
4	陶磁器製洋飲食器	−25.2%	−54.6%	7	12	293	505	383
4	陶磁器製台所・調理用品	11.5%	−35.4%	12	17	385	432	129
4	がい子、がい管	−1.2%	−36.0%	8	24	3131	3565	85
4	モザイクタイル	0.5%	−30.1%	24	25	703	514	56
4	内装タイル	6.4%	−74.1%	10	36	3708	3858	34
4	キャスタブル耐火物	3.3%	−37.8%	70	40	908	837	42

		市場成長率		SFI		HHI		企業数
ｸﾞﾙｰﾌﾟ	品目名称	前期	後期	前期	後期	前期	後期	平均
4	七宝製品	−0.5%	−67.4%	38	39	664	823	34
4	ロックウール、同製品	20.1%	−30.1%	23	22	1828	1742	40
4	石綿ブレーキライニング	−19.8%	−71.6%	67	226	2248	2593	22
4	うわ薬	4.3%	−32.2%	20	7	843	473	104
4	冷間ロール成型形鋼	3.2%	−42.3%	19	36	827	1489	29
4	普通鋼鋼線	−21.3%	−41.3%	5	7	259	342	99
4	普通鋼めっき鋼管	−5.4%	−59.0%	15	340	1822	2182	11
4	特殊鋼冷延鋼板	−12.7%	−51.8%	92	106	1606	2845	18
4	フェロアロイ類似製品	8.9%	−31.2%	513	86	4301	4667	5
4	タングステン	−23.8%	−37.3%	26	67	3337	4342	4
4	鉛管、板	−11.9%	−48.4%	90	41	1273	1180	15
4	銅裸線	−15.2%	−34.6%	20	33	869	915	115
4	銅被覆線	−2.9%	−31.3%	6	12	314	394	225
4	アルミニウム線（アルミニウム荒引線を除く）	−18.9%	−56.6%	70	59	1205	1197	21
4	18ﾘｯﾄﾙ缶	11.7%	−30.6%	4	17	408	415	56
4	鋼板せん断用刃物（シャーブレード）	0.8%	−40.4%	45	75	669	727	53
4	ナイフ類	−2.4%	−46.2%	20	16	696	1021	71
4	つるはし、ハンマ、ショベル、スコップ、バール（園芸用を含む）	10.3%	−31.6%	23	45	1087	984	49
4	作業工具	−11.8%	−36.4%	4	4	241	289	289
4	農業用器具	4.7%	−46.0%	25	15	207	253	207
4	架線金物	10.6%	−38.5%	11	15	400	386	178
4	温風暖房機（熱交換式のもの）	8.2%	−84.3%	68	203	1074	1435	48
4	温水ボイラ	−3.9%	−46.5%	66	42	719	1142	94
4	放熱器・ユニットヒータ	25.3%	−39.1%	73	52	1579	1352	43
4	太陽熱利用機器	−25.3%	−41.7%	74	136	1174	1294	31
4	軽量鉄骨	28.9%	−49.3%	11	11	172	198	1412
4	アルミニウム製サッシ	22.4%	−32.4%	10	16	628	793	1354
4	メタルラス	−7.8%	−32.2%	22	29	856	1141	41
4	高圧容器（ボンベ）	−8.1%	−34.1%	41	16	688	749	88
4	アルミニウム製台所・食卓用品	−17.8%	−59.4%	17	25	302	397	122
4	王冠	9.0%	−41.6%	45	25	815	656	48
4	鉄丸くぎ	−29.7%	−60.7%	13	54	559	848	36
4	溶接棒	−10.4%	−44.4%	13	29	3402	3721	34
4	金庫	6.9%	−32.6%	26	48	2312	2560	36
4	かさね板ばね	−25.1%	−41.7%	103	21	1671	1584	20
4	煙管ボイラ	−8.9%	−74.3%	62	136	1266	1417	21
4	水管ボイラ	−22.3%	−45.9%	355	598	2992	4049	26
4	田植機	29.4%	−35.9%	43	27	2388	2630	7
4	コンバイン	1.1%	−38.7%	29	8	2958	3071	7
4	飼料機器	−13.1%	−45.3%	116	83	622	893	77
4	トラクタの部分品・取付具・附属品	−24.8%	−42.9%	32	83	686	734	253
4	整地機械	−20.5%	−30.9%	48	51	1403	1709	25
4	破砕機	22.9%	−38.3%	83	45	891	856	58
4	電動工具	27.5%	−36.8%	19	45	2709	2892	111
4	染色機、なっ染機	9.8%	−39.1%	55	57	1689	1682	38
4	仕上機械	−27.8%	−38.5%	54	125	746	882	50
4	化学繊維機械・紡績機械の部分品・取付具・附属品	−27.1%	−49.5%	11	43	254	293	434
4	染色整理仕上機械の部分品・取付具・附属品	−19.9%	−46.0%	14	43	189	347	169
4	縫製機械の部分品・取付具・附属品	−11.6%	−33.6%	11	29	165	276	390
4	穀物処理機械、同装置	26.7%	−44.1%	68	42	1739	1280	95
4	製パン・製菓機械、同装置	29.5%	−30.9%	25	24	603	562	121
4	肉製品・水産製品製造機械	−14.9%	−32.3%	26	17	301	348	114
4	製材・木材加工・合板機械の部分品・取付具・附属品	21.1%	−54.1%	23	30	100	145	354
4	抄紙機	21.5%	−52.2%	700	609	2880	3507	11
4	紙工機械	14.1%	−36.8%	30	47	494	698	100
4	巻上機	−9.0%	−39.4%	22	17	487	563	103
4	コンベヤ	14.9%	−38.7%	13	19	193	216	708
4	荷役運搬設備の部分品・取付具・附属品	18.7%	−33.1%	9	15	52	109	1530
4	分離機器	17.3%	−36.9%	312	625	1141	1715	62
4	熱交換器（分縮機、熱換器を含む）	−6.8%	−32.8%	50	37	385	403	158
4	反応機、発生炉、乾留炉、電解槽	14.1%	−43.9%	142	177	1141	1071	91
4	化学装置用タンク	19.8%	−38.1%	98	619	420	899	194

		市場成長率		SFI		HHI		企業数
ｸﾞﾙｰﾌﾟ	品目名称	前期	後期	前期	後期	前期	後期	平均
4	冷却塔	−4.2%	−52.7%	149	45	1523	2174	19
4	業務用洗濯装置	22.7%	−38.4%	26	24	540	481	66
4	切断、屈曲、ねじ切等パイプ加工品	−5.0%	−37.7%	14	13	167	213	391
4	三相誘導電動機（70W以上）	−2.9%	−38.1%	116	58	1164	1056	57
4	標準変圧器	17.7%	−42.2%	50	14	664	603	91
4	非標準変圧器	10.0%	−36.1%	40	36	842	724	95
4	変圧器類の部分品・取付具・附属品	8.3%	−50.3%	8	15	141	199	532
4	継電器	22.9%	−42.0%	20	83	656	866	93
4	接続器	8.7%	−39.4%	35	24	635	1877	253
4	シリコン・セレン整流器	2.0%	−44.9%	42	103	1389	2021	26
4	電気冷蔵庫	10.1%	−43.8%	14	33	1846	1662	19
4	電気アイロン	7.2%	−68.4%	14	367	4597	4583	12
4	工業計器	−7.3%	−33.1%	32	76	757	623	182
4	電話機	22.4%	−78.8%	105	172	668	918	44
4	電話交換装置の附属装置	−8.0%	−74.7%	165	109	908	946	33
4	ファクシミリ	8.5%	−70.6%	81	85	825	1109	33
4	ステレオセット	−19.9%	−35.2%	111	223	1478	3956	17
4	ハイファイ用・自動車用スピーカシステム	−19.6%	−68.6%	81	371	1175	3140	20
4	端末装置	18.0%	−30.1%	187	216	1994	982	72
4	ブラウン管	7.6%	−80.4%	26	76	1695	1847	12
4	抵抗器	−17.0%	−37.2%	13	58	597	631	184
4	二輪自動車（原動機付自転車、モータスクータを含む）（125ml以下のもの）	−6.0%	−57.0%	63	67	4896	3463	4
4	鋼製貨客船の新造（20総t以上の動力船）	−21.5%	−43.6%	1023	888	2785	4059	12
4	鋼製国内船舶の改造・修理	−5.6%	−41.9%	15	40	172	196	435
4	舶用ディーゼル機関	−16.6%	−39.6%	53	38	814	1037	29
4	子供車（車輪の径の呼び12～24インチの もの）	−23.5%	−38.0%	253	807	1216	2403	19
4	自転車用フレーム（完成品に限る）	−19.7%	−82.8%	34	190	1379	1458	24
4	自転車の部分品・取付具・附属品	10.5%	−55.9%	27	35	1487	3629	309
4	一般長さ計	−6.7%	−49.2%	27	31	1211	1354	45
4	圧力計、流量計、液面計等の部分品・取付具・附属品	−8.5%	−35.8%	30	78	479	746	161
4	映画用機械器具	−3.8%	−76.9%	39	172	1107	1643	32
4	眼鏡枠	15.6%	−43.9%	15	16	213	307	210
4	ウオッチ（ムーブメントを含む）	−25.3%	−42.2%	57	33	2394	2857	17
4	クロック（ムーブメントを含む）	−28.8%	−80.3%	25	116	1352	1269	39
4	時計の部分品	−10.5%	−61.7%	26	21	370	473	241
4	ギター（電気ギターを含む）	−24.6%	−39.5%	33	46	1300	1150	29
4	楽器の部分品・取付具・附属品	−28.5%	−55.8%	87	40	1779	2493	230
4	空気入りビニルがん具	23.1%	−82.2%	63	45	1247	1445	33
4	節句人形、ひな人形	−26.6%	−48.8%	7	8	147	197	198
4	人形の部分品・附属品	−19.0%	−40.0%	14	10	318	311	147
4	児童乗物（部分品、附属品を含む）	−20.7%	−48.1%	122	50	844	1851	83
4	バスケットボール・バレーボール・ラグビー・サッカー等用具	−3.0%	−62.1%	39	87	2677	2659	62
4	トラック・フィールド用具、体操用具	13.6%	−33.4%	34	89	2714	2577	90
4	釣道具、同附属品	17.0%	−40.1%	14	26	825	1171	318
4	万年筆・シャープペンシル部分品、ペン先、ペン軸	−15.4%	−50.3%	98	74	386	432	76
4	マーキングペン	18.6%	−32.2%	14	33	776	917	42
4	鉛筆	−15.0%	−42.5%	19	67	1439	1919	24
4	印章、印肉、スタンプ、スタンプ台	6.8%	−31.4%	7	33	650	538	301
4	事務用のり、工業用のり	−17.9%	−48.1%	22	45	617	1036	60
4	装身具・装飾品（貴金属・宝石製を除く）の部分品・附属品	2.2%	−34.4%	15	21	417	576	157
4	造花、装飾用羽毛	−17.3%	−39.1%	127	60	219	401	175
4	プラスチック製ボタン	20.3%	−63.4%	16	10	656	783	107
4	かつら、かもじ（人形の髪を含む）	1.7%	−59.6%	32	81	2585	1943	30
4	漆器製台所・食卓用品	−8.7%	−57.7%	9	8	107	181	382
4	麦わら・パナマ類帽子、帽体（紙いと帽子、経木帽子を含む）	13.8%	−73.1%	12	45	278	483	78
4	畳、畳床	9.3%	−38.7%	1	1	17	20	1460
4	畳表	0.8%	−45.1%	15	16	253	189	184
4	婦人用洋傘（パラソル、男女児兼用傘を含む）	−16.1%	−83.9%	42	92	418	1222	51
4	繊維壁材（化粧用吹付材を含む）	25.2%	−45.7%	27	23	999	2271	59
5	部分肉、冷凍肉（ブロイラーを除く）	1.6%	−3.0%	10	4	181	99	698
5	肉製品	8.9%	−10.0%	8	6	486	460	541
5	練乳、粉乳、脱脂粉乳	−2.7%	−13.9%	11	37	1680	1628	55

		市場成長率		SFI		HHI		企業数
ｸﾞﾙｰﾌﾟ	品目名称	前期	後期	前期	後期	前期	後期	平均
5	バター	−12.8%	−10.8%	38	15	1966	2081	52
5	処理牛乳	7.2%	−25.2%	2	9	426	487	442
5	ブロイラー加工品（解体品を含む）	−12.8%	−11.3%	3	5	105	161	593
5	まぐろ缶詰	5.7%	−26.3%	90	18	1236	2156	23
5	寒天	−7.9%	16.6%	18	18	1253	3326	68
5	海藻加工品	16.7%	−12.4%	3	4	116	125	1129
5	魚肉ハム・ソーセージ（鯨肉製を含む）	−21.7%	−27.3%	15	22	1128	1390	30
5	水産練製品	9.0%	−24.8%	2	3	85	140	1534
5	味そ（粉味そを含む）	11.9%	−13.4%	1	4	260	433	1057
5	しょう油、食用アミノ酸（粉しょう油、固形しょう油を含む）	4.3%	−11.4%	2	52	579	863	1094
5	ウスター・中濃・濃厚ソース	29.9%	16.5%	76	22	1352	1317	146
5	食酢	6.1%	−0.1%	15	39	2194	1331	318
5	精製糖（角砂糖、氷砂糖、液糖、ざらめ糖を含む）※砂糖精製業を除く	−19.3%	−9.2%	13	34	3137	3212	15
5	ぶどう糖、グルコース	−22.1%	−22.1%	95	19	1638	1336	15
5	水あめ、麦芽糖	16.6%	−9.0%	23	27	980	1119	40
5	異性化糖	−26.5%	−24.6%	19	14	1000	1020	20
5	精麦	−12.0%	−22.6%	17	24	540	750	71
5	小麦粉	−27.3%	−17.3%	3	4	1301	1601	131
5	食パン	0.8%	−9.7%	6	9	689	1117	1656
5	洋生菓子	26.2%	−6.5%	4	3	135	180	2570
5	ビスケット類、干菓子	7.5%	−0.3%	6	5	177	176	1240
5	米菓	−1.3%	−12.8%	6	2	393	511	907
5	あめ菓子	16.3%	−6.7%	8	10	335	519	442
5	チョコレート類	4.3%	11.3%	7	6	687	710	178
5	ショートニング油	−9.2%	3.9%	47	13	1461	1384	15
5	マーガリン	−3.7%	−11.6%	23	24	804	881	25
5	でんぷん	−27.5%	−9.4%	12	9	551	839	118
5	即席めん類	22.2%	1.0%	9	9	486	761	128
5	あん類	19.7%	−15.1%	4	8	109	177	527
5	イースト	18.0%	−10.8%	43	19	2189	2087	9
5	果実酒	24.7%	−3.7%	16	26	1256	1104	131
5	味りん（本直しを含む）	14.1%	−13.1%	21	22	1916	2033	77
5	緑茶（仕上茶）	20.7%	6.2%	4	6	122	154	788
5	コーヒー	−23.0%	−12.1%	25	19	1055	927	130
5	人造氷	0.0%	−25.2%	11	4	166	271	356
5	葉たばこ（処理したものに限る）	−5.9%	−12.4%	83	24	5639	9493	3
5	有機質肥料	14.7%	3.8%	8	5	142	77	454
5	かさ高加工糸	−27.5%	−16.6%	102	47	989	1266	35
5	繊維雑品染色・整理（起毛を含む）	13.9%	24.6%	53	371	607	2139	81
5	医療用ガーゼ・包帯	25.0%	3.7%	31	30	708	1224	77
5	脱脂綿	26.8%	−12.8%	51	51	670	916	39
5	成人男子・少年用学校服上衣・オーバーコート類	−7.0%	8.8%	90	64	1081	1876	103
5	成人女子・少女用学校服スカート・スラックス	−4.1%	−25.9%	106	28	516	784	124
5	補整着	26.2%	−26.8%	18	13	294	413	150
5	パーティクルボード	20.1%	−24.4%	16	29	851	887	28
5	靴型、靴芯	−19.9%	−16.6%	10	34	420	511	45
5	ベッド用マットレス、組スプリング	12.1%	−12.9%	53	21	1228	1608	53
5	新聞巻取紙	7.1%	−9.0%	1	32	1919	1838	11
5	包装紙	−20.9%	−20.9%	8	20	969	1072	57
5	衛生用紙	28.5%	−18.2%	16	21	581	555	160
5	障子紙、書道用紙	2.8%	−24.1%	19	7	256	276	69
5	外装用ライナ（段ボール原紙）	1.1%	−11.1%	14	28	748	950	29
5	中しん原紙（段ボール原紙）	1.5%	−2.7%	16	55	771	973	28
5	マニラボール	−7.3%	−14.5%	9	7	1326	1536	12
5	白ボール	−2.0%	−20.9%	9	49	656	944	43
5	手すき和紙	−1.8%	−12.9%	23	7	245	330	130
5	絶縁紙、絶縁テープ	4.3%	−15.5%	117	105	1794	1825	16
5	アスファルト塗工紙	−16.8%	−15.6%	58	217	2392	2735	13
5	段ボール（シート）	−6.4%	−26.7%	3	8	239	277	278
5	重包装紙袋	−16.9%	−27.9%	2	5	284	342	180
5	角底紙袋	5.6%	−26.0%	5	3	458	540	188
5	段ボール箱	8.6%	−20.1%	1	2	100	126	3066

		市場成長率		SFI		HHI		企業数
ｸﾞﾙｰﾌﾟ	品目名称	前期	後期	前期	後期	前期	後期	平均
5	紙管	9.6%	−13.3%	29	5	221	202	219
5	とっ版印刷物（活版印刷物）	−25.6%	−22.4%	18	15	250	462	5642
5	鉛版	1.4%	−14.6%	17	7	224	336	153
5	合成・回収硫酸アンモニウム	−23.2%	−0.3%	61	18	2779	3305	7
5	硝酸（98％換算）	5.8%	2.2%	11	31	2016	2597	10
5	配合肥料	−3.6%	2.8%	8	6	385	492	94
5	か性ソーダ（液体97％換算・固形有姿）	−2.4%	−24.8%	11	16	764	1022	31
5	塩酸（35％換算）	−1.4%	−10.7%	23	96	852	811	36
5	次亜塩素酸ナトリウム	14.9%	−9.1%	11	8	757	777	30
5	酸化チタン	−7.8%	−5.0%	11	14	2756	2895	11
5	酸化第二鉄（べんがら）	10.0%	−7.0%	71	63	2921	3258	19
5	酸素ガス（液化酸素を含む）	−14.1%	1.7%	12	22	578	694	100
5	炭酸ガス	−7.2%	28.3%	43	150	856	803	56
5	窒素	21.2%	−5.0%	8	17	296	294	94
5	塩	17.4%	−19.3%	2	8	1216	1150	17
5	カリウム塩類	−21.3%	−10.3%	41	101	1656	2011	32
5	過酸化水素	4.1%	−11.3%	20	36	3205	2737	8
5	けい酸ナトリウム	−1.3%	−29.5%	23	21	720	928	29
5	活性炭	10.2%	8.9%	33	19	1149	1107	26
5	純ベンゾール（石油系）	2.2%	21.9%	147	74	1266	1031	16
5	合成オクタノール	−14.8%	5.7%	68	97	3698	4326	4
5	エチレングリコール	28.3%	−6.2%	179	65	2959	3448	6
5	ポリプロピレングリコール	−5.0%	−4.5%	48	22	1371	1740	11
5	トリクロルエチレン	−9.5%	−7.7%	20	44	3332	3347	8
5	アクリロニトリル	−27.7%	−16.0%	13	41	2758	3456	6
5	酢酸ビニルモノマー	0.0%	−4.2%	93	127	2875	2710	5
5	スチレンモノマー	11.1%	23.5%	96	48	2196	1839	7
5	レーキ	28.2%	−15.7%	17	15	3289	4512	8
5	フェノール樹脂	15.6%	−19.6%	28	33	948	880	27
5	メラミン樹脂	−9.6%	−24.1%	19	20	1370	1111	16
5	アルキド樹脂	−22.8%	−2.9%	24	29	3310	2679	9
5	ポリエチレン	4.1%	−27.2%	16	18	985	973	18
5	ポリプロピレン	−2.0%	−6.3%	15	48	1152	1254	19
5	塩化ビニル樹脂	−1.8%	−27.7%	13	15	970	1493	25
5	ポリビニルアルコール	−0.4%	−6.2%	10	15	2582	2921	5
5	合成ゴム（合成ラテックスを含む）	−2.8%	2.7%	11	16	1498	1635	29
5	キュプラ、アセテート長繊維糸・短繊維	9.8%	−26.0%	30	35	3247	3054	5
5	ビニロン長繊維糸・短繊維	5.5%	−2.0%	3	5	7119	7112	3
5	ポリプロピレン長繊維糸・短繊維	20.6%	−16.5%	27	52	1479	1761	21
5	精製脂肪酸	−11.0%	−13.9%	60	48	1239	1172	22
5	精製グリセリン	−13.3%	9.6%	181	43	1978	2063	9
5	陰イオン界面活性剤	−17.1%	0.5%	40	18	661	650	68
5	非イオン界面活性剤	20.4%	15.4%	9	14	470	659	54
5	電気絶縁塗料	28.3%	25.7%	21	62	786	992	28
5	合成樹脂塗料	15.8%	−11.7%	4	11	618	530	299
5	シンナー	−17.2%	−2.5%	26	33	392	530	163
5	ワックス	17.7%	−20.9%	30	69	1246	1057	63
5	ワクチン、血清、保存血液	21.4%	21.6%	56	10	2645	3413	26
5	おしろい	−29.3%	16.7%	850	565	1622	1438	49
5	クリーム（化粧品）	10.2%	−19.9%	125	58	848	520	185
5	歯磨	19.7%	−5.6%	36	20	4146	2863	21
5	産業用火薬・爆薬	1.1%	−8.4%	25	92	1633	1838	15
5	殺虫剤	−8.4%	−17.6%	27	25	666	706	62
5	殺菌剤	−14.0%	−12.5%	29	29	726	743	42
5	合成香料	11.7%	2.9%	38	12	2928	2184	29
5	ゼラチン、にかわ	11.9%	−3.5%	12	8	1560	1867	28
5	セルロース系接着剤、プラスチック系接着剤	27.4%	−1.6%	7	13	273	337	149
5	木材化学製品	23.4%	23.3%	40	77	4679	4425	18
5	試薬（診断用試薬を除く）	10.9%	8.0%	29	10	940	887	61
5	ガソリン	4.4%	26.3%	7	26	982	1097	24
5	潤滑油（購入した鉱・動・植物油によるもの）	−21.0%	17.9%	10	14	315	357	119
5	グリース（購入した鉱・動・植物油によるもの）	−14.1%	12.7%	41	32	1198	1869	27

		市場成長率		SFI		HHI		企業数
ｸﾞﾙｰﾌﾟ	品目名称	前期	後期	前期	後期	前期	後期	平均
5	アスファルト舗装混合材、タール舗装混合材（アスファルトブロック、タールブロックを含む）	24.8%	−9.9%	1	2	328	417	475
5	プラスチック平板（厚さ0．5mm以上で硬質のもの）	−12.7%	−8.4%	14	27	1168	883	63
5	プラスチック波板（厚さ0．5mm以上で硬質のもの）	5.9%	−24.3%	17	17	1706	1693	13
5	プラスチックホース	13.9%	−6.4%	16	14	419	454	80
5	軟質プラスチックフィルム	27.0%	9.2%	3	4	182	163	576
5	硬質プラスチックフィルム（厚さ0．5mm未満で硬質のもの）	−5.0%	−5.4%	23	21	773	810	67
5	合成皮革	−18.2%	−28.0%	15	15	757	1102	39
5	電気機械器具用プラスチック製品	24.9%	−26.3%	3	4	46	97	2324
5	軟質プラスチック発泡製品（半硬質性を含む）	19.4%	−19.5%	9	7	197	168	536
5	発泡・強化プラスチック製品の加工品（切断、接合、塗装、蒸着めっき、バフ加工等）	−6.4%	−16.7%	5	7	116	130	476
5	プラスチック成形材料	15.7%	−16.6%	6	22	245	236	494
5	再生プラスチック成形材料	−27.0%	0.1%	20	20	203	221	369
5	日用雑貨・台所用品・食卓用品・浴室用品	22.3%	−26.0%	6	5	67	124	1629
5	トラック・バス用タイヤ	−22.6%	23.7%	8	16	3567	4329	6
5	小型トラック用タイヤ	−13.3%	−25.3%	5	14	3555	3603	6
5	乗用車用タイヤ	19.2%	14.8%	4	9	2664	2639	7
5	特殊車両用・航空機用タイヤ	−13.1%	6.6%	11	8	3799	5038	14
5	ゴムホース	28.5%	−16.1%	19	6	943	979	91
5	ゴムロール	23.2%	6.7%	21	11	483	510	207
5	ゴム製パッキン類	27.5%	−12.8%	4	4	127	157	1263
5	ゴム管	25.8%	14.4%	116	186	1213	1237	48
5	ゴムライニング	−19.7%	5.6%	25	33	587	571	95
5	防げん材	5.2%	−29.3%	121	113	2023	1943	22
5	工業用スポンジ製品	4.8%	−8.9%	58	38	1380	1064	151
5	ゴム引布製品	−29.8%	−18.3%	77	41	1260	2082	21
5	ゴム手袋	17.7%	−26.8%	35	52	967	1257	28
5	婦人用・子供用革靴	−7.6%	−19.7%	4	4	62	88	467
5	なめし革製書類入かばん・学生かばん・ランドセル	−10.1%	−15.9%	16	20	399	809	128
5	光学ガラス素地（眼鏡用を含む）	0.9%	24.9%	284	89	2544	2447	16
5	理化学用・医療用ガラス器具	19.7%	6.9%	33	37	598	1091	120
5	ガラス長繊維、同製品	22.9%	18.9%	8	19	926	847	86
5	セメントクリンカ	−18.8%	−21.8%	187	206	5408	4497	6
5	陶磁器用はい（坏）土	−7.1%	−24.7%	15	80	257	372	172
5	天然研磨材、人造研削材	−10.5%	0.7%	23	26	1255	1382	46
5	ビトリファイド研削と石（シリケート研削と石を含む）	8.9%	−15.3%	17	25	812	1188	49
5	レジノイド研削と石	−11.3%	−20.9%	16	14	527	647	68
5	研磨布紙	12.8%	8.8%	13	42	1185	1430	34
5	けいそう土、同製品	−9.0%	−12.3%	16	24	998	885	39
5	焼石こう	−7.0%	−29.2%	12	18	1164	1262	24
5	生石灰	−12.9%	−16.9%	5	6	536	486	85
5	消石灰	−3.7%	−11.9%	5	11	267	320	87
5	軽質炭酸カルシウム	27.5%	−28.4%	16	127	2200	2177	19
5	高炉銑（製鋼用銑）	−24.7%	−17.1%	258	106	2445	2271	7
5	普通鋼半製品	−15.2%	28.6%	191	80	1681	2292	22
5	外輪・軌条、同附属品	−29.7%	−29.0%	62	26	2489	2854	7
5	形鋼（鋼矢板、リム・リングバー、サッシバーを含む）	−24.1%	−28.7%	17	31	938	1066	24
5	普通鋼磨棒鋼	−20.2%	−26.4%	14	30	872	1254	44
5	普通鋼冷延電気鋼帯	−28.0%	2.2%	309	10	4291	4616	4
5	工具鋼	−27.3%	6.4%	13	30	2331	2675	17
5	構造用鋼	−27.6%	−3.4%	10	31	1257	1144	21
5	特殊用途鋼	−16.9%	−0.5%	13	33	1294	1363	28
5	特殊鋼磨棒鋼（ドリルロッドを含む）	−14.5%	0.1%	10	10	626	621	43
5	特殊鋼磨帯鋼（幅600mm未満でコイル状のもの）	−16.3%	4.8%	38	23	1814	1796	18
5	特殊鋼鋼線	−7.9%	−24.4%	9	20	675	829	44
5	特殊鋼冷けん鋼管	−14.5%	−22.1%	15	12	1703	1763	26
5	亜鉛めっき鋼板（亜鉛めっき帯鋼を含む）	4.6%	−7.8%	6	26	1396	1395	30
5	針金	−11.5%	−21.9%	323	61	1263	2835	16
5	機械用銑鉄鋳物	−8.1%	−16.6%	2	3	194	259	1092
5	機械用可鍛鋳鉄鋳物	−18.3%	8.5%	34	62	1584	1383	32
5	可鍛鋳鉄製鉄管継手（フランジ形を含む）	13.4%	−28.1%	13	32	2134	2533	34
5	特殊鋼鋳鋼（鋳放しのもの）（鋳鋼管を含む）	15.5%	−13.3%	9	19	404	410	79
5	鍛工品	−0.4%	−13.7%	2	2	179	251	404

		市場成長率		SFI		HHI		企業数
ｸﾞﾙｰﾌﾟ	品目名称	前期	後期	前期	後期	前期	後期	平均
5	特殊鋼鍛鋼（打ち放しのもの）	−15.6%	23.0%	78	38	2094	2608	14
5	鉄鋼切断品（溶断を含む）	−4.2%	−26.3%	1	2	69	74	1510
5	鋳鉄管	7.6%	−25.4%	6	7	2956	2951	66
5	水酸化アルミニウム	−16.4%	−2.3%	480	68	3654	3436	3
5	銅伸銅品	13.2%	−13.6%	18	11	1099	1124	90
5	アルミニウム圧延製品	2.7%	21.0%	8	43	1616	1448	62
5	アルミニウム押出し品（抽伸品を含む）	17.2%	−14.1%	11	14	527	615	115
5	アルミニウムはく	−0.1%	−24.4%	34	44	1459	1391	13
5	金・同合金展伸材	−17.3%	−17.0%	217	88	1611	1968	14
5	銀・同合金展伸材	−21.1%	23.4%	137	126	1667	1799	14
5	白金・同合金展伸材	28.3%	−25.8%	385	154	2616	3019	8
5	銅・同合金鋳物	−20.8%	−9.1%	10	5	272	394	485
5	アルミニウム・同合金ダイカスト	15.6%	−4.3%	6	5	326	429	486
5	非鉄金属鍛造品	19.0%	4.6%	11	24	401	496	81
5	銅・同合金粉	−9.3%	19.3%	33	26	3259	2511	21
5	銅、鉛、亜鉛、ニッケル、すず等粗製品	−25.2%	29.9%	46	63	1218	1206	86
5	理髪用刃物	22.4%	−9.6%	33	29	2427	1916	56
5	ほう丁	28.8%	−27.6%	21	24	446	453	140
5	はさみ	−4.2%	−18.3%	16	12	199	280	173
5	工匠具	−25.7%	−28.9%	32	21	594	720	111
5	手引のこぎり	4.7%	19.3%	45	34	834	1056	67
5	建築用金物	28.8%	−17.4%	4	3	101	106	1013
5	金属製管継手	17.7%	−28.3%	6	7	134	131	619
5	配管工事用附属品	16.5%	−10.7%	56	19	1084	1123	342
5	ガスこんろ	19.9%	−21.8%	38	44	1966	2690	34
5	ガス湯沸器	24.3%	12.3%	61	81	1357	1921	24
5	ガス炊飯器	−28.8%	6.8%	72	126	3099	3659	8
5	石油ストーブ	−26.5%	−22.1%	37	39	1209	1285	29
5	ガス機器・石油機器の部分品・附属品	12.5%	−10.4%	36	19	153	282	606
5	アルミニウム製ドア	13.7%	−7.5%	14	62	560	1204	352
5	シャッタ	22.3%	−22.3%	13	11	1681	1778	199
5	ドラム缶	9.6%	−18.3%	7	11	1700	1534	30
5	粉末や金製品	27.2%	6.1%	25	14	649	727	110
5	金属彫刻品	−10.0%	−17.8%	22	24	446	413	115
5	鋼索（鋼より線を含む）	4.7%	−24.6%	6	15	886	1038	117
5	ボルト、ナット	14.3%	−14.9%	2	2	110	148	1470
5	リベット	27.1%	−16.4%	16	15	324	402	174
5	座金（ワッシャ）	−6.4%	−5.9%	24	20	315	476	211
5	木ねじ、小ねじ、押しねじ	−8.6%	−21.7%	6	7	217	247	340
5	つるまきばね	−4.9%	−13.4%	51	17	867	1018	128
5	線ばね	21.0%	−21.0%	5	11	296	282	645
5	うす板ばね	19.6%	−25.4%	5	15	322	488	330
5	金属板ネームプレート	−15.9%	−29.6%	4	9	117	187	413
5	フレキシブルチューブ	17.8%	−4.9%	33	26	471	528	68
5	金属製押出しチューブ	18.6%	−15.2%	62	22	1069	1606	19
5	蒸気タービン	−26.7%	−7.0%	417	609	4225	4636	11
5	蒸気機関・タービン・水力タービンの部分品・取付具・附属品	13.1%	−6.7%	132	421	3014	4094	86
5	はん用ガソリン・石油機関（はん用ガス機関を含む）	−5.5%	4.8%	124	152	1521	2029	15
5	動力耕うん機、歩行用トラクタ（エンジンなしのもの及びガーデントラクタを含む）	−25.3%	7.4%	28	52	1225	1245	15
5	トラクタ	−19.4%	−23.5%	19	33	1369	1803	20
5	噴霧機、散粉機	−14.3%	−25.8%	43	31	863	845	56
5	農業用乾燥機	6.2%	−28.1%	48	64	1110	1296	37
5	農業用機械の部分品・取付具・附属品	−24.4%	−9.5%	6	7	86	105	865
5	摩砕機、選別機	−12.3%	−26.9%	313	130	1080	830	43
5	建設機械・鉱山機械の部分品・取付具・附属品	27.9%	−3.5%	8	9	74	103	1356
5	歯切り盤、歯車仕上機械	−19.1%	28.0%	51	124	1724	1964	18
5	専用機	−14.0%	16.8%	19	35	220	260	269
5	せん断機（シャーリングマシン）	−14.2%	−24.9%	94	110	714	995	49
5	金属工作機械の部分品・取付具・附属品	−6.3%	13.5%	6	7	56	77	2765
5	金属加工機械の部分品・取付具・附属品	−3.9%	−6.5%	17	14	47	60	1792
5	特殊鋼切削工具	−19.4%	−2.4%	9	25	634	753	274
5	超硬工具（粉末や金製を除く）	23.0%	10.0%	15	9	527	444	357

		市場成長率		SFI		HHI		企業数
ｸﾞﾙｰﾌﾟ	品目名称	前期	後期	前期	後期	前期	後期	平均
5	ダイヤモンド工具	8.8%	−6.7%	7	12	689	639	143
5	空気動工具	−3.2%	4.1%	26	31	673	838	74
5	治具、金属加工用附属品	−0.6%	−13.9%	5	15	52	87	854
5	ニット機械	−7.4%	6.5%	59	76	2294	4409	25
5	製織機械・編組機械の部分品・取付具・附属品	−9.2%	−24.6%	11	15	170	400	401
5	牛乳加工・乳製品製造機械、同装置	4.5%	−2.5%	76	157	756	951	32
5	パルプ・製紙機械の部分品・取付具・附属品	−19.5%	−12.6%	203	143	850	607	278
5	製本機械	−10.3%	11.2%	31	39	612	926	58
5	印刷・製本・紙工機械の部分品・取付具・附属品	19.0%	3.0%	43	74	233	533	779
5	押出成形機	18.9%	20.1%	99	151	1222	1237	31
5	プラスチック加工機械、同附属装置の部分品・取付具・附属品	7.0%	−12.2%	15	29	263	277	489
5	ガラス工業用特殊機械	−23.3%	−25.7%	39	134	563	689	65
5	多段式うず巻ポンプ（タービン形を含む）	21.1%	−10.1%	97	88	1135	1311	41
5	耐しょく性ポンプ（化学工業用特殊ポンプ）	−0.7%	−25.0%	92	40	1182	1018	62
5	家庭用電気ポンプ	−17.3%	7.7%	49	120	1469	1461	21
5	回転圧縮機	10.3%	−14.7%	123	102	1973	2267	19
5	軸流送風機	−22.3%	−10.8%	153	88	649	773	35
5	変速機	4.2%	0.1%	12	13	364	530	186
5	歯車（プラスチック製を含む）	29.3%	−15.0%	6	20	180	243	406
5	ローラチェーン	26.5%	−26.3%	42	18	2223	2107	32
5	油圧ポンプ	−15.8%	2.1%	17	38	690	921	74
5	油圧シリンダ	7.2%	−11.1%	11	13	799	948	114
5	油圧バルブ	17.2%	18.9%	10	25	600	653	124
5	空気圧機器の部分品・取付具・附属品	9.8%	−25.6%	83	17	882	628	271
5	乾燥機器	12.6%	−29.2%	49	69	368	699	112
5	重油・ガス燃焼装置（軽油を含む）	−5.6%	−24.8%	66	64	594	726	43
5	複写機	−8.2%	−28.3%	33	28	1472	1276	27
5	冷凍・冷蔵用ショーケース（冷凍陳列棚を含む）	−0.7%	−7.3%	29	71	707	896	82
5	エアコンディショナ（ウインド形、セパレート形を除く）	27.6%	26.4%	34	76	1254	1619	38
5	冷凍機・温湿調整装置の部分品・取付具・附属品	5.6%	−27.9%	10	17	181	187	628
5	自動車整備・サービス機器	10.3%	−18.0%	23	19	518	587	110
5	消火器具・消火装置の部分品・取付具・附属品	29.8%	−0.9%	38	47	374	463	130
5	高温・高圧バルブ	−20.3%	−25.5%	41	41	802	671	57
5	一般用バルブ・コック	−5.2%	−23.7%	14	6	480	443	399
5	玉軸受（軸受ユニッ用を除く）	15.0%	−5.2%	18	8	1288	1301	74
5	ころ軸受（軸受ユニット用を除く）	17.4%	11.2%	39	12	1891	1768	34
5	玉軸受・ころ軸受の部分品	−5.4%	4.7%	26	12	304	286	248
5	ピストンリング	11.1%	5.6%	30	82	3007	2947	25
5	プレス用金型	−8.1%	19.0%	8	10	62	71	2968
5	鋳造用金型（ダイカスト用を含む）	2.3%	5.6%	5	7	72	91	630
5	プラスチック用金型	13.0%	5.6%	2	2	26	34	2745
5	ゴム・ガラス用金型	−5.7%	−11.3%	5	6	152	141	388
5	外装・荷造機械	16.4%	−18.9%	54	51	553	508	108
5	エンジン発電機（交流）	−11.3%	−5.5%	53	223	771	1156	38
5	直流・交流小形電動機（3W以上70W未満）	27.7%	−22.7%	14	18	564	1093	256
5	計器用変成器	−22.1%	−27.9%	35	18	596	727	68
5	遮断器	9.9%	−19.4%	11	63	924	956	108
5	点滅器	19.4%	10.4%	22	9	3163	4275	91
5	電気溶接機の部分品・取付具・附属品	10.1%	−6.6%	63	41	369	945	192
5	充電発電機	2.0%	13.9%	7	7	3245	3494	14
5	磁石発電機	−7.0%	13.3%	121	66	3634	4026	5
5	産業用電熱装置	15.6%	24.2%	22	27	288	364	213
5	電気掃除機	8.1%	−27.2%	38	13	1657	1636	20
5	一般照明用電球	−9.5%	−22.3%	23	80	2017	2851	30
5	医療用X線装置	15.9%	21.3%	16	31	2559	2773	27
5	電気計器	−23.3%	17.7%	24	40	577	681	112
5	電気測定器	10.6%	−7.3%	25	96	451	697	409
5	搬送装置	21.1%	−18.8%	23	297	2663	1518	78
5	カーステレオ	14.6%	−9.3%	47	133	794	1450	36
5	スピーカシステム、マイクロホン、イヤホン、音響用ピックアップ類等（完成品）	−12.8%	−13.2%	18	181	390	1052	115
5	整流素子（100ミリアンペア以上）	−9.9%	−15.0%	63	40	1077	1008	21
5	コンデンサ	14.8%	14.5%	8	17	367	428	190

		市場成長率		SFI		HHI		企業数
ｸﾞﾙｰﾌﾟ	品目名称	前期	後期	前期	後期	前期	後期	平均
5	プリント配線板（配線済みのもの）	15.2%	27.2%	5	8	126	238	478
5	軽・小型乗用車（気筒容量2000ml以下）（シャシーを含む）	−21.7%	4.8%	16	21	2109	1805	10
5	バス	19.5%	−1.7%	123	90	2517	2942	6
5	トラック（けん引車を含む）	7.1%	−23.2%	31	26	1368	1347	11
5	特別用途車	11.9%	19.2%	59	182	1385	1068	24
5	バスボデー	−2.3%	−11.6%	62	176	1610	1828	18
5	特別用途車ボデー	−8.6%	−7.1%	59	56	1205	772	88
5	カーエアコン	12.3%	5.8%	7	43	2665	2410	112
5	鉄道用電車（動力付）	−0.1%	−5.0%	90	111	2299	2191	8
5	機関車の部分品・取付具・附属品	−11.4%	4.7%	113	25	1761	1705	120
5	特殊用途鋼製船舶の新造（20総t以上の 動力船）	−11.5%	3.6%	580	280	1143	1214	41
5	舶用機関の部分品・取付具・附属品	−0.7%	1.8%	21	39	183	287	747
5	飛行機	−17.9%	−27.0%	149	430	5045	6804	3
5	航空機の修理・オーバーホール	−10.3%	21.2%	144	44	2564	2161	10
5	フォークリフトトラック	13.0%	−10.5%	13	18	2149	2366	11
5	はかり	27.8%	−15.9%	11	50	949	1380	141
5	圧力計	23.1%	−2.1%	30	89	745	805	103
5	液面計（レベル計）	−10.7%	−7.3%	25	109	1274	1362	40
5	精密測定器の部分品・取付具・附属品	−7.8%	−0.1%	27	37	282	211	215
5	光分析装置	2.0%	−2.6%	36	57	1913	1575	34
5	材料試験機	−6.4%	−29.1%	37	39	628	754	139
5	試験機の部分品・取付具・附属品	17.7%	−8.0%	87	201	384	455	119
5	温度計（ガラス製に限る）	−25.4%	13.8%	78	137	885	1850	43
5	測量機械器具の部分品・取付具・附属品	0.8%	−19.5%	476	58	750	767	100
5	動物用医療機械器具、同部分品・取付具・附属品	−6.6%	21.0%	173	125	1086	1423	32
5	歯科材料	18.1%	29.4%	57	56	1239	952	105
5	理化学機械器具	22.7%	3.6%	21	19	455	659	239
5	顕微鏡、拡大鏡	−28.7%	−23.1%	47	49	2248	4512	49
5	かるた、すごろく、トランプ、花札、囲碁、将棋、チェス、麻雀ぱい、ゲーム盤等	−4.1%	−6.3%	20	115	818	1163	62
5	野球・ソフトボール用具	−14.8%	13.8%	18	13	485	794	116
5	テニス・ピンポン・バドミントン用具	−29.3%	−28.4%	27	46	1622	2571	69
5	運動用具の部分品・附属品	6.6%	−23.9%	68	62	643	1272	154
5	ボールペン	−7.2%	6.2%	36	33	1182	1373	53
5	鉛筆芯、鉛筆軸（シャープペンシルの芯を含む）	−19.5%	−13.5%	261	25	3552	4902	12
5	水彩絵具	−9.9%	−17.4%	175	66	3058	2706	18
5	縫針、ミシン針	−9.6%	−4.7%	39	14	3307	4741	13
5	スライドファスナー	−16.3%	−27.0%	13	8	7887	7984	23
5	スナップ、ホック	13.3%	−2.3%	46	66	1054	1430	26
5	ちょうちん（骨を含む）	15.3%	−21.4%	4	4	380	420	106
5	煙火（がん具を含む）	19.8%	−18.1%	5	4	192	203	148
5	線香類	26.8%	−0.3%	8	17	1062	1410	121
6	クリーム	18.4%	66.0%	24	14	801	982	85
6	焼ちゅう	17.5%	44.9%	15	9	696	630	491
6	合成繊維たて編ニット生地	−4.1%	65.0%	48	34	759	1007	48
6	ニット製ワイシャツ・ブラウス	1.0%	31.1%	35	32	791	460	52
6	食卓塩（精製塩を含む）	29.5%	60.9%	29	93	2555	2234	15
6	かん水、にがり	0.1%	84.0%	118	125	2137	2208	14
6	酸化エチレン	−15.4%	45.3%	24	63	2934	3067	4
6	塩化ビニルモノマー	−27.2%	40.7%	52	66	1531	2030	10
6	エチルアルコール（95%換算）	26.6%	49.3%	45	46	9294	4305	5
6	トルイレンジイソシアネート（T．D．I）	−23.2%	95.0%	166	467	3397	4521	4
6	メタクリル樹脂	2.9%	30.5%	33	24	2993	3226	10
6	プラスチック棒	−9.9%	165.0%	71	197	1175	1982	25
6	プラスチックタイル	−9.9%	40.7%	306	47	2682	1866	15
6	工業用プラスチック製品の加工品（切断、接合、塗装、蒸着めっき、パフ加工等）	1.2%	48.0%	8	5	190	186	787
6	炭素・黒鉛質ブラシ	14.5%	56.9%	6	63	1821	2212	28
6	特殊炭素製品	14.0%	52.4%	41	25	1613	1845	37
6	特殊鋼冷延広幅帯鋼（幅600mm以上でコイル状のもの）	22.0%	95.9%	18	73	2755	2222	8
6	金地金	3.9%	61.3%	358	54	2668	2803	8
6	金再生地金、金合金	−18.4%	114.4%	165	106	903	1139	27
6	ニッケル・同合金展伸材	−17.7%	65.4%	229	61	2255	2693	19
6	アルミニウム・同合金粉	18.9%	126.6%	46	86	1232	1665	44

		市場成長率		SFI		HHI		企業数
ｸﾞﾙｰﾌﾟ	品目名称	前期	後期	前期	後期	前期	後期	平均
6	エアジェットルーム織機、ウオータージェットルーム織機	14.9%	56.9%	121	132	5430	5176	7
6	射出成形機	−20.4%	32.6%	25	40	878	991	47
6	ゴム工業用機械器具	16.7%	44.5%	110	118	885	1026	95
6	往復圧縮機	−15.0%	91.4%	47	91	977	3003	36
6	抵抗溶接機	−15.6%	36.7%	38	102	740	758	47
6	始動電動機	−20.5%	50.9%	49	48	2726	2663	17
6	X線装置の部分品・取付具・附属品	−4.1%	68.9%	30	42	259	518	157
6	電子顕微鏡	15.8%	91.0%	44	98	4013	3816	8
6	ラジオ放送装置、テレビジョン放送装置	19.8%	61.2%	88	292	1526	1367	29
6	乗用車ボデー	13.4%	30.1%	43	82	2259	2239	21
6	鋼製船舶の船体	−7.9%	291.9%	429	788	2380	3481	13
6	船体ブロック	−18.5%	32.8%	226	536	1171	1461	43
6	光度計、光束計、照度計、屈折度計	15.5%	82.9%	113	22	3389	4481	17
6	カメラ用レンズ	23.7%	61.7%	51	77	715	653	87
6	光学レンズ	4.2%	81.9%	34	84	637	811	175
7	炭酸飲料	50.0%	−35.9%	31	30	500	1059	245
7	ビール	46.4%	−38.3%	28	19	3048	3305	31
7	合成繊維長繊維織物精練・漂白・染色、レーヨン風合成繊維織物機械整理仕上	63.6%	−43.7%	118	40	2498	2137	13
7	織物機械整理	75.0%	−31.7%	137	81	3936	3518	8
7	綿状繊維染色・整理	43.2%	−67.1%	173	256	3272	2961	6
7	成人男子・少年用制服ズボン	123.1%	−71.7%	60	117	841	1519	47
7	ニット製海水着・海水パンツ・海浜着	40.5%	−42.3%	30	26	717	1069	41
7	スカーフ・ネッカチーフ・マフラー類（ニット製を含む）	68.2%	−39.5%	70	61	651	507	57
7	パンティストッキング	40.6%	−62.6%	9	38	482	696	50
7	銘板、銘木、床柱	45.6%	−70.0%	5	8	87	131	372
7	おけ類	37.5%	−44.3%	23	70	953	872	45
7	木製棚・戸棚	37.0%	−48.7%	2	2	34	38	2849
7	金属製机・テーブル・いす	36.3%	−33.6%	7	7	207	248	372
7	金属製流し台・調理台・ガス台（キャビネットが金属製のもの）	65.2%	−34.5%	35	45	538	670	323
7	金属製棚・戸棚	40.0%	−38.2%	11	15	298	357	295
7	建具（金属製を除く）	56.5%	−37.1%	1	1	15	33	6146
7	直接染料	34.7%	−64.3%	46	96	1056	1830	32
7	ピグメントレジンカラー	48.1%	−42.9%	65	42	2277	3165	17
7	印刷インキ用ワニス	51.6%	−43.0%	85	146	2365	2292	24
7	クレンザー	84.0%	−33.7%	324	119	2571	2126	26
7	武器用火薬類	104.8%	−52.7%	94	124	3372	3948	4
7	強化プラスチック製板・棒・管・継手	43.0%	−38.2%	25	28	677	659	135
7	強化プラスチック製容器・浴槽・浄化槽	120.8%	−51.2%	36	23	318	210	546
7	なめし革製旅行かばん	51.2%	−80.3%	58	130	711	1037	40
7	なめし革製ハンドバック	40.9%	−59.4%	3	5	85	156	328
7	普通板ガラス	103.4%	−69.4%	1092	6	9610	9617	2
7	土木用コンクリートブロック	44.2%	−45.2%	4	5	64	134	1095
7	道路用コンクリート製品	75.0%	−33.7%	1	2	34	36	1380
7	石綿セメント板	43.1%	−57.9%	17	43	2102	1748	27
7	いぶしかわら	39.3%	−58.6%	8	7	97	157	571
7	普通れんが	69.6%	−30.9%	19	28	516	567	41
7	耐火モルタル	199.0%	−84.7%	514	208	1516	3255	58
7	石工品	65.7%	−59.3%	2	3	69	42	1977
7	人造宝石（合成宝石、模造宝石、人造真珠、人造水晶を含む）	60.4%	−39.8%	173	203	2708	3278	21
7	食缶（缶詰用缶）	33.9%	−48.6%	4	26	4210	4082	23
7	ガス風呂釜（バーナ付の一体のものを含む）	31.3%	−37.9%	31	91	2106	2602	39
7	鉄骨	54.8%	−49.0%	1	3	21	29	4901
7	鉄塔	105.2%	−73.5%	28	82	599	661	105
7	金属製サッシ・ドア	69.8%	−40.5%	7	6	97	167	967
7	板金製タンク	46.4%	−36.2%	7	8	155	179	816
7	金属熱処理品	55.8%	−34.5%	22	33	611	875	91
7	鉄特殊くぎ	39.3%	−34.6%	14	26	799	898	54
7	金庫の部分品・取付具・附属品	73.1%	−77.5%	581	189	2581	1092	47
7	ボイラの部分品・取付具・附属品	80.2%	−59.9%	253	460	3119	3502	204
7	建設用クレーン	74.8%	−46.9%	164	38	2518	1993	30
7	アスファルト舗装機械	56.6%	−41.8%	87	207	1663	1715	26
7	コンクリート機械	45.0%	−52.0%	18	61	662	752	89

		市場成長率		SFI		HHI		企業数
ｸﾞﾙｰﾌﾟ	品目名称	前期	後期	前期	後期	前期	後期	平均
7	基礎工事用機械	90.3%	−55.9%	84	160	1275	1574	44
7	さく岩機	180.4%	−33.7%	230	178	2521	2382	17
7	破砕機・摩砕機・選別機の補助機	36.7%	−32.8%	48	113	862	569	116
7	精整仕上装置	41.4%	−55.0%	197	158	1218	886	94
7	ベンディングマシン	52.0%	−43.7%	40	46	383	391	76
7	化学繊維機械	40.0%	−33.7%	246	463	2341	3011	22
7	家庭用ミシン	110.3%	−44.8%	113	46	2231	1692	11
7	工業用ミシン	233.9%	−54.3%	175	115	1888	1572	31
7	醸造用機械	53.1%	−51.5%	73	424	679	1150	51
7	製材機械	68.5%	−82.3%	23	161	622	1054	41
7	木材加工機械	61.6%	−63.0%	11	17	529	500	99
7	合板機械（繊維板機械を含む）	48.0%	−60.7%	63	102	776	902	47
7	単段式うず巻ポンプ（タービン形を含む）	45.9%	−45.4%	63	46	1326	955	82
7	遠心送風機	67.3%	−42.9%	40	47	910	918	51
7	エレベータ	116.3%	−32.5%	8	15	2072	2083	40
7	天井走行クレーン	61.6%	−69.3%	48	172	371	570	124
7	油圧モータ	137.5%	−41.5%	64	30	1538	1493	18
7	集じん機器	34.4%	−39.1%	76	102	534	582	154
7	ワードプロセッサ	202.1%	−100.0%	58	1798	1121	3722	20
7	自動販売機	80.1%	−43.8%	35	33	1292	1277	64
7	配電盤	60.5%	−42.5%	14	26	434	355	1137
7	開閉装置・配電盤・電力制御装置の部分品・取付具・附属品	83.0%	−41.0%	72	9	163	150	1310
7	アーク溶接機	30.1%	−63.0%	49	86	1561	2068	41
7	エアコンディショナ	37.1%	−36.3%	15	27	1272	1304	25
7	電気洗濯機	40.7%	−32.7%	12	15	1882	1851	10
7	工業計器の部分品・取付具・附属品	72.8%	−62.9%	66	61	499	833	326
7	一次電池の部分品・取付具・附属品	68.8%	−38.7%	86	124	946	1292	41
7	電話自動交換装置	50.5%	−83.0%	26	201	2453	3005	25
7	携帯用通信装置（可搬用を含む）	163.4%	−93.7%	147	277	1101	1402	41
7	外部記憶装置	39.6%	−44.5%	47	155	1122	1269	64
7	入出力装置	63.6%	−55.2%	65	34	523	563	129
7	ダイオード	86.2%	−50.2%	49	51	692	795	47
7	自動車用ディーゼル機関	251.0%	−43.3%	59	49	1901	1558	10
7	内燃動車	117.5%	−52.9%	869	800	3373	4184	4
7	鉄道用貨車	966.9%	−98.2%	1539	1413	4005	4693	5
7	鋼製無動力船の新造	60.9%	−38.3%	513	328	800	1400	48
7	鋼製動力船の新造（20総t未満）	119.3%	−32.7%	173	173	843	1140	53
7	木造船舶の新造・改造・修理（20総t以上）	68.2%	−95.5%	1602	878	4004	5757	48
7	木製・金属製舟艇（鋼船を除く）の新造	158.6%	−54.1%	240	493	1088	1212	42
7	プラスチック製舟艇の新造	31.7%	−61.1%	44	67	512	760	372
7	産業用トレーラ（農業用を含む）	38.0%	−92.9%	64	268	1441	2285	19
7	積算体積計	58.1%	−35.5%	44	38	667	744	86
7	病院用器具、同装置	66.7%	−50.2%	59	222	798	1305	184
7	ゴルフ・ホッケー用具	39.1%	−32.5%	30	66	795	807	144
7	漆器製家具	39.5%	−66.1%	5	10	145	169	353
7	銃砲弾、爆発物	30.3%	−36.2%	251	88	5392	4910	8
7	マネキン人形、人台	35.5%	−66.6%	200	111	900	2014	46
7	オーディオディスクレコード,レコードテープ	64.5%	−50.4%	91	23	1985	2683	38
7	ユニット住宅	148.0%	−31.2%	154	19	2067	1297	29
8	チーズ	58.3%	3.5%	51	28	2657	2334	61
8	冷凍水産食品	46.7%	4.8%	5	3	41	39	1194
8	冷凍野菜・果実	66.1%	−5.5%	23	33	444	484	129
8	野菜漬物（果実漬物を含む）	35.7%	−13.0%	1	1	28	33	2088
8	香辛料（練製のものを含む）	48.5%	25.5%	13	7	678	644	81
8	精米（砕精米を含む）	32.7%	−25.8%	4	6	87	129	398
8	菓子パン（イーストドーナッツを含む）	44.5%	6.5%	6	6	835	1189	1779
8	和生菓子	30.4%	−18.1%	2	1	97	150	3722
8	豆腐、しみ豆腐、油揚げ類	31.3%	−2.4%	2	1	28	41	3349
8	冷凍調理食品	86.2%	9.0%	2	4	123	114	810
8	そう（惣）菜	100.2%	28.9%	4	3	43	56	1924
8	ふ、焼ふ	33.3%	2.9%	4	6	288	328	226
8	すし、弁当	213.8%	14.0%	4	4	85	145	1238

		市場成長率		SFI		HHI		企業数
ｸﾞﾙｰﾌﾟ	品目名称	前期	後期	前期	後期	前期	後期	平均
8	切餅、包装餅（和生菓子を除く）	44.0%	−12.2%	7	7	838	807	335
8	調理パン、サンドイッチ	89.2%	23.6%	31	16	359	306	675
8	レトルト食品	115.1%	27.6%	14	7	428	230	175
8	合成清酒	89.1%	13.8%	150	56	1052	1502	52
8	荒茶	56.3%	24.9%	37	5	228	132	608
8	紅茶（仕上茶）	238.9%	−15.9%	115	101	3373	2870	23
8	たばこ	79.1%	13.6%	12	0	8170	9939	3
8	ニット・レース染色・整理	46.3%	−22.8%	200	39	2057	2990	21
8	プレスフェルト生地（ニードルを含む）、不織布（乾式）	35.4%	5.8%	13	14	457	376	116
8	プレスフェルト製品	184.9%	3.8%	29	19	484	886	79
8	床板	123.2%	−24.5%	7	8	433	525	246
8	造作材	151.3%	−26.9%	7	5	132	184	1082
8	木質系プレハブ住宅	54.4%	28.6%	77	22	254	158	499
8	薬品処理木材	87.0%	−28.6%	42	33	1267	1555	74
8	木製流し台・調理台・ガス台（キャビネットが木製のもの）	76.0%	−19.1%	17	12	396	422	755
8	事務所用・店舗用装備品	39.3%	−23.9%	10	4	155	230	1340
8	窓用・扉用日よけ	65.3%	−20.2%	16	9	1370	1450	85
8	壁紙、ふすま紙	46.7%	−26.0%	7	45	775	709	118
8	事務用紙袋	59.9%	7.5%	14	8	576	596	182
8	平版印刷物（オフセット印刷物）	59.9%	−4.6%	4	1	104	130	12266
8	おう版印刷物（グラビア印刷物）	64.9%	−9.6%	31	26	1590	1220	561
8	写真製版（写真植字業を含む）	41.3%	−19.2%	2	9	26	94	3121
8	銅おう版・木版彫刻製版	64.9%	21.1%	50	37	1155	904	33
8	酸化プロピレン	112.1%	20.4%	402	75	3760	4549	5
8	二塩化エチレン	186.3%	8.7%	682	529	4026	4593	4
8	メラミン	64.1%	−16.6%	16	74	3670	3643	3
8	合成石炭酸	69.5%	21.6%	157	8	7134	7285	2
8	アニリン	119.2%	−2.6%	47	79	4440	4473	4
8	ポリアミド系樹脂	54.2%	5.1%	39	29	2462	2216	15
8	ふっ素樹脂	39.3%	29.5%	109	30	4230	2600	9
8	高級アルコール（還元、蒸留）	30.2%	−11.5%	183	16	2948	2756	10
8	洗濯用合成洗剤	54.2%	−29.3%	31	35	2929	3289	97
8	工業用合成洗剤	38.7%	−6.6%	36	21	489	476	120
8	一般インキ	48.7%	0.9%	12	13	1211	1106	81
8	生薬・漢方	89.9%	−13.7%	106	18	2922	2667	144
8	ファンデーション	74.2%	−1.8%	60	83	898	1041	91
8	口紅、ほお紅、アイシャドー	48.0%	−5.8%	105	68	829	1142	76
8	化粧水	47.4%	5.3%	74	94	1122	690	185
8	乳液	32.7%	−3.1%	88	44	1173	1222	100
8	シャンプー、ヘアリンス	86.6%	−13.3%	39	37	1265	1296	204
8	整髪料	242.8%	−27.1%	102	107	879	1265	93
8	天然香料	134.6%	7.1%	78	62	2648	2886	19
8	調合香料	46.0%	25.6%	18	21	894	954	62
8	写真フィルム（乾板を含む）	32.7%	−21.8%	6	12	6336	5644	10
8	天然樹脂製品（天然染料を含む）	39.9%	6.9%	43	30	1334	1574	32
8	デキストリン（可溶性でんぷんを含む）	91.1%	7.7%	94	12	3151	4754	16
8	プラスチック硬質管	39.7%	−16.0%	7	8	817	741	101
8	プラスチック継手（バルブ、コックを含む）	42.0%	4.2%	18	21	1478	995	83
8	プラスチック雨どい・同附属品	33.0%	−18.7%	46	16	2353	3060	29
8	プラスチックシート（厚さ0．2mm以上で軟質のもの）	67.6%	−5.3%	19	8	263	307	178
8	硬質プラスチック発泡製品（厚板）（厚さ3mm以上）	37.1%	0.6%	10	14	422	394	141
8	硬質プラスチック発泡製品（薄板）（厚さ3mm未満のもの）	95.5%	13.2%	83	67	2034	1522	21
8	プラスチック製中空成形容器	54.5%	7.1%	12	8	562	893	802
8	平ゴムベルト	67.9%	13.8%	13	5	7777	8725	6
8	防振ゴム	38.2%	4.5%	16	20	674	824	356
8	医療・衛生用ゴム製品	33.6%	2.4%	33	17	710	864	83
8	ガラス短繊維、同製品	34.1%	−8.7%	34	35	1617	1437	58
8	プレストレストコンクリート製品	51.1%	−27.8%	35	39	547	466	62
8	衛生陶器（附属品を含む）	136.6%	−14.5%	18	124	3805	3899	24
8	電気用特殊陶磁器	63.7%	−17.6%	78	32	973	996	31
8	砕石	54.3%	−27.8%	1	2	27	28	949
8	人工骨材	49.6%	1.2%	38	121	1179	1077	37

		市場成長率		SFI		HHI		企業数
ｸﾞﾙｰﾌﾟ	品目名称	前期	後期	前期	後期	前期	後期	平均
8	石こうボード、同製品	37.5%	−12.3%	16	26	1272	2217	27
8	石こうプラスタ製品	35.4%	−28.8%	49	60	1821	2335	11
8	鋳型（中子を含む）	75.3%	−11.5%	5	5	105	126	304
8	雲母板	43.0%	−23.4%	55	38	2495	2435	19
8	鉄粉、純鉄粉	52.6%	−2.2%	25	12	1429	1245	29
8	青銅伸銅品	48.9%	−18.6%	99	74	2098	2187	19
8	亜鉛・同合金展伸材（亜鉛板、亜鉛合金板を含む）	37.6%	−28.2%	142	763	3929	4614	9
8	合板・木材加工機械用刃物	103.5%	−14.8%	68	48	1205	1735	101
8	農業用器具部分品	43.3%	7.7%	55	28	507	411	118
8	錠、かぎ	64.2%	−12.3%	10	7	805	1230	218
8	金属製衛生器具	47.2%	9.4%	152	29	2118	3490	80
8	橋りょう	49.2%	0.3%	19	19	296	292	239
8	水門	82.7%	−24.9%	35	37	284	357	227
8	建築用板金製品	57.1%	−22.5%	11	7	207	161	719
8	アルミニウム製飲料用缶	430.4%	−9.6%	52	33	2785	2766	11
8	打抜・プレス機械部分品（機械仕上げをしないもの）	83.3%	−13.6%	10	2	68	35	2705
8	鉄製金網（溶接金網、じゃかごを含む）	32.2%	−21.4%	3	4	150	230	578
8	PC鋼より線	35.8%	−25.7%	73	262	3129	2636	7
8	金属製パッキン、ガスケット（非金属併用を含む）	43.5%	22.4%	14	14	1152	1243	125
8	金属はく（打はく）	49.6%	−20.2%	39	34	952	1032	36
8	はん用ディーゼル機関	31.2%	14.2%	96	33	1643	1844	15
8	はん用内燃機関の部分品・取付具・附属品	57.9%	28.6%	22	30	800	831	161
8	原子動力炉、同部分品・取付具・附属品	36.7%	−16.7%	152	102	3452	3643	36
8	掘さく機	54.7%	−12.4%	31	17	1391	1461	59
8	ワイヤフォーミングマシン	35.8%	−29.1%	43	46	512	665	66
8	食料品加工機械の部分品・取付具・附属品	67.0%	−10.0%	26	22	357	1076	822
8	印刷機械	32.8%	−16.6%	28	26	667	770	154
8	ダイカストマシン	64.6%	−3.2%	122	130	2709	3062	11
8	鋳型、鋳型定盤（製鉄、製鋼用に限る）	38.6%	−4.7%	53	331	2742	1974	30
8	ポンプ、同装置の部分品・取付具・附属品	53.3%	4.3%	10	21	469	702	337
8	エスカレータ	94.2%	−21.1%	64	58	2702	2609	7
8	エレベータ・エスカレータの部分品・取付具・附属品	52.6%	−10.1%	6	9	174	213	346
8	動力伝導装置の部分品・取付具・附属品	34.1%	−6.4%	29	17	2075	1921	266
8	油圧機器の部分品・取付具・附属品	74.4%	−21.9%	17	11	385	308	609
8	事務用機械器具の部分品・取付具・附属品	86.2%	−9.5%	19	31	150	269	1085
8	冷凍機	85.5%	0.5%	42	27	2124	1849	43
8	消火器具、消火装置（消防自動車のぎ装品を含む）	32.6%	−29.7%	76	31	1075	1105	47
8	自動調整バルブ	42.5%	6.0%	9	20	442	488	74
8	給排水用バルブ・コック	62.4%	−29.5%	17	15	1580	1228	82
8	バルブ・コック附属品	112.3%	−17.7%	22	36	514	673	161
8	タービン発電機（交流）	38.0%	−15.4%	778	257	2879	2815	7
8	リアクトル、誘導電圧調整器	51.3%	−21.7%	49	93	517	520	55
8	監視制御装置	46.0%	−24.8%	18	24	326	527	1834
8	分電盤	76.1%	−1.0%	82	16	290	364	520
8	開閉器	58.2%	−8.4%	118	29	658	673	295
8	内燃機関電装品の部分品・取付具・附属品	97.2%	−29.4%	20	21	627	480	743
8	電気がま	41.7%	−20.6%	108	25	1864	1917	16
8	換気扇	61.3%	−22.9%	8	12	1919	1956	38
8	理容用電気器具	48.9%	−12.2%	80	9	3101	4792	63
8	豆電球、クリスマスツリー用電球	41.2%	−21.9%	113	33	1438	2444	30
8	自動車用電球	80.3%	24.0%	16	31	3178	3599	44
8	蛍光ランプ	79.2%	12.2%	42	28	2241	2288	19
8	白熱電灯器具	72.5%	−21.0%	59	41	1323	2055	172
8	蛍光灯器具	31.7%	−23.0%	37	24	463	491	178
8	水銀灯器具	130.7%	−18.5%	117	46	1149	1268	51
8	電気照明器具の部分品・取付具・附属品	50.4%	−21.5%	8	10	206	300	736
8	産業用X線装置	73.5%	1.4%	108	86	3214	2380	14
8	固定局通信装置	32.0%	18.4%	33	363	3733	2352	36
8	交通信号保安装置	81.5%	6.1%	40	148	1192	1211	45
8	火災報知設備	52.0%	−3.7%	44	75	1539	1993	26
8	デジタル形電子計算機本体	107.0%	−15.0%	75	59	1070	943	55
8	トランジスタ	39.5%	15.9%	17	26	650	791	43

		市場成長率		SFI		HHI		企業数
ｸﾞﾙｰﾌﾟ	品目名称	前期	後期	前期	後期	前期	後期	平均
8	半導体集積回路	109.0%	−17.9%	11	28	521	439	92
8	混成集積回路	104.0%	−16.0%	30	73	460	664	64
8	バス・トラックシャシー	44.4%	14.8%	20	22	4202	4898	4
8	トラックボデー	69.6%	−6.3%	40	60	1231	2474	126
8	トレーラ(トレーラシャシー、ボデーを含む)	34.7%	0.6%	95	219	1384	1744	21
8	自動車用ガソリン機関	40.9%	−16.9%	37	31	1972	2200	15
8	自動車用内燃機関の部分品・取付具・附属品	34.2%	7.8%	24	4	285	251	1485
8	駆動・伝導・操縦装置部品	87.4%	26.2%	12	10	293	272	975
8	懸架・制動装置部品	49.3%	1.3%	5	16	292	301	586
8	シャシー部品、車体部品	63.0%	11.0%	4	3	121	157	1360
8	KDセット(乗用車、バス、トラック)	411.3%	19.8%	156	66	2658	3357	17
8	KDセット(二輪自動車)	342.6%	10.0%	319	84	4412	3952	6
8	電車・客貨車の部分品・取付具・附属品	75.7%	−22.7%	35	41	566	478	320
8	鋼製油そう船の新造(20総t以上の動力船)	123.9%	2.0%	291	518	1002	1262	42
8	軍艦の改造・修理	77.6%	16.4%	328	283	1912	1972	15
8	舟艇の改造・修理	40.6%	−14.7%	14	52	97	177	391
8	ヘリコプター	105.2%	−11.1%	585	234	3886	4569	4
8	飛しょう体、同部分品・附属品	82.5%	−12.4%	153	715	2565	2961	23
8	体積計の部分品・取付具・附属品	338.7%	−10.6%	80	34	1397	1405	47
8	はかりの部分品・取付具・附属品	54.2%	−14.8%	52	95	448	619	83
8	流量計	43.8%	6.9%	69	47	731	830	67
8	分析機器の部分品・取付具・附属品	48.8%	−19.7%	35	38	634	823	139
8	公害計測器	64.5%	7.9%	39	55	1770	1631	54
8	歯科用機械器具、同装置	30.1%	−7.2%	12	24	866	845	114
8	医療用品	71.3%	−12.2%	10	162	1393	628	319
8	眼鏡レンズ(コンタクトレンズを含む)	36.3%	−18.1%	76	70	617	967	102
8	プラスチックモデルキット	35.6%	13.8%	308	255	2797	2625	44
8	ボールペン・マーキングペン部分品	53.8%	14.8%	31	74	439	788	118
8	うちわ、扇子(骨を含む)	32.0%	−20.9%	12	15	284	357	97
8	歯ブラシ	78.3%	−23.7%	42	53	1889	1846	56
8	清掃用品	32.3%	−22.2%	90	55	736	1202	124
8	銃砲、爆発物投射機	59.2%	−11.3%	213	343	4729	2656	7
8	武器の部分品・附属品	74.9%	−0.2%	117	441	1739	1876	41
8	看板、標識、展示装置(電気的、機械的でないもの)	57.9%	−17.6%	4	3	55	92	2071
8	看板、標識機、展示装置(電気的、機械的なもの)	49.4%	9.7%	6	13	70	232	1326
8	パレット	64.1%	5.9%	15	10	138	156	315
9	触媒	32.0%	47.6%	37	49	1689	1844	36
9	合成アセトン	33.5%	93.8%	117	15	5144	6718	8
9	新聞インキ	59.3%	42.9%	104	28	2253	2308	6
9	プラスチックフィルム・シート・床材・合成皮革加工品(切断、接合、塗装、蒸着めっき、パフ加工等)	37.8%	32.4%	10	6	76	103	1188
9	輸送機械用プラスチック製品	56.8%	30.6%	4	9	162	142	1807
9	工業用革製品	70.1%	137.2%	177	148	1030	1924	50
9	光ファイバ	520.6%	378.3%	631	260	5297	3227	10
9	理化学用・工業用ファインセラミックス(焼結し放しのもの)	475.0%	41.8%	100	61	1405	969	42
9	粗銅	146.0%	82.3%	103	22	4784	4839	3
9	アルミニウム製機械部分品(機械仕上げをしないもの)	86.3%	59.2%	23	15	228	223	307
9	空気圧機器(空気圧ユニット機器を含む)	39.3%	31.8%	72	8	2157	3830	97
9	冷凍装置	100.2%	46.1%	141	84	685	1496	67
9	娯楽機器	127.1%	67.7%	55	105	697	643	117
9	軸受ユニット	125.7%	109.3%	245	123	2725	1583	30
9	鍛造用金型	45.8%	40.5%	12	28	277	377	165
9	産業用ロボット、同装置の部分品・取付具・附属品	73.1%	34.5%	9	16	138	209	721
9	電力変換装置	252.9%	37.1%	109	56	1010	940	76
9	ビデオカメラ(放送用を除く)(VTR, EVR一体のものを含む)	122.6%	216.5%	116	35	1261	1193	41
9	蓄電池	64.0%	42.7%	18	51	1841	1534	20
9	蓄電池の部分品・取付具・附属品	39.7%	94.1%	92	89	1251	1377	65
9	シリコンウエハ(表面研磨したもの)	75.8%	37.1%	79	384	1622	1388	30
9	携帯電話機、PHS電話機	267.0%	284.0%	90	103	1067	1131	64
9	無線応用装置	132.1%	88.0%	109	69	1027	721	49
9	交通信号保安装置の部分品・取付具・附属品	84.4%	33.9%	63	95	544	1475	143
9	電子機器用・通信機器用スイッチ・コネクタ	35.5%	83.2%	25	49	386	404	332
9	普通乗用車(気筒容量2000mlを超えるもの)(シャシーを含む)	336.6%	66.4%	171	23	3202	3164	8

		市場成長率		SFI		HHI		企業数
ｸﾞﾙｰﾌﾟ	品目名称	前期	後期	前期	後期	前期	後期	平均
9	鉄道用被けん引客車、電車	115.7%	92.4%	574	392	4091	3117	4
9	航空機用エンジン	37.7%	30.9%	43	50	8374	8000	3
9	航空機用エンジンの修理・オーバーホール	187.0%	77.8%	667	455	5010	5454	5
9	航空機用エンジンの部分品・取付具・附属品	55.2%	71.2%	275	51	3903	4391	39
9	歯科用機械器具の部分品・取付具・附属品	36.5%	125.5%	44	153	570	2063	93
9	写真装置、同関連器具	83.5%	31.7%	37	22	1309	1572	90
9	人体安全保護具、救命器具	117.2%	35.9%	28	45	1353	1292	140